

平成22年度 第2回 櫛引地域審議会

日 時 平成22年10月8日(金)

午後1時30分開会

場 所 櫛引公民館多目的ホール

一 次 第 一

1 開 会

2 会長あいさつ

3 講 話

①「婚活パーティー成功事例の紹介」

講師：レストランダイニング グラード 三浦明弓氏

②「婚活事業の現状と課題」

講師：NPO 法人元気net かほく 理事 澤 善博氏

(休 憩)

4 報 告

(1) 「櫛引地域コミュニティ実態調査」の結果概要報告

資料1

資料2

(2) 「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」1次分析報告

資料3

資料4

5 協 議

(1) 「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」について

(2) 今後の地域審議会の進め方について

(3) その他

6 そ の 他

①婚活支援講演会(10/23)参加呼びかけのお願い・・・

別添チラシ

7 閉 会

平成22年度 第2回 櫛引地域審議会席表

三浦 明弓 講師
 コーディネーター
 小笠原 学
 澤 善博 講師
 会長
 齋藤 三紀



畑山 久惠
 上野 進
 成田 新一
 澤川 宏一
 渡会 昇
 松浦 安雄
 佐久間 泰子
 田中 敦



金内 勝雄
 小林 良市
 五十嵐 繁
 成田 勇
 遠藤 一男
 芳賀 俊之
 阿部 元喜



今野勝吉 産業課長	八重幡久喜 教育課長	吉住光正 長	地域活性化推進室	支所長 山口 朗	次長兼総務課長 平藤博巳
--------------	---------------	-----------	----------	-------------	-----------------

報道

本間俊司 市民福祉課長	難波 貢 健康福祉主幹	佐藤正和 建設環境課長	宮崎 哲 振興主査	総務課総務地域 佐藤文博	振興班主事 総務課総務地域 菅原正一	振興主査 総務課総務地域
----------------	----------------	----------------	--------------	-----------------	--------------------------	-----------------

梅津一成 振興班主事	清和幸裕 振興班主任	総務課総務地域
---------------	---------------	---------

傍聴席

受付

櫛引地域審議会委員名簿

平成22年第2回

No.	所属団体名等	役職名または職業	氏名	備考
1	櫛引区長会	会 長	齋 藤 三 紀	
2	櫛引自治公民館連絡協議会	会 長	上 野 進	
3	鶴岡市黒川地区農業村落振興会	会 長	齋 藤 賢 一	(欠席)
4	庄内たがわ農業協同組合	理 事	成 田 新 一	
5	株式会社産直めぐり	代表取締役	澤 川 宏 一	
6	出羽商工会櫛引支部	代表理事	渡 会 昇	
7	櫛引観光協会	会 長	松 浦 安 雄	
8	鶴岡市社会福祉協議会	理 事	佐久間 泰 子	
9	櫛引地区民生児童委員協議会	会 長	田 中 敦	
10	櫛引PTA連合会	会 長	鈴 木 太 一 郎	(欠席)
11	櫛引体育協会	会 長	金 内 勝 雄	
12	荘内加藤清正公忠廣公遺蹟顕彰会	副会長	小 林 良 市	
13	鶴岡市老人クラブ連合会 櫛引支部	支部長	五十嵐 繁	
14	櫛引地域婦人会	会 長	畑 山 久 恵	
15	鶴岡市消防団櫛引方面隊	隊 長	伊 藤 信	(欠席)
16	(松根塾・塾長)	大学非常勤講師	成 田 勇	
17	(ふるさとむら宝谷運営管理組合・組合長)	農 業	遠 藤 一 男	
18	(NPO法人庄内インシュタインの会・理事長)	自営業	宅 井 き く	(欠席)
19	(庄内医療生協櫛引支部・支部長)	農 業	芳 賀 俊 之	
20	(鶴岡まちづくり塾・塾生)	大学生	阿 部 元 喜	

市職員出席者名簿

(平成22年度第2回会議)

No.	役 職 名	氏 名	備 考
1	櫛引庁舎支所長	山 口 朗	
2	次長兼総務課長	平 藤 博 巳	
3	産業課長	今 野 勝 吉	
4	建設環境課長	佐 藤 正 和	
5	市民福祉課長	本 間 俊 司	
6	健康福祉主幹	難 波 貢	
7	教育課長	八重幡 久 喜	
8	総務課 総務地域振興主査	菅 原 正 一	
9	総務課 総務地域振興主査	宮 崎 哲	
10	総務課 総務地域振興班主任	清 和 幸 裕	
11	総務課 総務地域振興班主事	佐 藤 文 博	
12	総務課 総務地域振興班主事	梅 津 一 成	
13	本所 企画部地域活性化推進室長	吉 住 光 正	

5. 協 議

(1) 「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」について

【参考事項】 櫛引地域婚活支援対策検討会の状況 (平成 22 年度中 3 回開催)

第 1 回櫛引地域婚活支援対策検討会の開催(7 月 23 日)

第 2 回櫛引地域婚活支援対策検討会の開催(10 月 6 日)

第 3 回櫛引地域婚活支援対策検討会の開催(予定 11 月中旬)

※第 3 回目で検討会のまとめを行う予定

未婚化や晩婚化への対応を、当事者だけの問題として捉えるのではなく、それぞれの分野で連携協力しながら進めていくあり方の意見集約であり、未婚者・結婚支援事業者・家庭・学校・地域や市民団体・職場・行政など各分野で取りくむ必要があると思われるものをまとめる予定。

(2) 今後の地域審議会の進め方について

○第 3 回櫛引地域審議会の開催・・・11 月下旬開催予定

(予定内容)

- ・ 櫛引地域農業農村課題調査の中間報告(産業課)
- ・ 総合計画実施計画の策定に係る説明(本所企画課)
- ・ 協議テーマに係る議論及び中間まとめ 他

○第 4 回櫛引地域審議会の開催・・・2 月開催予定

(予定内容)

- ・ 本所の担当課からの課題等説明(未定)に係る意見について
- ・ 平成 23 年度の地域審議会の進め方について
- ・ 協議テーマに係る議論及び市への提言について 他

(3) その他

櫛引地域コミュニティ実態調査の概要について

この調査は各自治組織の実態と課題を把握するために平成 20 年度から 3 年間にわたり実施しました。調査の方法は、担当する職員がそれぞれの地区に出向き「櫛引地域コミュニティ実態調査表」によって聴き取り調査を行ないまとめたものです。

1. 調査に協力いただいた方々 各地区の区長さんをはじめとした地区役員
2. 調査担当者 総務課職員、市民福祉課職員 教育課職員
3. 調査の項目は次のとおりです

1. 住民生活・地域の概況
2. 自治会の状況
 - (1)自治会の運営について
 - (2)自治会と各機関との関係
 - (3)その他
3. 地域内の活動
 - (1)共同作業
 - (2)各分野の地域内の活動
 - ①支え合い
 - ②環境美化
 - ③青少年育成
 - ④社会教育、公民館活動
 - ⑤まつり、伝統文化
 - ⑥産業(農業)
 - ⑦地域活性化
 - (3)各層団体の状況
 - (4)その他

4. 調査地域の概要 別添のとおり

平成 20 年度 5地区 下山添、板井川、黒川上、東北、櫛代

平成 21 年度 8地区 黒川下、上山添、桂荒俣、東南、中田、宝谷、田代
西荒屋

平成 22 年度 8地区 常盤木、西片屋、丸岡、三千刈、王祇、黒川中、松根
馬渡

5. 特徴的な内容

(1) 自治会の運営について

- 宅地造成により新興住宅地の世帯数が多くなった。県外からの転入者もあり、従前の地区運営をそのまま踏襲することが困難な状況になっている。地区総会の出席率が低いことから代議員制度の導入を検討中。(下山添)
- 副区長が会計、衛生推進員を兼務、公民館主事が公民館会計を兼務するなど経費の節減を図っている。(東南)
- 副区長が公民館長を兼務、公民館部長が地区運営委員を兼務するなど人件費の削減に努めている。(中田)
- 平成 20 年に丸岡地区地域づくり計画(地域振興、地域福祉、景観整備)を策定している。(丸岡)
 - 1. 安全で安心な地域づくり
 - 2. 地域の絆を深める地域づくり
 - 3. 歴史と文化を背景とした豊かな地域づくり
 - 4. 健康で明るい助け合いの地域づくり
 - 5. 美しい環境の地域づくり
- 平成 21 年には丸岡地区住民憲章を制定している。
- 地区運営のスタッフが区長と副区長の二人しかいない。実働部隊が少ないので何とかしていきたい。例えば自治公民館には専門部がありそれぞれ部長がいる。自治会と自治公民館のスタッフを一緒にするか、自治会にも専門部を作ってスタッフを増やすか検討している。自治会の会報発行も計画しておりスタッフがあと4~5人は欲しい。(丸岡)
- 地区事業の5つの柱を掲げている。(王祇)
 - ① みんなの知恵:集まりを積極的に設け話し合いを重ねる
 - ② 住みよい環境:環境整備と保全会との協力による
 - ③ 楽しい活動:公民館活動の充実による健康で楽しい地域づくり
 - ④ 安全安心:自主防災・防犯活動の充実
 - ⑤ 地区財産管理:地区住民台帳作成、財産確認と管理台帳作成
- 地区費は一戸あたり年間24,200円で寄付や同窓会費も含んでいる。地区の会計は大変だが地区費の値上げはできない。今年役員報酬の1割カットを行なった。(黒川中)
- 広報紙(黒川中だより)を月2回発行し、地区民への広報活動に力を入れている。(黒川中)
- 定期的に役員が交代する自治組織では長期的な視点に立った事業の展開が行ないづらいとの考えから「松根塾」組織を立ち上げ伝統芸能の復活や地区ゆかりの地訪問、六十里越街道整備などを行なっている。(松根)
- 自治会が経費を負担し「松根塾」でホームページを立ち上げる。松根に関心を持つ人を呼び込みたい。自治会がマンネリ化しないように、毎年何か新しいもの

を加えるようにしている。(松根)

(2) 共同作業について

- 老人世帯が多くなり困難になってきている(西荒屋)
- 側溝掃除の蓋上げが大変、地区で器具を購入して対応している(丸岡)

(3) 農地・水・環境保全事業について

- 「農地・水・環境保全」では農道の雑木伐採、用排水路の泥上げ、ナラ枯れ木などの伐採などを行なっている。入作者にも協力を求めるが参加してくれない(宝谷)
- この事業については非常に大きな効果がある。共同活動の支えとなっている。中山間地域では必要な事業であり、農業を集団化していくためには必要な制度である。(松根)
- 保全会と協力して「まどりの花街道」づくりを実施している。(王祇)
- 子供たちを対象に「川の生き物調査」を行い、地域の自然を学習した。(田代)
- 地区民が参加する農地・水・環境保全会で市道路肩にヒメイワダレ草の植栽を行なうなど活発な環境整備活動を行なっている(黒川中)

(4) 高齢者の見守り

- 高齢者世帯の割合が高くなりつつあり、高齢者の見守りなど高齢者支援システムの整備が課題となっている。(下山添)
- 高齢者の見守り活動はヤクルトレディの月会の訪問と近隣の声かけで対応している。除排雪の助け合いシステムはない。(板井川)
- 高齢者世帯の除排雪は隣近所が支援しており、近所付き合いは今も強く残っている。(黒川下)
- 高齢者独居世帯については、不測の事態に備え、連絡先(子、親戚)を区長、民生児童委員が確認している。(上山添)
- 高齢者の見守り活動は民生児童委員が毎週1回ヤクルトを配布しながら状況を把握している。(高齢者の話し相手)(桂荒俣、東南、中田、田代、常盤木、三千刈、黒川中ほか)
- 社会福祉協議会に「小地域福祉活動支援事業」の導入により、民生児童委員が作成した要支援者マップを基に、独自の要支援者福祉マップを作成し、公民館に保管している。(桂荒俣)
- 独居老人世帯には民生児童委員のヤクルト配布の他に、防犯パトロール5人が交代で月2回訪問している。(丸岡)

(5) 子供の見守り隊

- 子供の見守り隊は登録制で老人クラブ、子ども会育成会、一般地区民、地区役員からなる21人体制で行なわれている(桂荒俣)
- 子供見守り隊は有志(高齢者)26人、3班体制で行なっている。子供会と見守り隊の交流会が行なわれている。(中田)

- 子供見守り隊は、子ども会育成会、地区役員、婦人部、婦人会、若妻会、老人クラブが月ごとに担当し、各組織で当番表を作成している。(田代)
- 子供見守り隊は保護者で対応している。小学生の挨拶が大変よい。(西荒屋)
- 学区が二つに分かれていて西小学校に通学している児童が大半であるが、少数の児童は南小学校に通学しており、地区役員の対応も大変である。(常盤木)
- 全戸に呼びかけ参加可能な世帯が見守りにあっている。(西片屋)
- 登下校の見守りは、見守り隊24人と防犯パトロール5人が毎日3人体制で行なっている。(丸岡)
- 小学校下校時の見守りは当番など置いていない。地域みんなで遠くから見守ることと挨拶の声かけをすることとしている。(王祇)
- 小学校下校時の見守り隊は児童と家庭と老人クラブで実施。危ないところにだけ立っている。一緒に下校したりはしない。(黒川中)
- 小学生の見守りについては、ボランティアを募集し、現在は4班40人体制で対応している。(松根)
- 登下校の見守りは子供のいる家庭で対応。毎日2世帯が出ている。(馬渡)

(6) 環境美化、青少年育成について

- 近年魚道を整備した区内を流れる田沢川の生き物を子ども会育成会が中心となって年次的に調査している。(黒川中)
- 青年部が子供育成会や農地・水組織とともに【わんぱく広場】に野菜を植え夏祭りの食材にしている。(松根)

(7) まつり、伝統文化について

- 祭事については350世帯のうち120世帯が氏子となっているが、新興住宅地からの新規加入はほとんどなく、一体感に欠けていることから、氏子以外も参加しやすい体制作りを検討中である(下山添)
- 天狗舞・獅子舞などの伝統芸能が保存会によって継承されており、保存伝承に苦慮している他の地区への指導も行なっている(板井川)
- 天狗・獅子舞の後継者も育っており、伝統文化の継承は今の所心配はない。平成21年10月に伊勢神宮に奉納した。(東北・東南)
- 若者が地元の仕事がないことから卒業と同時に地元を離れる。家の跡継ぎがないことは黒川能の座員の減少に繋がることであり、黒川能の保存の観点からも心配である。(黒川上・黒川下)
- 地区の青年組織としては元気がないが、黒川能の座員としてのまとまりや活動は活発である。(黒川下)
- 奴振り、天狗獅子舞の保存会に50名ほど加入しているが、20代、30代の若者が足りない状況である。(上山添)
- 天狗舞・獅子舞の保存会は常盤木地区と合同で組織している。舞の組織は両地区にあり2年交代で舞っている。(中田)

- 20年の歴史を持つ郷土史研究会が定期的に活動している。(宝谷)
- 宝谷八木節は30年ほど前に復活し、保存会が結成され地区の盆踊りの他、出羽三山神社の八朔祭などのイベントに出演している。(宝谷)
- 地区の氏神様「山祇神社」の例大祭では、倭舞が奉納され、子供みこしが家々を廻っている。(田代)
- 地区の歴史を学ぶ丸岡学講座は、独自の特徴的な事業(丸岡)
- 7月23日ごろ、熊本城主加藤清正の嫡男忠廣が幽閉されて丸岡城に長く住んだことにちなんで、清正公祭が盛大に開かれ、多くの観光客が訪れる。(丸岡)
- 伝統芸能では諏訪神社の天狗舞・獅子舞、忠廣に囚んだ丸岡桐箱踊りが盛んで、若い年代が活躍している。(丸岡)
- 伝統芸能については、一時途絶えた「天狗舞・獅子舞」を復活させ現在は20人以上のメンバーがいる。地域の活性化の大きな柱となっている。(松根)

(8) 産業について

営農類型として

水稻を中心に野菜、花卉などを取り入れた複合経営	下山添
水稻を中心に少量多品目の野菜生産が盛ん	板井川
水稻と庄内柿の複合経営	黒川上、黒川中、黒川下、田代、王祇、松根
水稻と和なしの複合経営	東北、東南
水稻と葉たばこ、赤カブ、露地小菊との複合経営	糺代
水稻とそば、赤カブ、在来野菜「宝谷かぶ」などの複合経営	宝谷
水稻とぶどう、さくらんぼ、りんご、梨などの複合経営	西荒屋
水稻と菌茸類、和なしなどの複合経営	常盤木
水稻とサクランボ、梅などの複合経営	西片屋
水稻とりんごなどの複合経営	三千刈

※ それぞれの地区の特色を活かした経営がなされている。産直あぐりの果たしている役割は大きいと思われます。

- 在来野菜「宝谷かぶ」は10人の組織で活動しており、栽培は7人で行なっている。(宝谷)
- ソバ栽培に力を入れており、刈り取り、乾燥、製粉まで行い「ふるさとむら宝谷」で提供している。(宝谷)
- アサツキ栽培が盛んで23戸で取り組んでいる。(田代)
- 鳥獣被害はサル、ハクビシンによるぶどう、サクランボ、柿を中心に広がっている。
- 「産直あぐり」の会員は40人ほどおり、果樹、山菜、孟宗、きのこを中心に出荷している。個人経営の直売所が4軒ある。(西荒屋)
- さくらんぼに加え梅の栽培も多い。今後ともさくらんぼの栽培は継続して行なう。さくらんぼは、販売と観光さくらんぼ園で地域活性化の大きな要因となっている。空き家にハクビシンが住み着いて農作物に被害が出ている。(西片屋)

(9) 各層団体の状況

- 地区公民館を会場に「放課後子供教室」を開催している。(下山添)
- 伊勢講、観音講があり活発に活動している(黒川下)
- 伊勢講、念仏講、庚申講は隣組単位で組織されている。古峰神社の代参も継続している。(東南)
- 高齢者で「いきいき健康クラブ」を組織し、85人が参加して10のサークルで活発に活動している。(丸岡)

(10) 防災・防犯について

- 日中の消防団員が少なくポンプ積載車が出動できないという不安がある。(常盤木、黒川上)
- 消防団員が日中は地元が少ないが、王祇会館や地元の会社勤めの人がいざというときに対応してくれる。(王祇)
- 防犯、火の用心の見回りを夕方実施している。(王祇)
- ほとんどがサラリーマン世帯であることから、日中の消防活動に不安がある。(上山添)
- 消防OB会(10人) 消防団を退団すると自動的にOB会に入会するシステムが確立されている。(桂荒俣)
 - 自主防災組織の体制が整っている。毎年ホース点検と放水訓練を行なっている。市から貸与された小型動力ポンプがあり、適正に維持管理されている。(宝谷)
- 消防団員は9名いるが、日中はゼロ。(宝谷)
- 消防団員は確保されているが、日中の団員はゼロ。(田代)
- 消防団員の確保は順調だが、日中の団員はゼロ。自主防災組織では講話会を毎年開催している。(西荒屋)
- 日中の消防力確保のため、消防OBの活用も考える必要がある。冬季間の水利確保が困難である。(樺代)
- 日中の消防団員が4割程度であることから、ポンプ車が出動できない不安がある。(下山添)
- 消防団員は確保されているが、農家の兼業化や勤務形態の多様化によって日中の団員数が少なくポンプ積載車の出動ができず、消防OBが協力したことがあった。(板井川)

(11) 生活の足の確保について

- 地域内に生鮮食料品や日用雑貨を取り扱う商店がないことから、交通手段を持たない高齢者が不便を感じている。(通院も同様)(東北、樺代)
- スクールバスの混乗システムをとっているが定期的に利用する人はいない。買い物や通院などの移動困難者は家族の送迎や隣人の送迎に頼っている。(宝谷)

- 高齢者世帯の移動困難者はタクシーや家族の送迎に頼っている。個人商店の食材配達を利用している高齢者世帯あり。移動販売車が生鮮食料品の販売の際に日用雑貨の買出しを引き受けている。便利屋的存在で高齢者は助かっている。(田代)
- バス路線の要望を庄内交通に出している。以前は高速のバス停がバイパスにあったが高速道路ができてからなくなってしまった。上山添まで2キロくらい歩かないとバス停がないので不便である。今でも二人ほどバス利用者がいる。(丸岡)
- 高齢者世帯の移動困難者はタクシーや家族の送迎の他路線バス利用者もいる。バス利用者は車が無いが、またはあっても運転する若い者に迷惑を掛けたくないと思っているようだ。(松根)

地域課題解決のための施策として展開されている事業

- ① 防災に対する不安の解消 「鶴岡市消防団活動協力員」の創設
平成22年度で30名が登録

- ② おらが自慢づくりモデル組織等支援交付金該当
平成21年度

宝谷八木節親子教導事業	宝谷八木節保存会
槻代地域伝統文化保存・伝承事業	槻代自治会
内容 安産地藏まつり「子供相撲大会」梵天製作	

- ③ つるおか生き生きまちづくり事業採択

平成21年度

綴れ織りを使った日用品の開発	綴れ織り 虚籟庵
天狗舞・獅子舞保存伝承事業	八幡神社保存会
歴史と文化を背景とした豊かな地域づくり事業	丸岡地区自治会

平成22年度

つるおか絹物語発信事業	綴れ織り 虚籟庵
イバラトミヨの保護と活用によるまちづくり	イバラトミヨを守る会
地域コミュニティ再生のための事業	丸岡地区自治会
倭舞・倭楽保存伝承事業	鶴岡倭楽保存伝承事業
天狗舞・獅子舞保存伝承事業	東荒屋伝統文化保存会

④ 「庄内伝承の里」魅力発信支援事業 山形県

平成20年度

宝谷かぶの保存伝承事業	宝谷かぶ普及研究会	
松根地区に伝わる伝統文化、歴史等の資源の再発見・保存伝承		松根塾
地域伝統芸能「黒川能」伝承	黒川 蠟燭能実行委員会	

平成21年度

宝谷かぶの保存伝承事業	宝谷かぶ普及研究会	
松根地区に伝わる伝統文化、歴史等の資源の再発見・保存伝承		松根塾
地域伝統芸能「黒川能」伝承	黒川 蠟燭能実行委員会	

平成22年度

松根地区に伝わる伝統文化、歴史等の資源の再発見・保存伝承		松根塾
------------------------------	--	-----

⑤ 平成22年度地域コミュニティ調査研究事業

地域のリーダーとして地域コミュニティ活動を支え、活力を生み出す人材育成を目的にセミナーや先進事例視察を実施。

若者の定住促進について
少子高齢化への対応について
高齢者支援体制の整備について
防災体制の強化について

実態調査の結果を参考にしながら必要と思われる施策を共に構築していきたいと考えておりますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

地域コミュニティ実態調査
報 告 書

平成22年10月

櫛 引 庁 舎

目 次

1. 地域の課題と課題に対する方向性（H20～H22のまとめ）

2. 年度毎の調査報告書

平成20年度調査

下山添、板井川、黒川上、東 北、橿 代

（5地区）

平成21年度調査

黒川下、上山添、桂荒俣、東 南、中 田、

宝 谷、田 代、西荒屋 （8地区）

平成22年度調査

常盤木、西片屋、丸 岡、三千刈、王 祇、

黒川中、松 根、馬 渡 （8地区）

地域コミュニティ実態調査

【地域の課題と課題に対する方向性・・・H20～H22のまとめ】

① 少子高齢化の進行

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・全人口の減少率が2.5%であるのに対し、年少人口の減少率が17.3%、高齢人口の増加率が12.7%となっており、少子高齢化が著しく進行していることから、共同作業、祭事、伝統芸能などの維持継承にきびしさと不安を感じている。 ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が増加しており、10年後には今の3倍ぐらいになると予測している地区もある。地区費減免が自治会運営に影響してきている。 ・少年スポーツ大会で単独チームを編成できない地区がでてきている。 ・若者のスポーツ大会に50代あたりまで参加しないとチームを編成できない地区がでてきている。 ・晩婚化、未婚化が少子化の要因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚し、子どもを産み育てる環境整備のうち経済的生活基盤の安定が重要と考えられることから、通勤圏内での雇用の確保、農家経済の安定化を図る必要がある。高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯の増加抑制のためにも、後継者への通勤圏内での雇用確保が重要である。 ・若者の定住促進策の強化（雇用、農業経営の安定化） ・集落自治振興交付金の継続 ・結婚対策の強化 ・住宅用地造成による居住人口増加対策

人口の推移（櫛引地域）※国勢調査による

単位：人 %

	平成12年国調		平成17年国調		増 減	増減率
全人口	8,536	100.0	8,320	100.0	△216	△2.5
年少人口(～15歳)	1,407	16.5	1,163	14.0	△244	△17.3
高齢人口(65歳～)	2,116	24.8	2,385	28.7	269	12.7

人口の推移（櫛引地域）※住民基本台帳による(9月30日現在)

単位：人 %

	平成17年住基		平成22年住基		増 減	増減率
全人口	8,376	100.0	7,931	100.0	△445	△5.3
年少人口(～15歳)	1,272	15.2	1,076	13.6	△196	△15.4
高齢人口(65歳～)	2,311	27.6	2,322	29.3	11	0.5

② 高齢者世帯の増加

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者が就職等で県外を含む地区外で生活していることから、高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が増加している。 ・ 地区外に生活する後継者が親を呼び寄せようとしても、後継者が独身であって介護ができない、慣れない地での孤独感などから高齢者のみで生活しているケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者の定住促進策の強化（通勤圏内での雇用確保）

③ 高齢者支援システムの整備

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 櫛引地域の高齢化率は28.7%となっており、今後も高齢人口、率ともに伸びるものと予想される。高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯も増加するものと予想されることから、高齢者の見守り、通院・買い物時の交通手段、除排雪などに対する支援システムの整備が必要である。 ・ 高齢者の見守りは民生児童委員や隣近所が面倒みてくれるが、通院や買い物で移動が必要な場合、車の乗り合いは事故の心配もあり難しい。 ・ 地区内に生鮮食料品や日常生活用品を扱う商店がなく、移動手段を持たない高齢者のフードデザートが心配される。 ・ 高齢者宅の除排雪は近隣住民や親戚が面倒みているが雪下ろしは業者、シルバー人材センターに頼らなければならない。 ・ 災害時の要援護者支援については民生児童委員と区長が情報を把握しているが、災害発生に備えた訓練が不十分である。 ・ 高齢化や高齢者のみ世帯の増加により、通院や買い物での自家用車で移動が困難になっていくことが予想される。交通安全上も心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の見守り活動については、民生委員による定期訪問と地区役員や近隣の声かけで対応できるものと考えられるが、通院・買い物などの交通手段、除排雪などについては、NPOや有償・無償ボランティア組織の育成が必要である。 ・ 小回りの利く公共交通システムの整備 ・ タクシー助成制度 ・ 除排雪経費に対する助成制度の拡充 ・ 自主防災組織の訓練の充実（災害発生時の要援護者支援計画の検討） ・ 路線バスのルート、バス停の確保、便数の充実

④ 空き家の増加

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現に空き家となっているものに加え、高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯で跡継ぎが戻る見込みが立っていない世帯も多くあり、将来的に空き家が増える可能性が高い。 ・ 倒壊の危険性、不衛生な環境、犯罪の危険性が懸念される。 ・ 朽ちてきて野生動物の棲家になっている空き家もあり、農作物に被害も出ている。 ・ 空き家の管理をその親戚などに連絡したりしているが、なかなか思うように管理が行き届かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者の定住促進策の強化（雇用、結婚） ・ 所有者等の情報把握（連絡の確保） ・ 所有者等の情報把握（連絡の確保） ・ 地区での空き家ルールづくりなど自主管理意識の啓蒙

⑤ 若者の定住促進

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家を継ぐ立場の若者はなんとか地元に残っているが、そうでない若者は職を求めて地域外（県外など）に転出している。大卒者にあっては知識を活かせる職種や企業が少ないことからほとんど地元に戻らない状況にあり、地域の活力が失われつつある。 ・ 地元就職先がなく高校卒業と同時にほとんどが地元を離れる。 ・ 若年層を中心に地区の人口が減ってきている傾向が強い。 ・ 40代、50代の未婚者が多く、結婚も年に1組あるかどうかの地区が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区行事、共同作業、祭事には若者のパワーが不可欠であり、伝統芸能の保存伝承の後継者となるものである。 ・ 少子化対策の根幹である若者が地域内に定住することは、地域の活性化に重要であることから、通勤圏内での雇用確保を図る必要がある（景気の回復、企業誘致）。 ・ 遊休土地を活用した産業の誘致による雇用創設 ・ イベント開催などでの交流人口増加による婚活の推進 ・ 子どもを産み育てやすい環境の整備

⑥ 結婚対策

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 40代、50代の独身男性がどの集落にも4、5人程度おり、適齢期を逃がすと結婚が難しくなっている。 ・ 勤務形態の多様化などから女性との出会い、交流の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 結婚し、子どもを産み育てるための環境整備（通勤圏内での雇用の確保、農家経済の安定化） ・ 世話やき制度の創設と世話やきの育成 ・ 結婚相手を紹介したり、紹介されたりすることが日常的に行われる雰囲気醸成 ・ 男女の出会い、交流機会の創出

⑦ 自治会組織の活性化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会や公民館組織が将来今の形でやっていけるのか不安もある。 ・地区の運営は大変だが地区費の値上げは厳しい状況から役員報酬のカットで対応した。 ・若妻や青年組織がなくなったり弱体化したりして、自治会の運営がしづらくなっている。 ・地区に若い人はいるが地域のイベントなどになかなか出てこない。 ・役員の担い手がなかなかいない。 ・少子高齢化や農業者減少の中で地区の共同作業への参加意識や参加率が低下している傾向にある。 ・人づきあいが希薄になってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会振興計画や憲章の策定 ・自治会組織や公民館組織の再編 ・集落自治振興交付金の継続 ・伝統芸能や祭りの活性化 ・自治会と別の地域活性化組織を立ち上げ中長期的な取り組みの視点で課題に対応して行く（例：松根塾）。 ・地区民が全体で取り組む農地水環境保全会による環境整備活動や生き物調査活動など共同活動の大きな支えとなっている。 ・地区の会報を発行したりホームページを立ち上げたりして情報交流や情報発信を行う。

⑧ 婦人組織の活性化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・結婚適齢期に結婚できない、しない若者がいることから若妻会の会員が減少している。対象者が少なく若妻会が組織されていない地区もある。（H11末をもって連合組織解散） ・連合傘下での活動に負担を感じ、地域婦人会から離脱するところも出始めている。（地区密着型を志向） 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚対策の強化 ・女性の雇用確保対策 ・子どもを産み育てやすい環境の整備

⑨ 防災体制の強化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・農家の兼業化や就業形態の多様化により、日中に不在となる団員が多いことから消防ポンプ車が出動できない事態が懸念されている。 ・自主防災組織は、阪神淡路大震災を機に行政主導で立ち上げたが、自主的に訓練などの活動を実践しているのは2～3地区に止まっており、自主防災組織の活動強化が必要である。 ・就業形態の多様化、企業からのプレッシャーなどから消防団に入団する若者が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の消防力補強については、40～50歳代の消防OBが地区内に残っており、その活用が有効と考えられることから、公募登録制や簡易な再訓練、傷害保険制度の創設などについて検討する必要がある。 ・自主防災組織の強化については、市が主催する自主防災組織指導者講習会の受講によって地域リーダーを養成し地域内の防災意識の高揚を図る必要がある。 ・若者の定住促進策の強化 ・消防団協力事業所表示証制度の普及 ・OBの活用、組織化 ・防災訓練の強化（初期消火、災害弱者の支援） ・地区防災マニュアルの整備 <p>「自主防災組織指導者講習会」の受講による地区リーダーの育成と防災意識の高揚</p>

⑩ 伝統・文化の継承

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・天狗舞、獅子舞など伝統芸能の継承者確保が若者の減少、勤務形態の多様化などから困難となっている。 ・黒川能の座から抜ける家が出てきており、能や祭りと、自治会との連携が難しくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進策の強化 ・保存会活動への財政的支援 ・伝統文化保存伝承活動への支援強化 ・財団等の民間支援活用に関する情報提供

⑪ 農業後継者対策

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者が年々減少しており、将来の農業経営に不安を感じている。 ・農業の担い手が減少し、例えば櫛引の特徴である果樹栽培などの優れた技術が途絶えてしまうのではないかと懸念されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の推進、法人化の推進 ・地域の特色を生かした農産物差別化の推進 ・複合経営の推進や6次産業化の推進による農業経営の安定化促進 ・農業後継者の条件整備、招致活動の推進



平成20年度

地域コミュニティ実態調査

報 告 書

平成21年3月

櫛 引 庁 舎

目 次

1. 調査地域の概要	1 ページ
下山添	1
板井川	1
黒川上	2
東 北	2
慌 代	3
2. 課題の課題と課題に対する方向性	3

1 調査地域の概要

① 下山添地区 人口 1,302人、世帯数 350戸

旧櫛引町が昭和60年度から進めた住宅用地造成と平成8年から始まった民間による住宅用地造成により世帯数、人口が急激に増加した地区で、稲作を中心に野菜、花キなどを取り入れた複合経営を主とした農村地域である。

[概要]

・既存集落の世帯数は150戸であったが、宅地造成により新興住宅地の世帯数の方が多くなっている。近隣市町村のみならず県外からの転入者もあり、従前の地区運営をそのまま踏襲することが困難な状況になっている。地区総会の出席率が低いことから、代議員制度の導入を検討中である。

・高齢者のみ世帯21戸と高齢者独居世帯12戸あり、全世帯の10%を占めていることから、高齢者の見守りなど高齢者支援システムの整備が課題となってくる。

・地元（通勤圏内）に職がなく高卒者の地元定住は30%程度、大卒者にあっては希望する職種や企業がないことからゼロに等しい状況にある。

・祭事については350世帯のうち120世帯が氏子となっているが、新興住宅地からの新規加入はほとんどなく、一体感に欠けていることから、氏子以外も参加しやすい体制づくりを検討中である。（実行委員会方式など）

・高齢化の進行によって河川清掃や道路側溝の泥上げなどの共同作業が困難になってきている。

・日中の消防団員が4割程度であることから、ポンプ車が出動できない不安がある。

・地区公民館を会場に放課後子ども教室を開催し、現在17名の児童が通っている。

② 板井川地区 人口 392人、世帯数 94戸

旧朝日村に隣接し櫛引地域の南部に位置し、稲作を中心に少量多品目の野菜生産が盛んな純農村地域である。

[概要]

・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が合わせて11戸あるが、家を継ぐ後継者がいないことから深刻な状況となっている。

・高卒で長男などは地元に残るが、それ以外は地区外（県外）に出て行く傾向が強い。大卒者にあってはほとんど戻ってこない。

・次世代の後継者のいる世帯は9割ほどあるが、40～50代での独身者が4～5人いる。

・高齢者の見守り活動はヤクルトレディの月2回の訪問と近隣の声かけで対応している。除排雪の助け合いシステムはなく、個人に有償でお願いしている状況である。

- ・婦人会、老人クラブの活動が活発に行われている。
- ・消防団員は確保されているが、農家の兼業化や勤務形態の多様化によって日中の団員数が少なくポンプ積載車の出動ができず、消防OBが協力したこともあった。
- ・地区内に同年代の子どもがなく、他の地区まで範囲を広げて遊び相手を求めている。
- ・天狗舞、獅子舞などの伝統芸能が保存会によって継承されており、保存伝承に苦慮している他の地区への指導も行っている。

③ 黒川上地区 人口 394人、世帯数 94戸

黒川能で知られる春日神社のお膝元に位置し、稲作と庄内柿の複合経営が中心の純農村地域である。昭和50年に椿出、橋本、上の山、平田山の4集落が統合してできた比較的新しい自治組織である。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が合わせて18戸、約2割もあり、その中には後継者のいない世帯もあり、家の存亡が危惧されている。
- ・結婚適齢男性の1/3（30人程度）が独身であることから、家の存亡にかかわることもあり深刻に受け止めている。
- ・若者が地元の仕事がないことから卒業と同時に地区を離れる。家の後継がないことは黒川能の座員の減少につながることであり、黒川能の保存の観点からも心配である。
- ・農業情勢がきびしいこともあり、農業後継者のいる農家は5割ほどになっている。後継者のない高齢の農家は農作業委託や全面委託へ移行している。
- ・日中の消防団員が1割程度しか地区に残っておらず、ポンプ積載車が出動できないという不安がある。

④ 東北地区 人口 284人、世帯数 64戸

櫛引地域のほぼ中央に位置し、稲作をベースに昭和56年に導入した農用地利用増進特別対策事業で造成した和なし団地で生産される「荒屋なし」との複合経営に取り組む純農村地域である。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯と高齢独居世帯が合わせて5戸あるが、そのうち高齢者のみ世帯の今後の見通しが立っていない。
- ・地域内に生鮮食料品店や日用雑貨を取り扱う商店がないことから、交通手段を持たない高齢者が不便を感じている。(通院も同様)
- ・次世代の後継者のある世帯が9割もあることから、高齢者世帯は他の地区と比較すると少なくなっている。また、40～50代での未婚男性も1人ぐらいでほとんどが結婚している。空き家は1件もない。
- ・天狗舞、獅子舞の後継者も育っており、伝統文化の継承は今のところ心配はない。
- ・地区内に同年代の子どもがなく、他の地区まで範囲を広げて遊び相手を求めている。

⑤ 梶代地区 人口 261人、世帯数 61戸

梶引地域東部中山間地域に位置し、水稻を中心作物に葉たばこ、赤かぶ、露地小菊の栽培などを取り入れた複合経営が行われている純農村地域である。また、絵本作家の土田義晴氏との交流が長く続けられ、『田んぼのお絵かき』のイベントをとおして県内各地からの参加者との交流が行われている。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯と高齢独居世帯が合わせて7戸あるが、後継者がなく家の存亡が危惧される。結婚適齢期の独身男性が多く（10人ほど）いることから、将来に不安が残る。
- ・地域内に生鮮食料品店や日用雑貨を取り扱う商店がないことから、交通手段を持たない高齢者が不便を感じている。（通院も同様）
- ・除排雪や雪下ろし、通院や買い物の乗り合いなど的高齢者支援システムがない。
- ・高卒で長男などは地元に残るが、それ以外は職を求めて地区外（県外）に出て行く傾向が強い。
- ・日中の消防力確保のため、消防OBの活用も考える必要がある。冬季間の水利確保が困難である。
- ・冬季間、除雪が行われない路線があることから隣接集落との相互協力が行えず不安を感じている。（梶代地区小文地楯⇄羽黒地域東山）
- ・入作者や高齢農家の耕作放棄地が5haほどあるが、相当の期間が経過していることから復元は困難である。畑地についても耕作に多くの労力を必要とすることから受け手がない。

2 地域の課題と課題に対する方向性

① 少子高齢化の進行

課 題	課題に対する対応の方向性
・全人口の減少率が2.5%であるのに対し、年少人口の減少率が17.3%、高齢人口の増加率が12.7%となっており、少子高齢化が著しく進行していることから、共同作業、祭事、伝統芸能などの維持継承にきびしさと不安を感じている。	・結婚し、子どもを産み育てる環境整備のうち経済的生活基盤の安定が重要と考えられることから、通勤圏内での雇用の確保、農家経済の安定化を図る必要がある。高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯の増加抑制のためにも、後継者への通勤圏内での雇用確保が重要である。

人口の推移（梶引地域）

単位：人、%

	平成12年国調		平成17年国調		増 減	増減率
全人口	8,536	100.0	8,320	100.0	△216	△2.5
年少人口	1,407	16.5	1,163	14.0	△244	△17.3
高齢人口	2,116	24.8	2,385	28.7	269	12.7

② 高齢者支援システムの整備

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 檜引地域の高齢化率は28.7%となっており、今後も高齢人口、率ともに伸びるものと予想される。高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯も増加するものと予想されることから、高齢者の見守り、通院・買い物時の交通手段、除排雪などに対する支援システムの整備が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の見守り活動については、民生委員による定期訪問と地区役員や近隣の声かけで対応できるものと考えられるが、通院・買い物などの交通手段、除排雪などについては、NPOや有償・無償ボランティア組織の育成が必要である。

③ 若者の定住促進

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家を継ぐ立場の若者はなんとか地元に残っているが、そうでない若者は職を求めて地域外（県外など）に転出している。大卒者にあっては知識を活かせる職種や企業が少ないことからほとんど地元に戻らない状況にあり、地域の活力が失われつつある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区行事、共同作業、祭事には若者のパワーが不可欠であり、伝統芸能の保存伝承の後継者となるものである。少子化対策の根幹である若者が地域内に定住することは、地域の活性化に重要であることから、通勤圏内での雇用確保を図る必要がある。

④ 防災体制の強化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農家の兼業化や就業形態の多様化により、日中に不在となる団員が多いことから消防ポンプ車が出動できない事態が懸念されている。自主防災組織は、阪神淡路大震災を機に行政主導で立ち上げたが、自主的に訓練などの活動を実践しているのは2～3地区に止まっており、自主防災組織の活動強化が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日中の消防力補強については、40～50歳代の消防OBが地区内に残っており、その活用が有効と考えられることから、公募登録制や簡易な再訓練、傷害保険制度の創設などについて検討する必要がある。自主防災組織の強化については、市が主催する自主防災組織指導者講習会の受講によって地域リーダーを養成し地域内の防災意識の高揚を図る必要がある。

平成21年度

地域コミュニティ実態調査

報 告 書

平成22年3月

櫛引庁舎

目 次

1. 調査地域の概要	1 ページ
黒川下	1
上山添	1
桂荒俣	2
東 南	3
中 田	4
宝 谷	4
田 代	5
西荒屋	7
2. 地域の課題と課題に対する方向性	8

1 調査地域の概要

① 黒川下地区 人口 523人、世帯数 133戸

世帯数の60%が国指定重要無形民俗文化財『黒川能』を支える能座に加入し、20%の世帯に能役者を務める座員がいるなど『黒川能』を中心とした生活環境にあり、稲作に庄内柿などを取り入れた複合経営を主とした農村地域である。昭和43年に成沢、大杉、大杉川原、漆原の4集落が統合してできた自治組織であり、神社に係る小字単位（旧集落）の活動が今も残る。

[概要]

- ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が合わせて14戸あり、そのほとんどは後継者が地域外に出ており戻る見込みがなく、世帯数の減少、人口減少が避けられない状況にある。
- ・結婚適齢期の男性が相当数いるが、就業構造の多様化、積極性の欠如から女性との交流機会を作れない若者が多い。女性を紹介し、見合いを勧める世話やきがいなくなった。結婚は2年前に1組あった。
- ・若者が地元の仕事がないことから卒業と同時に地区を離れる。家の後継がないことは黒川能の座員の減少につながることであり、黒川能の保存の観点からも心配である。
- ・大卒者にとっては希望する職種、企業がないことからほとんど地元で止まらない。
- ・日中の消防団員が少なく、ポンプ積載車が出動できないという不安がある。
- ・自主防災組織はあるが有名無実であり、災害弱者対策も含め検討しなければならない。
- ・高齢者の見守り活動は民生児童委員が毎週1回ヤクルトを配布しながら状況を把握している。（高齢者の話し相手）
- ・高齢者世帯の除排雪は隣近所が支援しており、近所付き合いは今も強く残っている。
- ・公民館の組織として青年会はあるが活動実績がなく課題である。
- ・地区の青年組織としては元気がないが、黒川能の座員としての纏まりや活動は活発である。
- ・御伊勢講、観音講があり活発に活動している。

② 上山添地区 人口 412人、世帯数 114戸

櫛引地域の中央に位置し、庁舎、小中高等学校、郵便局などの公共施設が集中していることに加え、スーパー、医院が近くにあるなど、生活には大変便利な地区である。114戸のうち農家は17戸と少なく、サラリーマン家庭が85%を占めている。

[概要]

- ・高齢者のみ世帯が15戸、高齢者独居世帯が7戸あり、後継者が戻る見込みがなく世帯の減少、人口減少が避けられない状況にある。今後10年ぐらいのうちに世帯数が大きく減少すると見込まれる。
- ・上記世帯は今後、空き家になる可能性が高い。
- ・大卒者は希望する職種や企業がないことから地元に残らない。高卒の二、三男や女子は

就職先がないことから県外へ出る傾向が強い。

- ・結婚は年に1組程度で、40代、50代の独身者がいる。
- ・他県に就職すると都会の生活レベルに慣れ、地元には戻れない。
- ・要支援者対策は民生児童委員が週1回ヤクルトを配布する時に状況を把握している。
- ・高齢者独居世帯については、不測の事態に備え、連絡先（子、親戚）を区長、民生児童委員が確認している。
- ・移動困難者の乗り合いは行っていない。親戚が送迎したりタクシーを利用している。
- ・奴振り、天狗獅子舞の保存会に50名ほど加入しているが、20代、30代の若者が足りない状況となっている。（50代でも現役）
- ・青年部には20名ほど加入しているが、青年部に入らない若者は消防団にも入らないし地区の行事にも参加しない。
- ・ほとんどがサラリーマン世帯であることから、日中の消防活動に不安がある。
- ・婦人会は5～6名の会員しかおらず活動が停滞ぎみになっている。
- ・若妻会は結婚する人が少ないことから新規加入者も少ない。（5～6人）
- ・農家数は17戸と少なく法人化の動きもあり、更に減少する。
- ・日中の消防団員が少なく、有事の際に不安がある。

③ 桂荒俣地区 人口 263人、世帯数 69戸

櫛引地域のほぼ中央に位置し、庁舎、小中高等学校、郵便局などの公共施設に近いことに加え、スーパー、医院が近くにあるなど、生活には大変便利な地区である。69世帯のうち農家は15戸と少なく、サラリーマン、自営業の世帯が80%を占めている。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯6戸、高齢者独居世帯5戸あり後継者が戻る可能性は低いことから世帯数、人口ともに減少し、空き家になることが心配である。
- ・40、50代の未婚者はいるものの、適齢期に結婚している者が多く15歳未満人口の比率が16.7%と高くなっている。（15歳未満人口44人）
- ・高卒、大卒ともに希望する職種、企業が少なく県外へ出る傾向が強い。
- ・近年は選り好みしなくても仕事がない。（仕事があれば地元に残りたい）
- ・経費節減のため運営審議委員、隣組長には報酬を支払わない。（ちょっとした慰労会で済みます）
- ・民生児童委員が他地区と掛け持ちであることから単独配置を望む。
- ・合同祝い（厄払い）を地区主催で行なっている。（7歳、33歳、42歳、49歳、61歳）
- ・高齢者の見守り活動は民生児童委員が毎週1回ヤクルトを配布しながら状況を把握している。（高齢者の話し相手）
- ・社会福祉協議会の『小地域福祉活動支援事業』の導入により、民生児童委員が作成した要支援者マップを基に、独自の要援護者福祉マップを作成し、公民館に保管している。
- ・子どもの見守りは登録制で老人クラブ、子ども会育成会、一般地区民、地区役員からなる21人体制で行われている。

- ・長寿講 55歳になると強制的に加入させられる酒飲み講で75年の歴史を持ち、地区の融和維持に大きく貢献している。
- ・15戸の農家のうち11戸が生産組合に加入し、後継者もあることから耕作放棄地の心配はない。
- ・レディースサロン 連合婦人会傘下の活動を負担に感ずるようになり、会員が6人まで減少したことから解散し、レディースサロンに改組したもので地域密着型の活動を展開している。(45歳以上の24名が地区内ボランティアや親睦会などの活動)
- ・若妻会 順調に結婚が整っていることから会員が25人程度おり、地区行事に積極的に協力している。
- ・青年層は30人程度おり、特に組織化はされていないが野球チーム＝青年団となって地区の行事に積極的に参加している。
- ・消防団員の確保は何度か足を運んでお願いしている。(企業からのプレッシャーがある)
- ・消防OB会(10人) 消防団を退団すると自動的にOB会に入会するシステムが確立されている。

④ 東南地区 人口 242人、世帯数 55戸

櫛引庁舎から集落の中心まで3Kmの位置にあり、公共施設やスーパー、医院にも比較的近く、生活には便利な地区である。農家数27戸、全世帯の約50%を占め、水稻+和梨の複合経営が中心の純農村地帯である。

[概要]

- ・高齢者のみ世帯3戸、高齢者独居世帯5戸あり後継者が戻る可能性は低いことから世帯数、人口ともに減少し、空き家になることが心配である。
- ・高齢者のみ、高齢者独居世帯とも現在のところ健康状態はさほど悪くなく、車の運転もできることから通院、買い物に支障はない。
- ・跡取りは何とか地元就職するが、高卒、大卒ともに仕事を求めて県外へ出る。
- ・40、50代の独身男性が10人ほどいるが、適齢期を逸すると結婚は難しい。
- ・20、30代も10人ほどいるが、結婚の話は聞こえてこない。
- ・副区長が会計、衛生推進員を兼務、公民館主事が公民館会計を兼務するなど経費の節減を図っている。
- ・葬儀については隣組単位で互助制度あり。(弔い銭 300円～500円)
- ・高齢者の見守りは民生児童委員が週1回のヤクルト配達時に声かけをしている。除排雪は隣近所が面倒をみている。
- ・子どもの数が少なくソフトボール大会などでチームが組めない。スポ少、習い事に通う子どもが多くいっしょに遊ぶ機会が少なくなっている。
- ・御伊勢講、念仏講、庚申講は隣組単位で組織されている。古峰神社の代参も継続している。
- ・天狗舞、獅子舞は東北地区といっしょに保存会を組織して保存、継承している。今年、伊勢神宮に奉納した。
- ・隣組単位の忘年会が「歳の神」に合せ行われている。

- ・婦人会は28人の会員で納涼まつり、公民館の草取りなどのボランティア活動や各種研修を行っている。
- ・青年会は20人程度のメンバーで公民館事業の運営に協力している。
- ・若妻会は結婚する人が少ないことから組織されていない。

⑤ 中田地区 人口 219人、世帯数 55戸

国道112号線沿いに位置し、公共施設、スーパー、医院も近く生活には大変便利な地区である。生産組合に加入している農家は5戸と少なく、90%がサラリーマンまたは自営業の世帯となっている。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯8戸、高齢者独居世帯2戸あるが、そのうち7戸については後継者が戻る可能性がない。
- ・結婚は今年1組あったが久しぶりである。
- ・高卒、大卒ともに仕事を求め県外へ出る。二三男や女子はほとんど地元に残らない。
- ・40、50代の独身男性が3、4人いる。30代も15、6人いる。(子どもが少ない要因)
- ・現在、空き家はないが高齢者世帯については今後空き家になる可能性が大きい。
- ・副区長が公民館長兼務、公民館部長が地区運営委員を兼務するなど人件費の削減に努めている。
- ・自主防災組織は稼動していない。日中の消防団員はゼロ。
- ・高齢者の見守りは民生児童委員が週1回ヤクルト配布時に状況把握している。
- ・高齢者宅の除排雪は隣り近所が面倒みている。
- ・子ども見守り隊は有志(高齢者)26人、3班体制で行っている。子ども会と見守り隊の交流会が行われている。子どもたちから見守り隊へ感謝のお手紙。
- ・軽スポーツ、レクリエーション大会で親睦を深めている。100人程度参加。
- ・天狗舞、獅子舞の保存会を常盤木地区と合同で組織している。舞の組織は両地区にあり、2年交替で舞っている。
- ・生産組合加入の農家は5、6戸で土地持ち非農家分を耕作している。後継者のいる農家はなく、10～15年後には農家がなくなる。
- ・婦人会は会員15、6人で出前講座や研修視察、公民館の障子張り、敬老会のボランティアなどを行っている。
- ・若妻会は7人の会員で婦人会と同様の活動を行っている。結婚する人が少なく会員が増えない。

⑥ 宝谷地区 人口 123人、世帯数 31戸

中山間に位置する純農村集落で人口減少、過疎化の進行に対応すべく『ふるさとむら宝谷』、宝谷そば、ホテル鑑賞会、在来野菜「宝谷カブ」などを通じて交流人口の拡大を図るなど集落の活性化に取り組んでいる。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯2戸、高齢者独居世帯2戸あるが後継者が戻る可能性は低い。
- ・スクールバスへの混乗システムをとっているが定期的に利用する人はいない。買い物や通院などの移動困難者は家族の送迎や隣人の送迎に頼っている。
- ・冬季間の路面凍結、吹き溜まりが心配である。
- ・結婚はここ5、6年ない。30代5人、40代4人程度の独身男性がいる。
- ・卒業後も地元に残る傾向が強い。
- ・空き家は4軒あり、うち1軒は別荘として利用され、昔語りの会場として提供されている。別荘の所有者は地区行事（共同作業）にも参加している。
- ・地区や公民館、その他の組織に監事は置かないで、組織が相互に監査を行っている。
- ・自主防災組織の体制が整っている。（自主防担当役員を置く）毎年ホース点検と放水訓練を行っている。市から貸与された小型動力ポンプがあり、適正に維持管理されている。
- ・高齢者宅の雪下しは親戚が段取りし、シルバー人材センターなどに頼んでいる。
- ・他地区からの入作者が36人いるが、堰掃除や道路の草刈などの共同作業に出てこない。不参加者から不参金を徴収する手間が煩わしい。（区長の仕事）
- ・『農地・水・環境保全』では農道の雑木伐採、用排水路の泥上げ、ナラ枯れ木の伐採などを行っている。入作者にも協力を求めるが参加してくれない。
- ・墓若勢、念仏などの互助システムは残っている。
- ・盆踊り、運動会（レクリエーション）は地区民総出で行っている。
- ・20年の歴史を持つ郷土史研究会が定期的に活動している。（5人）
- ・宝谷八木節は30年ほど前に復活し、保存会が結成され、地区の盆踊りのほか出羽三山神社の八朔祭りなどのイベントに出演している。
- ・在来野菜「宝谷カブ」は10人の組織で活動しており、栽培は7人で行っているが収量が少なく出荷までは至ってない。（栽培技術の向上と種子確保）
- ・ソバ栽培に力を入れており、刈り取り、乾燥、製粉まで行い『ふるさとむら宝谷』で提供している。
- ・入作者の農地が20haあるが、そのうち5haが耕作放棄地となっている。
- ・ホテルの里を整備し、昔語りの会とホテル鑑賞会をセットで開催している。多くの人たちが訪れている。
- ・若妻会、青年層の組織はない。
- ・消防団員は9名いるが、日中はゼロ。

⑦ 田代地区 人口 311人、世帯数 68戸

田代と大坂山の2つの集落が昭和40年に合併した自治組織で櫛引地域東部に位置し、羽黒町上野新田集落と隣接する水稻+庄内柿の複合経営を中心とする農業と櫛引東工業団地の設置により企業誘致が進められた工業が混在する集落である。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯4戸、高齢者独居世帯4戸あるが後継者が戻る可能性は低く空き家になる可能性が大きい。
- ・高齢者世帯の移動困難者はタクシーや家族の送迎に頼っている。

- ・個人商店の食材配達を利用している高齢者世帯あり。
- ・移動販売車が生鮮食料品の販売の際に日曜雑貨の買い出しを引き受けている。便利屋的存在で高齢者は助かっている。
- ・結婚は昨年1組あった。40、50代の独身男性が5人ほどいる。世話やきがいなくなった。
- ・大卒者は希望する職種、企業を求めて県外へ出る。通勤圏内の就職がきびしい。
- ・現在、放置状態の空き家が3軒あり、さらに高齢者世帯が空き家になりそうで心配である。
- ・広場に桜を植栽してから春の共同作業終了後に慰労会を兼ねた観桜会を行っており、子どもから大人まで地区全体で盛り上がっている。
- ・自主防災組織では、消防団の指導を受けながら消火栓からの放水訓練や防災講話、救急救命訓練を毎年実施している。
- ・消防団員は確保されているが、日中の団員はゼロ。
- ・戸締り、車の施錠などの防犯パトロールを年1回行っている。
- ・清潔法検査がなくなってから屋敷内が汚れてきている。
- ・『農地・水・環境保全』では用排水路の泥上げ、農道の砂利敷き、雑木の伐採などを行っている。30人ほどの入作者にも協力を求めるが不参金は徴収していない。
- ・高齢者の見守りは、民生児童委員が週1回のヤクルト配布時に状況を確認している。
- ・高齢者宅の除排雪は隣近所や親戚が面倒みている。雪下ろしは、助成制度を活用して業者に委託している。
- ・子ども見守り隊は、子ども会育成会、地区役員、婦人部、婦人会、若妻会、老人クラブが月ごとに担当し、各組織で当番表を作成している。
- ・『農地・水・環境保全』事業で子どもたちを対象に「川の生き物調査」を行い、地域の自然を学習した。
- ・観桜会と夏祭りは青年団が中心となって盛大に行われている。
- ・地区の氏神様「山祇神社」の例大祭では、倭舞が奉納され、子ども神輿が家々を回っている。(小学校長を招待)
- ・講の盛んな地区である。(御伊勢講、地藏講、古峰神社代参、山参り代参)
- ・新規就農者1人。(新庄農業大学校 卒)
- ・分収林は50年以上になっていることから手入れはしていない。場所を知っている人が少なくなっている。
- ・アサツキ栽培が盛んで23戸で取り組んでいる。地区内に青果店の集荷場があり、そこに出荷している。
- ・婦人会 50～65歳までの8人が親睦会や敬老会などのボランティア活動を行っている。
- ・婦人部 36～49歳までの18人が親睦会、料理教室、介護家研修、健康教室などの活動を行っている。
- ・若妻会 35歳までの7人が旅行や映画鑑賞、親睦会などの活動を行っている。ボランティア精神が希薄である。

- ・青年団 消防団＝青年団で夏祭りなど地区行事の中心となっている。
- ・工業団地 S社10人、T社17人、G社10人 計37人
- ・田代食堂 雑誌で紹介されてから人気急上昇

⑧ 西荒屋地区 人口 468人、世帯数 112戸

櫛引地域南部に位置し、鶴岡市黄金地区と隣接する果樹栽培の盛んな農村集落である。地区内を国道112号線が通り、その沿線には『産直めぐり』が店舗を構え、市内外からのお客さまで賑わいをみせている。112戸のうち園芸組合員が70人おり、ぶどう、さくらんぼ、りんご、なし、庄内柿など多品種の果樹が生産されている。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯7戸、高齢者独居世帯7戸あるが、ほとんどが退職後に戻る予定となっている。そのうち2戸については後継者が戻る見込みはなく、もう2戸については両親を引き取る見込みである。
- ・高齢者の移動困難者は多くないが、隣人や親戚に頼る者もいる。
- ・結婚は今年1組で平均でも年1組程度である。40、50代の独身男性が4、5名いる。
- ・後継ぎは通勤圏内に何とか就職先を確保しているが、二三男や女子は職を求めて県外へ出る。
- ・現在、空き家は4軒あり、うち1軒は危険な状態である。
- ・運営委員、隣組長には手当なし。(慰労会のみ)
- ・消防団員の確保は順調だが、日中の団員はゼロ。自主防災組織では講話会を毎年開催している。
- ・花いっぱい運動は副区長に任せている。(年間3万5千円) 老人クラブ、婦人会などの協力を得る方向を検討。
- ・共同作業は老人世帯が多くなり困難になってきている。
- ・高齢者の見守りは特に行っていない。隣近所で面倒みている。
- ・高齢者宅の雪下しは、助成制度を活用しシルバー人材センターなどをお願いしている。
- ・子どもの見守りは保護者で対応している。小学生の挨拶が大変良い。
- ・御當振舞(河内神社の当屋当人)で毎年3人を公民館主催でお祝いをしている。
- ・思恩会との交流が続いている。(若妻会、婦人会が盆踊りに参加)以前は子どもたちが田植えや稲刈りなどで交流をしていた。
- ・天狗舞、獅子舞の保存会が結成されている。(会員30人)
- ・鳥獣被害はサル、ハクビシンによるぶどう、さくらんぼ、柿を中心に広がっている。
- ・『産直めぐり』の会員は40人ほどおり、果樹、山菜、孟宗、きのこを中心に出荷している。個人経営の直売所が4軒ある。
- ・『いきいき弁当むら』は児童館、小学校の遠足に人気がある。
- ・婦人会は会員60人程度で、料理教室、交通安全、公民館掃除などの活動を行っている。
- ・若妻会は会員20人程度で、親睦会、広場の草取り、神社の掃除などを行っている。
- ・青年会はないが公民館の体育部がその役目を果たし、スポーツ大会や夏祭りの運営などを行っている。

2 地域の課題と課題に対する方向性

① 少子高齢化の進行

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化により共同作業、祭事、伝統文化の継承が困難になっている。 ・ 高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が増加しており、同世帯の地区費減免が自治会運営に影響している。 ・ 少年スポーツ大会で単独チームを編成できない地区がでてきている。 ・ 晩婚化、未婚化が少子化の要因となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の定住促進策の強化（雇用、農業経営の安定化） ・ 集落自治振興交付金の継続 ・ 結婚対策の強化

人口の推移（櫛引地域）

単位：人、%

	平成12年国調		平成17年国調		増 減	増減率
全人口	8,536	100.0	8,320	100.0	△216	△2.5
年少人口	1,407	16.5	1,163	14.0	△244	△17.3
高齢人口	2,116	24.8	2,385	28.7	269	12.7

② 高齢者世帯の増加

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者が就職等で県外を含む地区外で生活していることから、高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が増加している。 ・ 地区外に生活する後継者が親を呼び寄せようとしても、後継者が独身であって介護ができない、慣れない地での孤独感などから高齢者のみで生活しているケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者の定住促進策の強化（通勤圏内での雇用確保）

③ 空き家の増加

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 現に空き家となっているものに加え、高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が今後空き家になる可能性が高い。 ・ 倒壊の危険性、不衛生な環境、犯罪の危険性が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者の定住促進策の強化（雇用、結婚） ・ 所有者等の情報把握（連絡の確保）

④ 高齢者支援システムの整備

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りは民生児童委員や隣近所が面倒みってくれるが、通院や買い物で移動が必要な場合、車の乗り合いは事故の心配もあり難しい。 ・地区内に生鮮食料品や日常生活用品を扱う商店がなく、移動手段を持たない高齢者のフードデザートが心配される。 ・高齢者宅の除排雪は近隣住民や親戚が面倒みているが雪下ろしは業者、シルバー人材センターに頼らなければならない。 ・災害時の要援護者支援については民生児童委員と区長が情報を把握しているが、災害発生に備えた訓練が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小回りの利く公共交通システムの整備 ・タクシー助成制度 ・除排雪経費に対する助成制度の拡充 ・自主防災組織の訓練の充実（災害発生時の要援護者支援計画の検討）

⑤ 若者の定住促進

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・大卒者は希望する職種、企業が少ないことから県外へ出る傾向が強く、高卒者も地元で就がなく県外へ出る傾向が強い。 ・大学、専門学校を卒業しても職がなく戻れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤圏内での雇用の確保（景気の回復、企業誘致）

⑥ 結婚対策

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・40代、50代の独身男性がどの集落にも4、5人程度おり、適齢期を逃がすと結婚が難しくなっている。 ・勤務形態の多様化などから女性との出会い、交流の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚し、子どもを産み育てるための環境整備（通勤圏内での雇用の確保、農家経済の安定化） ・世話やき制度の創設と世話やきの育成 ・結婚相手を紹介したり、紹介されたりすることが日常的に行われる雰囲気醸成 ・男女の出会い、交流機会の創出

⑦ 婦人組織の活性化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・結婚適齢期に結婚できない、しない若者がいることから若妻会の会員が減少している。対象者が少なく若妻会が組織されてい 	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚対策の強化 ・女性の雇用確保対策 ・子どもを産み育てやすい環境の整備

<p>ない地区もある。(H11末をもって連合組織解散)</p> <p>・連合傘下での活動に負担を感じ、地域婦人会から離脱するところも出始めている。(地区密着型を志向)</p>	
---	--

⑧ 防災体制の強化

課 題	課題に対する対応の方向性
<p>・就業形態の多様化、企業からのプレッシャーなどから消防団に入団する若者が少なくなっている。</p> <p>・就業形態の多様化により、日中の消防団員確保が困難である。</p> <p>・自主防災組織の結成率は100%であるが、有名無実のところが多い。</p>	<p>・若者の定住促進策の強化</p> <p>・消防団協力事業所表示証制度の普及</p> <p>・OBの活用、組織化</p> <p>・防災訓練の強化（初期消火、災害弱者の支援）</p> <p>・地区防災マニュアルの整備</p> <p>・「自主防災組織指導者講習会」の受講による地区リーダーの育成と防災意識の高揚</p>

⑨ 伝統・文化の継承

課 題	課題に対する対応の方向性
<p>・天狗舞、獅子舞など伝統芸能の継承者確保が若者の減少、勤務形態の多様化などから困難となっている。</p>	<p>・若者の定住促進策の強化</p> <p>・保存会活動の支援</p> <p>・財団等の民間支援活用に関する情報提供</p>

平成22年度

地域コミュニティ実態調査

報 告 書

平成22年10月

櫛 引 庁 舎

目 次

1. 調査地域の概要	1 ページ
常盤木	1
西片屋	1
丸 岡	2
三千刈	3
王 祇	4
黒川中	5
松 根	7
馬 渡	8
2. 地域の課題と課題に対する方向性	9

1 調査地域の概要

① 常盤木地区 人口 302人、世帯数 77戸

檜引庁舎から集落の中心まで3Kmの西地区と南地区の境に位置し、公共施設やスーパー、医院にも比較的近く、生活には便利な地区である。

農家数は14戸、全世帯の約18%と少なく、水稻+菌茸類、和梨の複合経営を中心に農業が行われている。

近年、34区画の宅地造成が行われ6区画ほど分譲された。僅かながら人口は増加している。

[概要]

- ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が合わせて10戸あり、そのほとんどは後継者が地域外に出ており戻る見込みがなく、この世帯の減少は避けられない状況にある。
- ・40代、50代の未婚者が多く、就業構造の多様化、積極性の欠如から女性との交流機会を作れない人が多い。今のところ結婚は年に1組ある。
- ・若者が地元の仕事がないことから卒業と同時に地区を離れる人が多い。
- ・学区が2つに分かれていて、西小学校に通学している生徒が大半であるが、少数の生徒は南小学校に通学しており、地区役員の対応も大変である。学区再編になると分列の可能性もある。
- ・日中の消防団員が少なく、ポンプ積載車が出動できないという不安がある。
- ・高齢者の見守り活動は民生児童委員が毎週1回ヤクルトを配布しながら状況を把握している。(高齢者の話し相手)
- ・農業後継者が年々減少しているので、将来の農業経営に不安を抱えている。
- ・合同祝い(厄払い)を地区主催で行っている。
- ・御伊勢講、観音講があり活発に活動している。

② 西片屋地区 人口 261人、世帯数 61戸

檜引地域の南端に位置し、庁舎、中学校までは5Km程。小学校、医院などは比較的近いところにある。水稻と果樹の複合経営が盛んで、特にサクランボは耕作農家42戸のうち36戸がサクランボ組合に加入。販売や観光果樹園など地域の振興に大きく寄与している。若妻、青年層の組織が無く次代の集落運営を担う人材不足が課題となっている。

[概要]

- ・高齢者のみ世帯が8戸、高齢者独居世帯が1戸あり、後継者が戻る見込みは薄い。今のところ人口は安定しているが若者が外に出て行く傾向にある。
- ・空き家が1軒あり所有者とは連絡が取れるものの、建物が朽ちて危険な状況にある。またハクビシンが住みついて農作物に被害が出ている。
- ・結婚は年間1~2件程度。40~50代の独身者は8人位いる。
- ・若妻、青年層の組織が無く老人クラブにも新規の加入者が無い。組織が中抜きになってこのままでは組織の維持が難しくなる。

- ・神社が二つ、寺院が五つ複数に分かれていて、年頭等住民が一堂に会する機会が少ない。
- ・楯村地区の地藏堂は同地区の集会所として使用している。今後同地区で管理ができなくなると、集落にその建物を寄付するなどの話になるかもしれない。
- ・若い人いるが地域のイベントになかなか出てこない。
- ・移動困難者の乗り合いは行っていない。自分で運転するか家族で対応している。
- ・櫛引橋（赤川左岸）の新道と旧道の間や法面の草刈作業が地区の負担となっている。
- ・小学生の見守りは全戸に呼びかけ参加可能な世帯が見守りにあっている。
- ・公民館事業の大きなものは「納涼祭り」で自治会と共催で開催している。
- ・24Ha 農地を集落営農で耕作している。
- ・サクランボに加え梅の栽培も多い。今後ともサクランボの栽培は継続して行う。サクランボについては、販売と観光サクランボ園で地域活性化の大きな要因となっている。また、米の集落営農と併せて取り組むことで農業で生計を立てていけるようになるのではないか。

③ 丸岡地区 人口 645人、世帯数 167戸

櫛引地域の北西部に位置し鶴岡市内へも比較的近い。熊本城主であった加藤清正の嫡男忠廣が幽閉された丸岡城があった地として知られ清正公祭が毎年盛大に行われるなど歴史が色濃く残っている地区である。集落東側国道112号沿いに大型スーパーがあり、医院も集落内にあるなど、生活には大変便利な地区である。167世帯のうち70世帯余は20年ほど前に町が住宅用地造成をして新しく住民になった世帯である。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯16戸、高齢者独居世帯11戸あるが、元村の場合、家の後継者が戻る予定の人が多く、人口減少の見通しは今のところない。
- ・65歳以上27.8%、15歳未満15.0%の年齢構成。20年ほど前から住宅団地に越してきた世帯が比較的若かったが年を経て年齢が上がってきている。
- ・小学生は学年で8~10名いる。
- ・空き家が出る時もあるが、生活環境などの立地条件も良いためかすぐに誰かが入る。将来的には世帯を30~40増やして200世帯ぐらいの集落にしたい。
- ・結婚は年に1~2件程度ある。(婚活はどうだったか?)
- ・バス路線の要望を庄内交通に出している。以前は高速のバス停がバイパスにあったが高速道路ができてからなくなってしまった。上山添まで2キロぐらい歩かないとバス停がないので不便である。今でも2人ほどバス利用者がいる。
- ・隣組長は1年任期だが、配り物や集金だけでなく隣組のまとめ役をしてもらっている。地区行事の際の監督や自主防災会の情報班員、寺契約・契約組の役割を担ってもらっている。
- ・3年に一度地区独自で防災訓練を実施している。
- ・地区の歴史を学ぶ丸岡学講座は、独自の特徴的な事業
- ・側溝掃除の蓋上げが大変、地区で器具を購入して対応している。
- ・独居老人世帯には民生委員のヤクルト配布のほかに、防犯パトロール5人が交代で月

2回訪問している。

- ・ 登下校の見守りは、見守り隊24人と防犯パトロール5人が毎日3人体制で登下校時行っている。
- ・ 地区内には神社1、寺3あり氏子や檀家が分かれている。神社は他地区の氏子もいる。特に問題はなくお祭りや弔いもうまくやっているようだ。
- ・ 7月23日頃、熊本城主加藤清正の嫡男忠廣が幽閉されて丸岡城に長く住んだことに因んで、清正公祭が盛大に開かれ、多くの観光客が訪れる。
- ・ 伝統芸能では諏訪神社の天狗舞獅子舞、忠廣に因んだ丸岡桐箱踊りが盛んで、若い年代が活躍している。
- ・ 高齢者でいきいき健康クラブを組織し85人が参加して10のサークルで活発に活動している。
- ・ 農家は20戸ほどだが、将来は5戸程度で担っていくのではないかと。
- ・ 丸岡城跡観光ガイドの会がありガイドは15人いる。公民館組織の中に観光部会があり観光による地域振興を推進していきたい。
- ・ 平成20年に丸岡地区地域づくり計画（地域振興、地域福祉、景観整備）を策定している。
 1. 安全で安心な地域づくり
 2. 地域の絆を深める地域づくり
 3. 歴史と文化を背景とした豊かな地域づくり
 4. 健康で明るい助け合いの地域づくり
 5. 美しい環境の地域づくり
- ・ 平成21年には丸岡地区住民憲章も制定している。
- ・ 地区運営のスタッフが区長と副区長の二人しかいない。実働部隊が足りないのでは何とかしていきたい。例えば、自治公民館には専門部がありそれぞれ部長がいる。自治会と自治公民館のスタッフを一緒にするか、自治会にも専門部を作ってスタッフを増やすか検討している。自治会の会報発行も計画しておりスタッフがあと4～5名はほしい。

④ 三千刈地区 人口 274人、世帯数 70戸

櫛引地域の中央に位置し、庁舎、中高等学校、農協などの公共施設が集中していることに加え、スーパー、医院が近くにあるなど、生活には大変便利な地区である。農家数23戸、全世帯の家約32%と少なく、サラリーマン家庭が75%を占め、水稲+リンゴの複合経営が中心の地域である。

〔概要〕

- ・ 高齢者のみ世帯3戸、高齢者独居世帯4戸あり後継者が戻る可能性は低いことから、これらの世帯は空き家になることが心配である。
- ・ 高齢者のみ、高齢者独居世帯とも現在のところ健康状態はさほど悪くなく、車の運転もできることから通院、買い物に支障はない。
- ・ 結婚適齢期の世代が多く、平成21年度は3組が結婚式を挙げている。

- ・近年の住宅団地造成で、世帯、人口とも増加しており、自治活動も活発に行われている。
- ・青年層もある程度多く、夏祭りや芋煮会等が積極的に行われている。
- ・高齢者の見守りは民生児童委員が週1回のヤクルト配達時に声かけをしている。除排雪は隣近所が面倒をみている。
- ・民生児童委員が他の地区と一緒にであるためなかなか目が行き届かないのではないかと心配される。
- ・住宅団地造成による世帯数の増加が約50%を占めることから、サラリーマンが多く、日中の消防活動に不安がある。
- ・住宅団地の住民増加に合わせて、地区全体の隣組をだいたい同じ戸数になるよう再編した。
- ・三千刈地区は、旧櫛引村と旧齊村勝副寺に属した地域が一緒になって組織されていることから、寺、神社も違うため、それぞれで行われていたが、近年は神社の祭礼については十王堂で行っている。
- ・御伊勢講、古峰神社の代参も継続している。
- ・若妻会に加入する人が少ないのが課題となっている。
- ・赤川周辺は果樹栽培に適した地形となっており、りんご栽培が盛んに行われている地区であり、将来的な果樹経営の後継者の存続が課題となっている。
- ・赤川の堤防にある“こんぴら様”のお祭りは地区で行っているが、維持管理については市で行っていただきたい。

⑤ 王祇地区 人口 167人、世帯数 41戸

櫛引地域の東側中心部に位置し、黒川能で知られる春日神社のある地区。市の施設黒川能の里王祇会館があり広く黒川地域の拠点となっている。農業は稲作と庄内柿の複合経営が中心。平成20年4月に宮の下地区と春日山地区が合併してできた新しい地区である。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯2戸、高齢者独居世帯1戸ある。独居になったりすると老人ホームへ入所したりするケースが多い。
- ・結婚は昨年久しぶりに2組あった。
- ・人口はあまり変化がない。転出した分子どもが増えている。
- ・40代の独身男性が9名いるがすべて跡取りであり、その他にも8～9戸の後継者不在家庭がある。
- ・空き家3軒あるが、いずれも管理している人とは連絡は取れる。その方からも消防費はもらっている。
- ・後継者不足については打つ手がない。大学に行って帰ってきてても働くところがない。
- ・地区の合併前から夏祭り、秋祭りなど地区民の交流活動を行っている。
- ・消防団に橋本地区の団員が入っているが、負担金に差異があるなど、団員のあり方も含めて黒川上地区と相談する必要がある。
- ・消防団員が日中は地元には少ないが、王祇会館や地元の会社勤めの人がいざというときに対応してくれている。

- ・ 保全会の関係で、黒川上の消防団と一緒に用水路の掃除をしてくれている。
- ・ 公民館の維持管理は隣組単位交替で行っている。宮の下と春日山二つの公民館。
- ・ 花の手入れは、サルビアの花植え全戸、サルビアとアジサイの手入れを婦人会が行っている。
- ・ 小学校下校時の見守りは当番など置いていない。地域みんなで遠くから見守ることと挨拶の声掛けをすることとしている。
- ・ 農家戸数は19戸、専業1兼業18であり、後継者がいるのは半数程度である。
- ・ 柿栽培をしている農家は多いが、担い手不足から手がまわらず木を伐採するので、柿の木は年々減っている。
- ・ 地区事業の5つの柱を掲げている。
 - ① みんなの知恵：集まりを積極的に設け話し合いを重ねる。
 - ② 住みよい環境：環境整備と保全会との協力による
 - ③ 楽しい活動：公民館活動の充実による健康で楽しい地域づくり
 - ④ 安全安心：自主防災・防犯活動の充実
 - ⑤ 地区財産管理：地区住民台帳作成、財産確認と管理台帳作成
- ・ 住みよい地域への取り組みとして、子どもたちが大きくなったときに、生まれたこの地区に帰ってもらえる地域づくりを皆で考える。
- ・ 春日神社、王祇会館、伝習館に訪れる県内外（外国人も）からの客人が多いことから、喜んでもらえるように環境整備を行っている。
- ・ 王祇会館環境整備協力会を設置し、樹木の雪囲いや草むしりをはじめ、鯉のぼり上げなどを実施している。
- ・ 保全会と協力して「まどりの花街道」づくりを実施している。まどり＝花菖蒲
- ・ 冬期間のスクールバスに、ひとつの地区で乗れる子（春日山地区）と乗れない子（宮の下地区）が出ている。宮の下の子どもたちも乗れるようにならないか。
- ・ 市道宮の下宝谷線の改良計画は今どうなっているのか、地区内の改良が進んでいない。また、春日神社前の同路線の電柱が交通の支障になっている。神社の前の景観を守る上からも、移転または地下埋設を検討してもらいたい。
- ・ 神社前の水路は誰が管理者なのか。土地改良事業などを経てさまざまな変遷があるようだが適切な管理の意味からも明確にしてほしい。
- ・ 防犯、火の用心の見回りを夕方実施している。

⑥ 黒川中地区 人口 123人、世帯数 31戸

櫛引地域の東側中心部に位置し旧黒川村役場があった黒川の中心地。滝の上、小在家、楯、仲村の4つの小部落からなる。地区内には櫛引東小学校や黒川駐在所それに商店などもあり生活の利便性がよい。農業は稲作と庄内柿等果樹の複合経営が中心。

[概要]

- ・ 人口は減っており、特に若年層は急激に減少している。原因はほとんどが兼業農家な上に高学歴となり帰ってきてても希望するような職がない。
- ・ 高齢者のみ世帯13戸、高齢者独居9戸あるが、高齢者のみ世帯が増えるのは確実に、

- 10年後には今の3倍くらいになるのではないか。
- ・空き家4戸あるが、高齢者のみ世帯のうち9戸ほどもいずれ空き家になる可能性あり。
 - ・バレーボール大会やサッカー大会にも50代が参加しないとチームが組めない。また王祇祭の若い衆には40～50代も入っているような状況で祭りの維持も大変になってきている。
 - ・ここ数年ほとんど結婚式がない。
 - ・国際結婚で外国から来たお嫁さんも3人いる。
 - ・小中学生30人に対して、敬老会に招待される75歳以上は109名いる。
 - ・地区費は1戸当たり年間24,200円で寄付や同窓会費等も含んでいる。地区の会計は大変だが地区費の値上げはできない。今年役員報酬の1割カットを行った。
 - ・広報紙（黒川中区だより）を月2回発行し、地区民への広報活動に力を入れている。
 - ・地区民の参加する農地水環境保全会で市道路肩にヒメイワダレ草の植栽を行うなど活発な環境整備活動を行っている。
 - ・自主防災会は名前としてはあるが、実際にはまだ機能していない状況である。
 - ・未だに小部落単位での活動がある。そのため小部落費の集金もあり二重の手間となっている。
 - ・地区内の共同作業は、あと10年は何とかできると見通している。
 - ・高齢者の見守りは民生委員がヤクルト配布などを通じて行っている。
 - ・廃屋1軒、空き家3軒の草刈りを全戸対応で実施しているが、草刈りだけの問題ではない。親戚に連絡しているがなかなか思うように動いてくれない。
 - ・小学校下校時の見守りは児童の家庭と老人クラブで実施。危ないところにだけ立っている。一緒に下校したりはしない。
 - ・近年魚道を整備した地区内を流れる田沢川の生き物を子ども会育成会が中心となって年次的に調査をしている。
 - ・公民館活動では櫛引地域のスポーツ大会への参加と地区でビアガーデンやレクレーション大会を開催している。
 - ・農家は28戸、内27戸が兼業農家である。後継者不足は避けて通れない問題であり、10年後には兼業農家が半減することも予想される。
 - ・青年層の組織はないが、老人クラブ、婦人会の他に婦人会入会前の年代で組織するトマトの会があり、料理、いけばな、健康体操、環境整備などで活動している。
 - ・消防団は以前3班あったが今では若者不足。就業の多様化により1班（10人）を結成するのがやっとの状態である。将来の防災の担い手がない。
 - ・公民館建て替えの計画はないがトイレ改修などの整備計画はある。しかし資金の積み立ては困難な状況にもある。一方で少子化に伴う櫛引東小学校の空き教室の利用などをどうしていくのか、公民館の機能をそこで果たせないかなどの検討も必要ではないか。
 - ・自治会組織のあり方や公民館活動の方向性にも課題が多いと感じている。
 - ・地区内中心部に県の主要地方道が通っており定期バス路線なのに歩道がなく危険な道路である。歩道の設置を望む。
 - ・農協支所の跡地を利用して地域活性化策を検討できないものか。例えば介護や福祉施設

の誘致など。

- ・公民館に隣接する駐在所移転跡地に王祇祭当屋の煎じ場（豆腐焼きなどをする場所）も設置したい。
- ・公民館を王祇祭の当屋として使用するにあたり不備なところがまだいくつかあるが、座に加入している地区民が半分ほどしかいないことから公民館の改修に関心が低く、積立金等の賛同が得られない状況である。

⑦ 松根地区 人口 453人、世帯数 112戸

櫛引地域の南東端に位置し地域の西側には赤川が流れている。主な産業は農業であるが地区内に水沢化学工場があった関係から兼業農家が多い。人口は比較的安定しているが高齢者単独世帯の施設入所などで年1軒ほどのペースで減少しているし、今後もこの傾向は続くものと思われる。青年層にキーマンがいて、青年層（＝消防団）の活動は盛んである。自治会のも積極的な提案を行い、今年は開催する予定のなかった夏祭りを開催する原動力になった。

定期的に役員が交代する自治組織では長期的な視点に立った事業の展開がしづらいとの考えから「松根塾」組織を立ち上げ伝統芸能の復活や地区ゆかりの地訪問、六十里越街道整備を行うなど、特徴的な活動を展開している。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯16戸、高齢者独居世帯10戸あるが後継者についてははっきりしない。
- ・高齢者世帯の移動困難者はタクシーや家族の送迎のほか路線バス利用者もいる。バス利用者は車が無いが、又は有っても運転する若い者に迷惑をかけたくないと思っているようだ。
- ・高齢者単身世帯の見守りは、区長と民生児童委員で分担している。
- ・農業従事者の平均年齢は57～58歳、ここ10年くらいで緩やかに世代交代が進むと思われる。
- ・去年は地元就職希望の新卒者3名いたが、地元に残れたのは1人である。
- ・自治会所有の財産には土地、建物、山林がある。神社は氏子ではなく地区で管理している。
- ・青年部（＝消防団）がこども育成会や農地・水組織とともに「わんぱく広場」に野菜を植え夏祭りの食材にしている。このほか森林組合や水沢化学の草刈を請け負い活動資金としている。
- ・青年部の半数は独身。祭りなどで外部から女性を連れてきたいと考えている。
- ・40～50代の独身者がいる。結婚相談活動が必要ではないか。
- ・若者の「引きこもり」が5人程いて課題となっている。
- ・共同作業については、昔からの習慣で「村吊い」を1戸2～3千円を出し合っている。
- ・堰掃除年2回、主要道路のクリーン作戦年1回、河川清掃年1回、山道づくり年1回を共同で行っている。
- ・不参日当については、山道整備4,500円、河川清掃1,000円としているが、共同作業に出ないで金で決着をつけようとするのが一番困る。
- ・公民館の清掃は年を通して個人に委託している。
- ・消防団は自主防に参加している。消防団は大切にしていきたい。
- ・小学生の見守りについてはボランティアを募集し、現在は4班40人体制で対応している。

- ・伝統芸能については、一時途絶えた「獅子・天狗舞」を復活させ現在は20人以上メンバーがいる。地域の活性化の大きな柱になっている。
- ・米粉乾燥施設を5戸で組合を作り対応。
- ・野菜は加工業者と契約し栽培をしている農家が1戸ある。
- ・将来は農業を法人化していくことになると思う。
- ・農地・水の事業については非常に大きな効果が有る。共同活動の支えとなっている。中山間地では必要な事業であり、農業を集団化していくためには必要な制度である。これまでも共同作業の下地があったが農家のみ参加するものではない。
- ・自治会が経費を負担し「松根塾」でホームページを立ち上げる。松根に関心を持つ人を呼び込みたい。
- ・自治会がマンネリ化しないように、毎年何か一つ新しいものを加えるようにしている。

⑧ 馬渡地区 人口 274人、世帯数 65戸

櫛引地域東部北側に位置し、羽黒町と隣接する農村集落である。馬渡と馬渡山の二つの集落に分かれている。米、柿、枝豆、あさつき、大豆が生産されており、特にあさつきは冬季間の農作業に特徴的な作目である。集落内を流れる中川沿いの桜並木は有名で映画のロケ地でもよく利用される。

〔概要〕

- ・高齢者のみ世帯4戸、高齢者独居世帯4戸、65歳以上の割合が25.5%、15歳未満が13.1%と、比較的年齢層が若く、同居率も高い。
- ・35歳以下で組織する青年組織「青友会」も活発に活動しており、家の後継者もかなりの割合でいると思う。
- ・登下校の見守りは子どものいる家庭で対応。毎日2世帯が出ている。
- ・公民館行事で納涼祭りと運動会を隔年で実施しており、地区民の交流と親睦を図っている。
- ・5月6日に氏子（各隣組長宅）をまわる獅子舞がある。御嶽神社に奉納されるもので櫛引の他地域とは趣の異なった独特の様式である。羽黒の雷電神社にも奉納される。
- ・農業は専業でやっている「人」は多い。主に50代。機械等の共同利用も進んでいる。
- ・女性や青年の活動が盛ん。女性は50～60代の婦人会、36歳～40代の女性会、35歳以下の若妻会が組織されている。青年は35歳以下の青友会。
- ・鶴羽橋ができてから土手の道路の交通量が増えた、特に通勤時間帯。道幅が狭いので危険、ぶつかったり車が路肩に寄り過ぎたりしている。
- ・街灯が点いていないところあり。
- ・馬渡山から松ヶ岡に行く交差点「とまれ」の標識がなく危険
- ・県道から馬渡山に登る交差点にも「とまれ」の標識なく危険
- ・映画村の看板ははっきりと出してほしい、観光客によく道を聞かれる。

2 地域の課題と課題に対する方向性

① 少子高齢化の進行

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化により祭事、伝統文化の担い手が高齢化してきている。 ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯が増加しており、10年後には今の3倍ぐらいになると予測している地区もある。 ・若者のスポーツ大会に50代あたりまで参加しないとチームを編成できない地区がでてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進策の強化（居住環境、生活環境、雇用、農業経営の安定化） ・住宅用地造成による居住人口増加対策 ・結婚対策の強化

人口の推移（櫛引地域）

単位：人、%

	平成17年住基		平成22年住基		増 減	増減率
全人口	8,376	100.0	7,931	100.0	△445	△5.3
年少人口	1,272	15.2	1,076	13.6	△196	△15.4
高齢人口	2,311	27.6	2,322	29.3	11	0.5

※ 住民基本台帳による（9月30日現在）

② 空き家の増加

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のみ世帯、高齢者独居世帯で跡継ぎが戻る見込みが立っていない世帯も多くあり、将来的に空き家が増える可能性が高い。 ・朽ちてきて野生動物の棲家になっている空き家もあり、農作物に被害も出ている。 ・空き家の管理をその親戚などに連絡したりしているが、なかなか思うように管理が行き届かない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者の定住促進策の強化 ・所有者等の情報把握（連絡の確保） ・地区での空き家ルールづくりなど自主管理意識の啓蒙

③ 高齢者支援システムの整備

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や高齢者のみ世帯の増加により、通院や買い物での自家用車で移動が困難になっていくことが予想される。交通安全上も心配である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小回りの利く公共交通システムの整備 ・タクシー助成制度 ・路線バスのルート、バス停の確保、便数の充実

④ 若者の定住促進

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元就職先がなく高校卒業と同時にほとんどが地元を離れる。 ・ 大卒者は希望する職種、企業が少なことからなかなか地元に戻れない。 ・ 若年層を中心に地区の人口が減ってきている傾向が強い。 ・ 40代、50代の未婚者が多く、結婚も年に1組あるかどうかの地区が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通勤圏内での雇用の確保（景気の回復、企業誘致） ・ 遊休土地を活用した産業の誘致による雇用創設 ・ イベント開催などでの交流人口増加による婚活の推進 ・ 子どもを産み育てやすい環境の整備

⑤ 自治会組織の活性化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会や公民館組織が将来今の形でやっていけるのか不安もある。 ・ 地区の運営は大変だが地区費の値上げは厳しい状況から役員報酬のカットで対応した。 ・ 若妻や青年組織がなくなったり弱体化したりして、自治会の運営がしづらくなっている。 ・ 地区に若い人はいるが地域のイベントなどになかなか出てこない。 ・ 役員の担い手がなかなかいない。 ・ 少子高齢化や農業者減少の中で地区の共同作業への参加意識や参加率が低下している傾向にある。 ・ 人づきあいが希薄になってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会振興計画や憲章の策定 ・ 自治会組織や公民館組織の再編 ・ 集落自治振興交付金の継続 ・ 伝統芸能や祭りの活性化 ・ 自治会と別の地域活性化組織を立ち上げ中長期的な取り組みの視点で課題に対応して行く（例：松根塾）。 ・ 地区民が全体で取り組む農地水環境保全会による環境整備活動や生き物調査活動など共同活動の大きな支えとなっている。 ・ 地区の会報を発行したりホームページを立ち上げたりして情報交流や情報発信を行う。

⑥ 防災体制の強化

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者不足から消防団員が少なくなっている。 ・ 就業形態の多様化により、日中の消防団員確保が困難である。 ・ 自主防災組織はあるが実際にはまだ機能していない地区もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の定住促進策の強化 ・ 消防団協力事業所表示証制度の普及 ・ 自主防災組織による防災訓練の推進 ・ 地区防災マニュアルの整備 ・ 「自主防災組織指導者講習会」の受講による地区リーダーの育成と防災意識の高揚

⑦ 伝統・文化の継承

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・黒川能の座から抜ける家が出てきており、能や祭りと、自治会との連携がなかなか難しくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の定住促進策の強化 ・保存会活動への財政的支援 ・伝統文化保存伝承活動への支援強化

⑧ 農業後継者対策

課 題	課題に対する対応の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・農業後継者が年々減少しており、将来の農業経営に不安を感じている。 ・農業の担い手が減少し、例えば櫛引の特徴である果樹栽培などの優れた技術が途絶えてしまうのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の推進、法人化の推進 ・地域の特色を生かした農産物差別化の推進 ・複合経営の推進や6次産業化の推進による農業経営の安定化促進 ・農業後継者の条件整備、招致活動の推進



20～40 代の市民の生活・意識に関するアンケート調査

1 次集計及び 1 次分析（未婚者分）

【平成 22 年 10 月】

当該 1 次集計及び 1 次分析は、平成 22 年 8 月に鶴岡市櫛引地域で実施したアンケート調査の集計を、未婚者を中心に集計・分析したものである。

今後の 2 次分析においては、既婚者との対比や全国ベースでの類似アンケート等との比較を行いながら、更に分析を行うものとする。

鶴岡市櫛引庁舎

目次

1	はじめに	
2	「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」 1次集計から垣間見る櫛引地域の未婚者像	
3	アンケート1次集計結果・1次分析 概要	
	(1) 回収率・回答数について	1
	(2) 全体集計について	
	・回答者の属性 性別・年代 結婚状況	
	(3) 未婚者について	
	・回答者の属性 性別・年代	2
	職業	
	・結婚について	3
	・生活について	5
4	アンケート1次集計結果・1次分析 詳細（未婚者）	
	(1) 回答者の属性	7
	(2) 生活について	14
	(3) 結婚についての考え方・イメージ	29
	(4) 子育てについての考え方・イメージ	56
	(5) 鶴岡市の魅力	62
	(6) その他	
	・「結婚しやすい地域社会」となるために（記述回答）	64
	・「安心して子供を生み育てられる地域社会」と なるために（記述回答）	67

■はじめに

当該アンケート調査は、鶴岡市櫛引庁舎の地域課題調査事業の一環で実施したものです。

櫛引地域での平成20年度から実施しているコミュニティー実態調査等において、多くの集落で、後継者問題と相俟って、結婚適齢期にある男女(特に男性)の未婚状況が深刻化している旨の話題が出ておりました。この未婚化や晩婚化の進行は、櫛引地域固有の課題ではなく全国的にも言えることであり、少子高齢化を加速させている要因にもなっています。

そこで櫛引庁舎では、未婚化・晩婚化を一つの地域課題として捉え、地域実態を意識の面から調査分析し、今後の具体的施策や運動の資料とするものです。

今回の1次集計及び1次分析は、アンケート実施直後の櫛引地域婚活支援対策検討会及び櫛引地域審議会での検討資料とするため、未婚者を中心とした集計分析のみとなっており、今後の2次分析において、既婚者との対比による意識の違いや、全国ベースでの類似アンケート等との比較を行いながら、更に分析を行っていくものとします。

「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」
1次集計から垣間見る櫛引地域の未婚者像

①結婚してない人は、特定の異性と交際しているか？

→「交際していない」（男 67.6%・女 55.3%）

②未婚者の出会いの機会は、「ほとんどない」？

→「1年1回程度」と「ほとんどない人」の合計（男 56.6%、女 54.8%）

③それでは、結婚のための活動「婚活」をしているか？

→何もしていない人が圧倒的（男 82.0%、女 83.0%）

④異性とどのように出会う機会があると良いと考えているか？

→趣味や娯楽を通じて出会いたい（男女とも約6割）

→次は友人の紹介

でソフトな出会いを求める傾向

⑤そもそも結婚したいと考えているのか？

→「必ずしたい人」・「いい人現れたらしたい」・「いつかはしたい人」の
合計では、（男 84.8%、女 82.5%）

→ただ、必ずしたいという積極型は、（男 21.1%、女 27.2%）

⑥余暇はどう過ごしているか？

→男：一人で過ごしている。51.8%

→女：同性の友人と過ごしている。45.5%

趣味：男 パソコン、携帯、ゲームが高い。（特に若い人ほど）

女 友人との遊び、音楽、映画、おしゃれ・ファッション

未婚者の意識がこのままだと、晩婚化・非婚化が更に進み、少子化が加速する
危惧が・・・。

アンケート 1次集計・1次分析 概要

1. 回収率・回答数について

- ・対象者2,356人のうち、全体の69.2%、1,630人分が回収され、そのうち1,576件が有効回答でした。

対象者数 ……………①	2,356
回収数	1,630
回収率	69.2%
無記入	53
無効回答(53歳)	1
有効回答数 ……………②	1,576
有効回答率(②÷①)	66.8%

2. 全体集計について

(1) 回答者の属性

○性別・年代

- ・「男性」が48.7%、「女性」が50.8%となっています。

	男性		女性		男女計		性別不明
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数
20～24歳	107	6.8%	101	6.4%	208	13.2%	
25～29歳	98	6.2%	107	6.8%	207	13.1%	2
30～34歳	126	8.0%	122	7.7%	248	15.7%	
35～39歳	142	9.0%	123	7.8%	265	16.8%	
40～44歳	119	7.6%	147	9.3%	266	16.9%	
45～49歳	163	10.3%	183	11.6%	349	22.1%	3
50歳	3	0.2%	3	0.2%	6	0.4%	
年代不明	10	0.6%	14	0.9%	27	1.7%	3
計	768	48.7%	800	50.8%	1576		8

○結婚状況

- ・「結婚していない人」が31.7%となっています。

	件数	割合
結婚していない	499	31.7%
婚約中である	22	1.4%
結婚している	967	61.4%
結婚していたが、離別・死別した	77	4.9%
無回答	11	0.7%
計	1576	

2. 未婚者について

(1) 回答者の属性

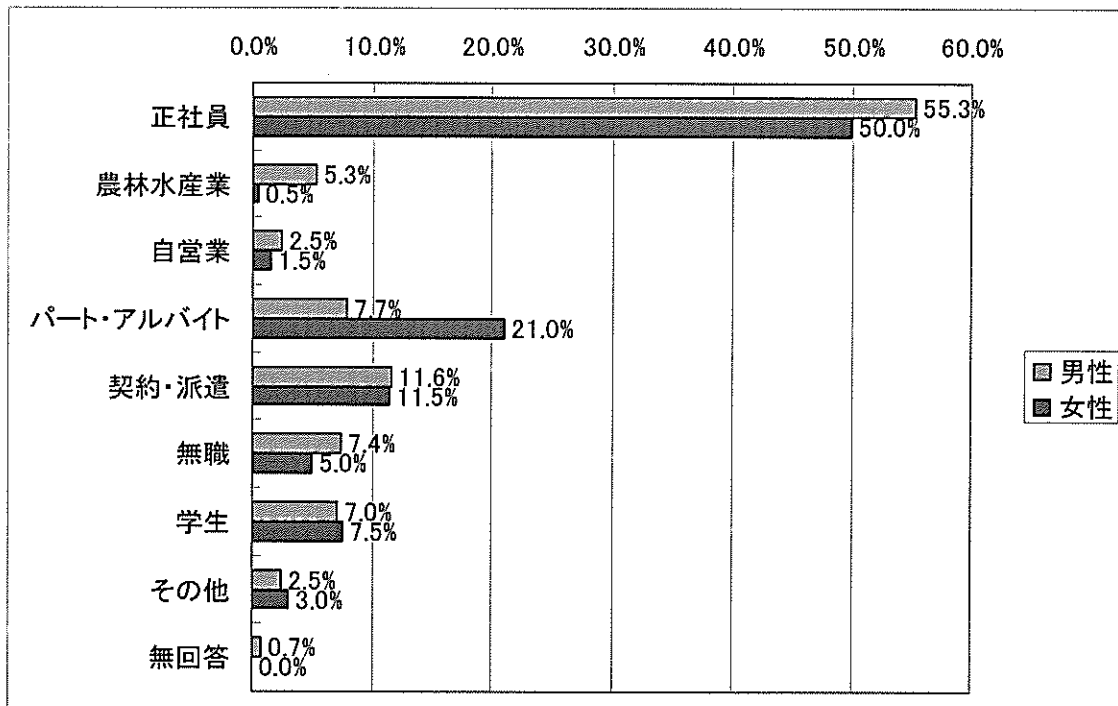
○性別・年代

・「男性」が57.9%、「女性」が41.3%となっています。

	男性		女性		性別不明		男女計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20～24 歳	94	18.8%	87	17.4%	0	0.0%	181	36.3%
25～29 歳	60	12.0%	50	10.0%	1	0.2%	111	22.2%
30～34 歳	42	8.4%	29	5.8%	0	0.0%	71	14.2%
35～39 歳	42	8.4%	19	3.8%	0	0.0%	61	12.2%
40～44 歳	18	3.6%	9	1.8%	0	0.0%	27	5.4%
45～49 歳	28	5.6%	6	1.2%	2	0.4%	36	7.2%
年代不明	5	1.0%	6	1.2%	1	0.2%	12	2.4%
計	289	57.9%	206	41.3%	4	0.8%	499	

○職業

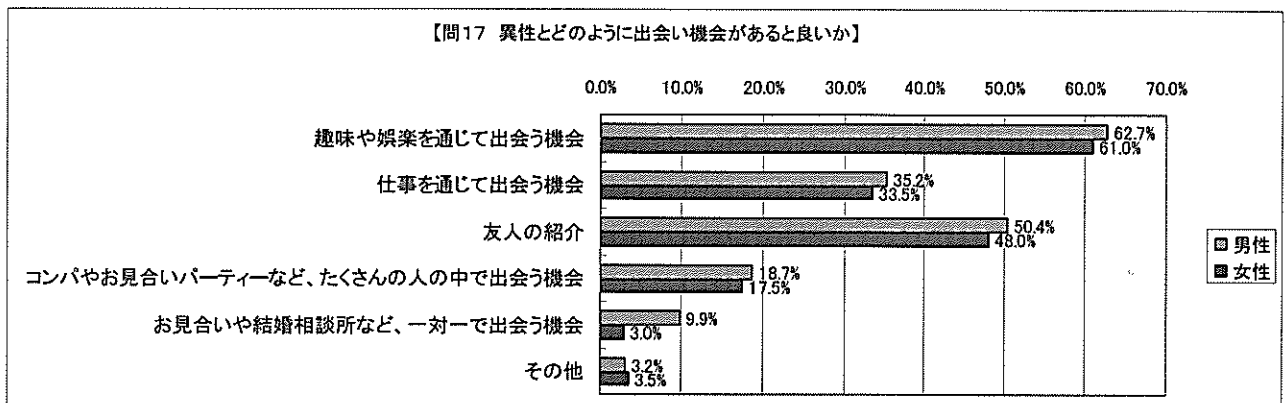
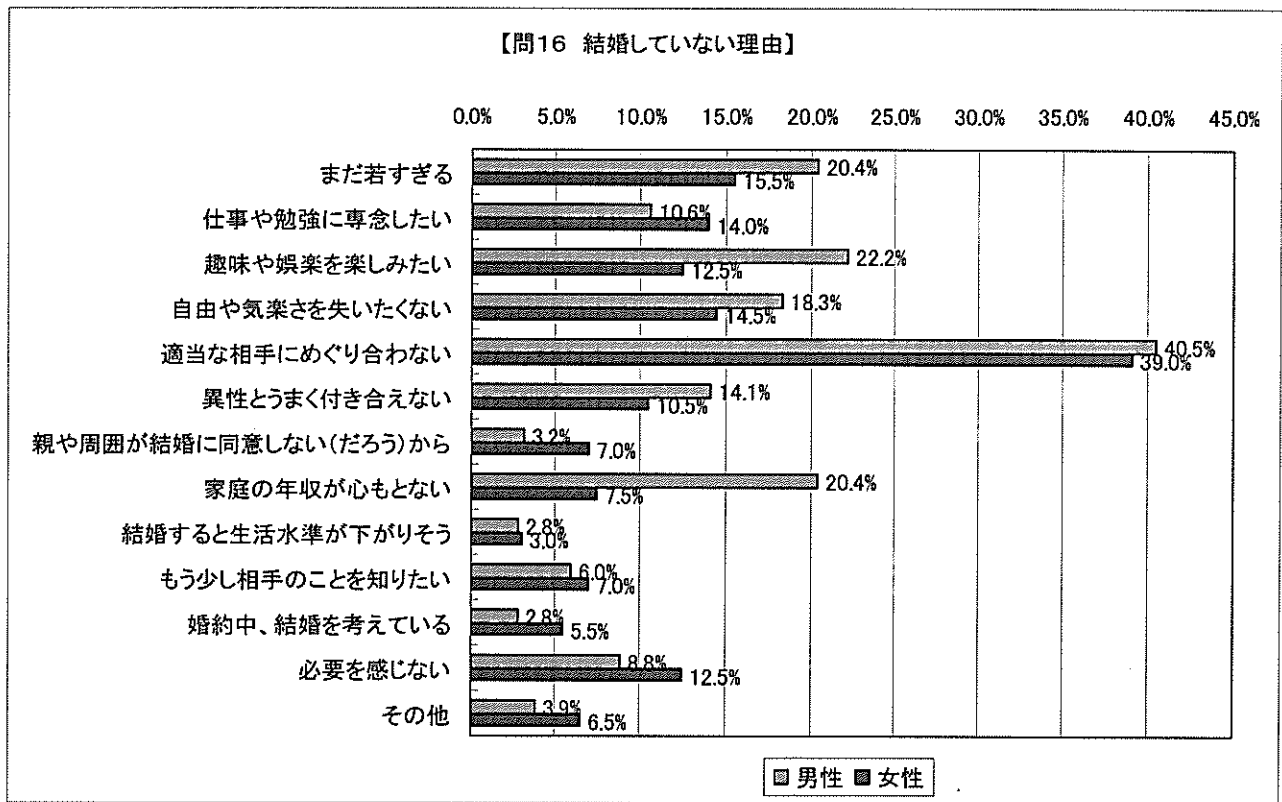
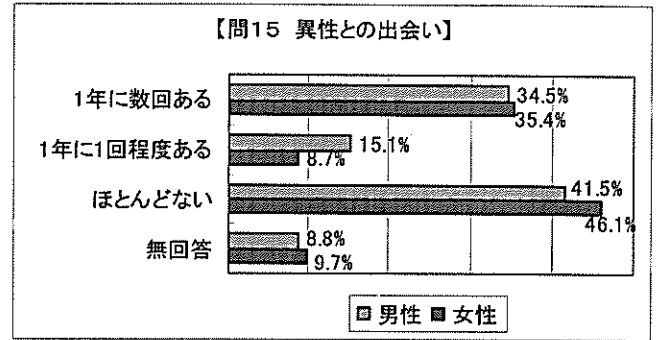
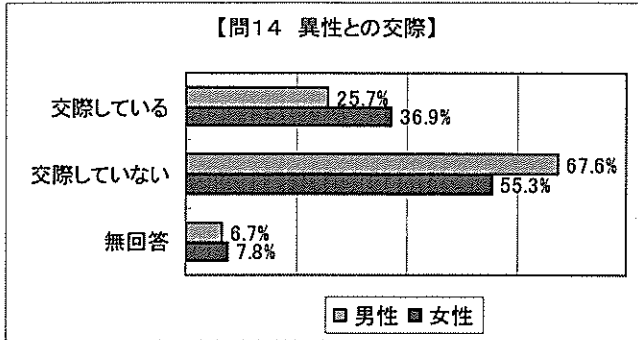
・「正社員・正職員」が、全体で53.1%となっています。



(2) 結婚について

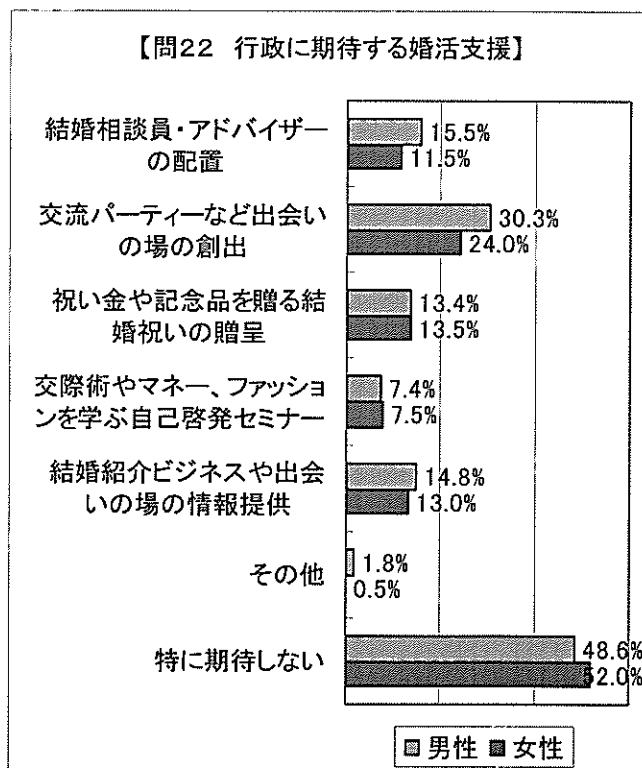
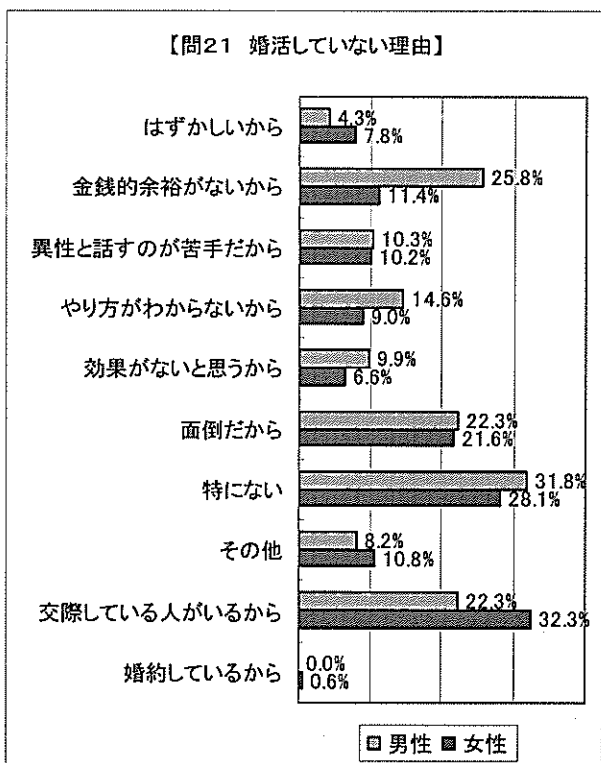
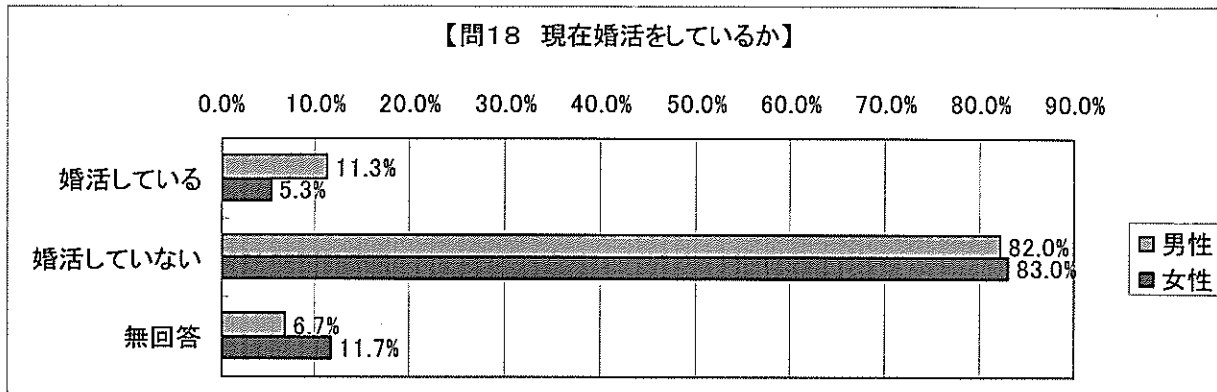
【 結婚に遠い現状（交際率の低さ、出会いの少なさ、ソフトな出会いを期待） 】

- ・「交際していない」は、男性が67.6%、女性が55.3%。
- ・出会いの機会「ほとんどない」が、男性が41.5%、女性が46.1%。
- ・結婚しないのは、「適当な相手にめぐりあわない」からが、全体で39.9%。
- ・結婚に直結型でない、ソフトな出会いを求める割合が高い。



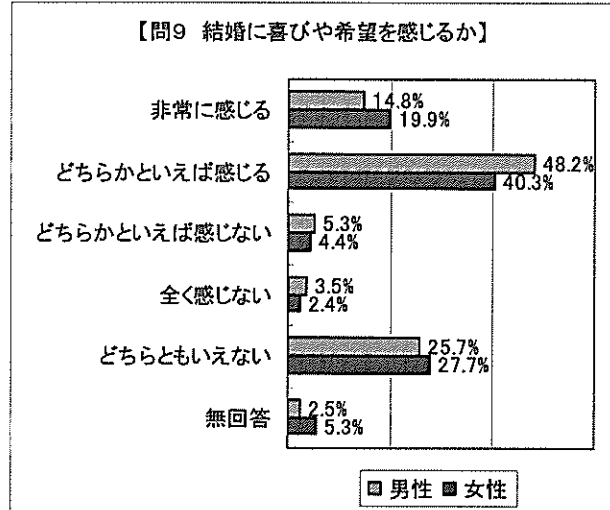
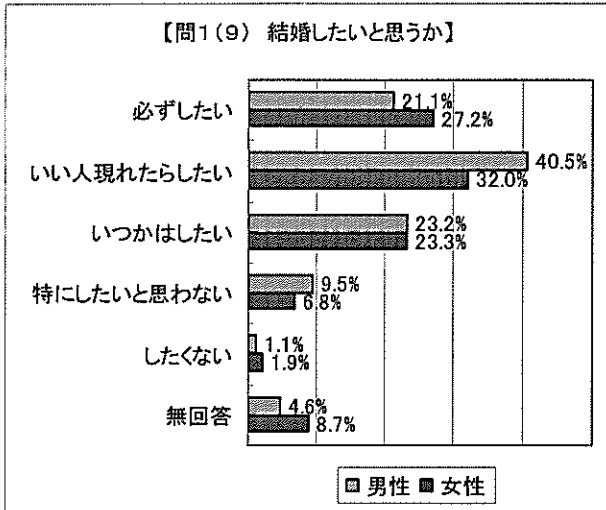
【 婚活については、まだまだ消極的 】

- ・「婚活している」は、男性が11.3%、女性は5.3%。
- ・婚活しない理由も、「特にない」「面倒くさい」を合わせて、全体で52.3%。
- ・行政に婚活支援を「特に期待しない」は、全体で50.0%。



【 結婚観の多様化 】

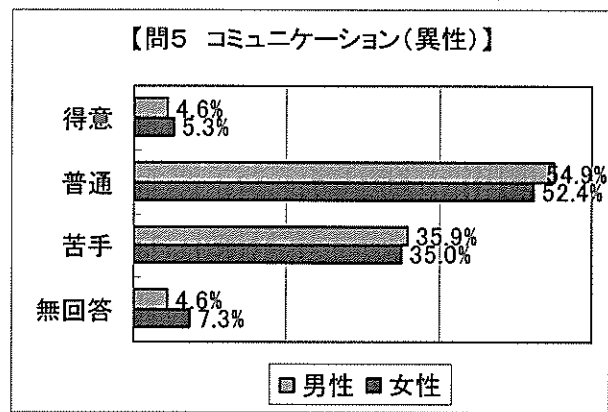
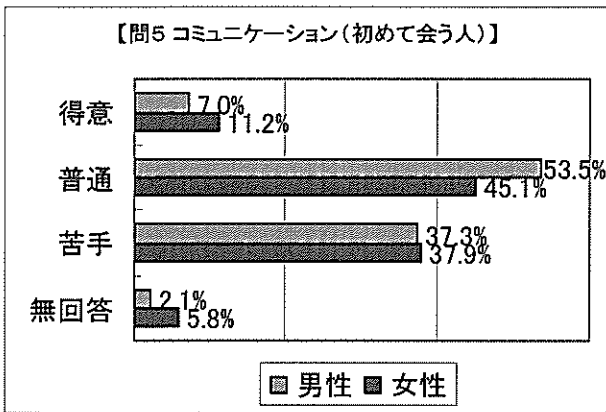
- ・〈結婚したい〉と回答したのは、全体で84.0%。そのうち「いい人が現れたら結婚したい」が36.8%ともっとも高い。
- ・結婚に喜びや希望を感じるかについては、〈感じる〉と回答した人が、全体で61.5%。「どちらともいえない」が、全体で26.7%。



(3) 生活について

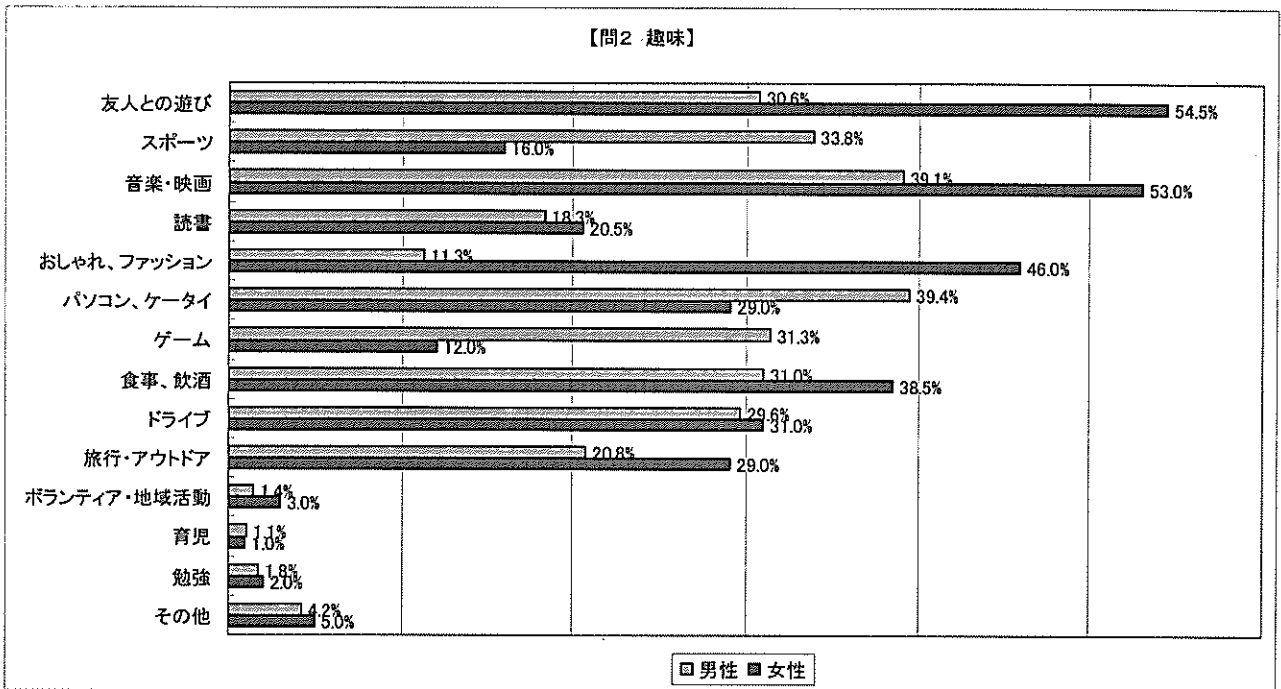
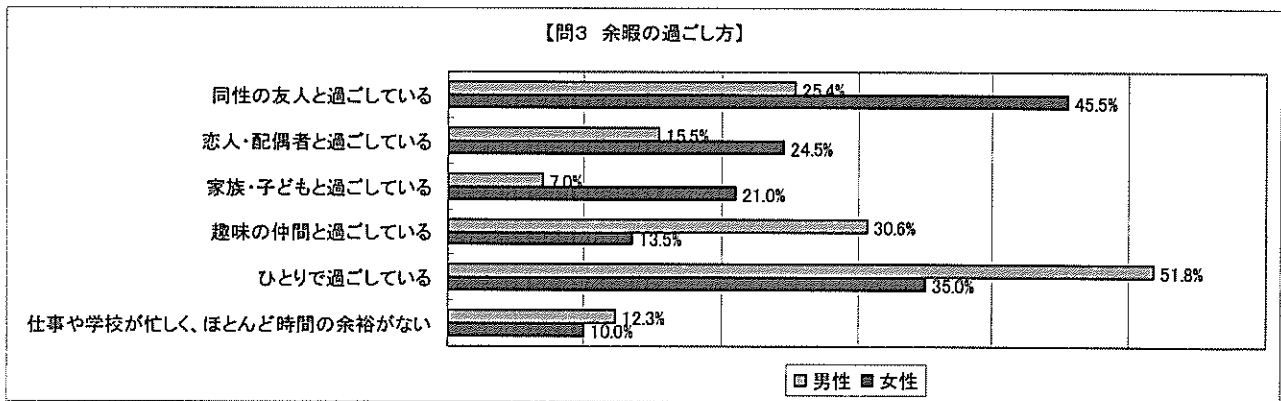
【 コミュニケーションに対する苦手意識 】

- ・「コミュニケーション」に「苦手」と感じる割合は、初めて会った人で37.0%、異性との会話で34.9%。コミュニケーション力不足が懸念される。



【 自分の時間でリアルな対人関係が不足している男性が多い 】

- ・余暇を「ひとりで過ごしている」男性は、51.8%。
- ・「パソコン、ケータイ」が趣味の男性は、39.4%。(男性でもっと高い項目)



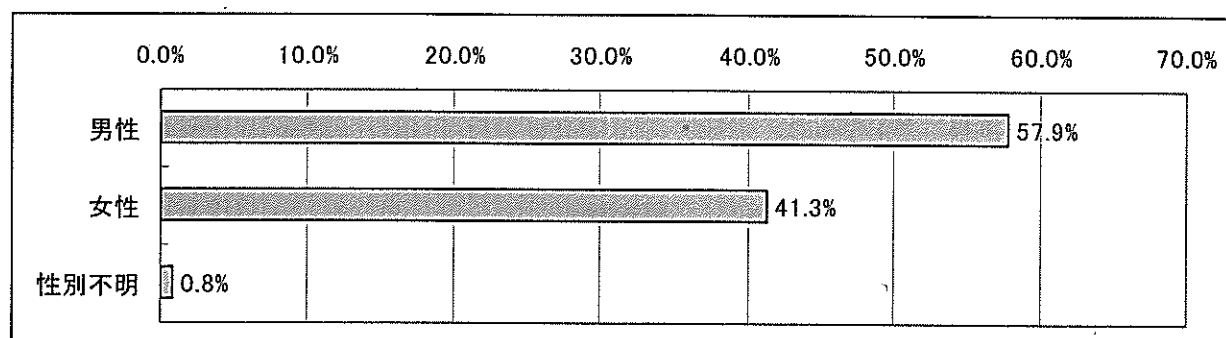
アンケート集計結果・1次分析 詳細（未婚者）

回答者の属性

問1 あなたのプロフィールについて、お尋ねします。

(1) あなたの年齢 (2) あなたの性別

	男性		女性		性別不明		男女計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20～24 歳	94	18.8%	87	17.4%	0	0.0%	181	36.3%
25～29 歳	60	12.0%	50	10.0%	1	0.2%	111	22.2%
30～34 歳	42	8.4%	29	5.8%	0	0.0%	71	14.2%
35～39 歳	42	8.4%	19	3.8%	0	0.0%	61	12.2%
40～44 歳	18	3.6%	9	1.8%	0	0.0%	27	5.4%
45～49 歳	28	5.6%	6	1.2%	2	0.4%	36	7.2%
年代不明	5	1.0%	6	1.2%	1	0.2%	12	2.4%
計	289	57.9%	206	41.3%	4	0.8%	499	



※年代不明 11、性別不明 3、年代・性別不明 1 を除いて、性別・年代別の総数を以下のとおりとする。

【総数】

	男性	女性	男女計
20～24 歳	94	87	181
25～29 歳	60	50	110
30～34 歳	42	29	71
35～39 歳	42	19	61
40～44 歳	18	9	27
45～49 歳	28	6	34
計	284	200	484

(3) あなたのご両親からみての続柄 (回答数=484)

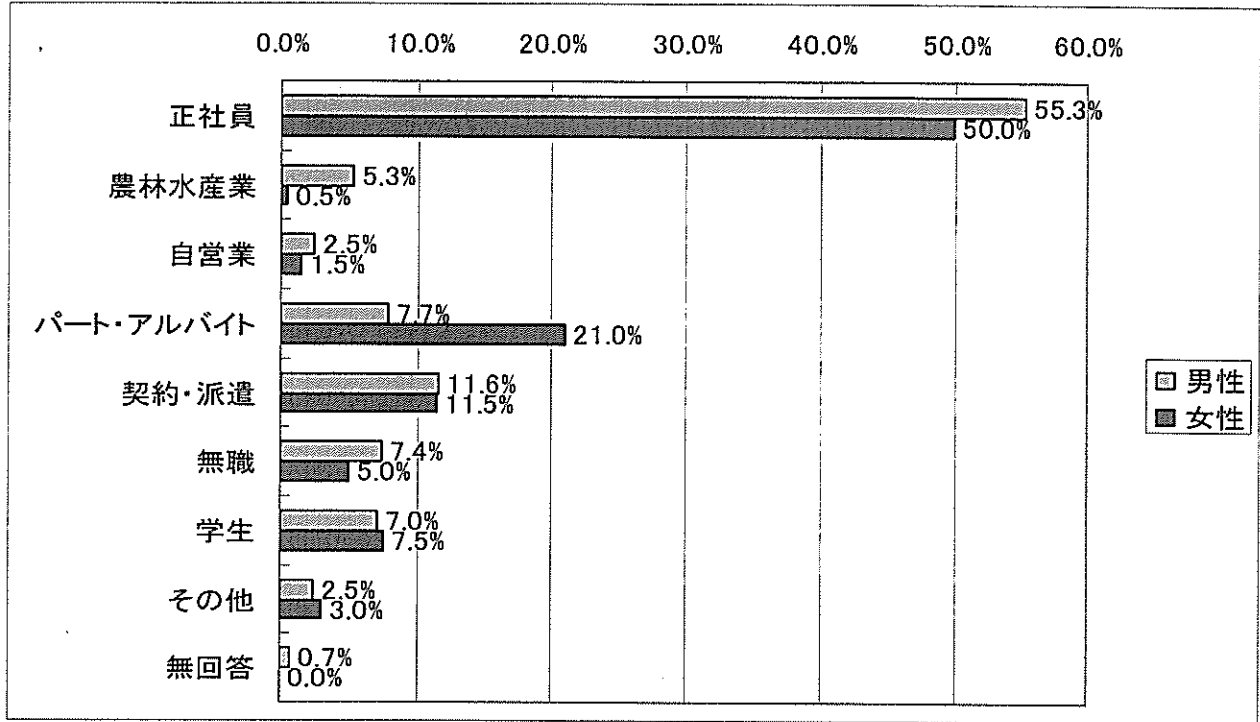
	長男・長女	二男・二女	三男・三女	無回答
男性・20～24歳	69.1%	21.3%	7.4%	2.1%
男性・25～29歳	66.7%	26.7%	6.7%	0.0%
男性・30～34歳	71.4%	23.8%	4.8%	0.0%
男性・35～39歳	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
男性・40～44歳	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%
男性・45～49歳	75.0%	21.4%	0.0%	3.6%
女性・20～24歳	72.4%	19.5%	8.0%	0.0%
女性・25～29歳	58.0%	42.0%	0.0%	0.0%
女性・30～34歳	72.4%	24.1%	0.0%	3.4%
女性・35～39歳	73.7%	21.1%	5.3%	0.0%
女性・40～44歳	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
女性・45～49歳	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	73.2%	21.1%	4.6%	1.1%
女性	68.9%	26.2%	3.9%	1.0%
全体	71.3%	23.6%	4.3%	0.8%

(4) お住まいの地区 (回答数=484)

	櫛引東小 学区	櫛引西小 学区	櫛引南小 学区	無回答
男性・20～24歳	43.6%	35.1%	21.3%	0.0%
男性・25～29歳	16.7%	58.3%	23.3%	1.7%
男性・30～34歳	45.2%	35.7%	19.0%	0.0%
男性・35～39歳	33.3%	38.1%	28.6%	0.0%
男性・40～44歳	16.7%	38.9%	44.4%	0.0%
男性・45～49歳	39.3%	39.3%	14.3%	7.1%
女性・20～24歳	35.6%	42.5%	21.8%	0.0%
女性・25～29歳	36.0%	32.0%	30.0%	2.0%
女性・30～34歳	27.6%	55.2%	13.8%	3.4%
女性・35～39歳	47.4%	36.8%	15.8%	0.0%
女性・40～44歳	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%
女性・45～49歳	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%
男性	34.5%	41.2%	23.2%	1.1%
女性	34.0%	42.7%	22.3%	1.0%
全体	34.5%	41.3%	23.1%	1.0%

(5) あなたの就労状況 (回答数=484)

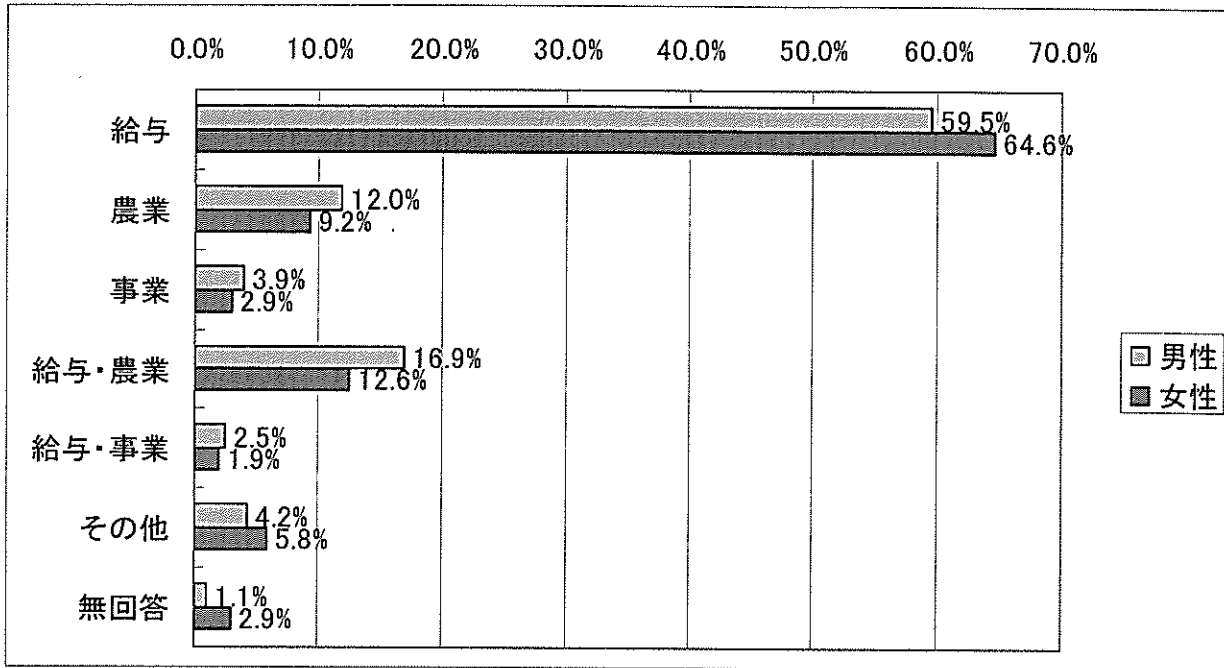
- ・男性は、「正社員・正職員 (55.3%)」、「契約社員・派遣社員 (11.6%)」、「パート・アルバイト (7.7%)」の順になっています。
- ・女性は、「正社員・正職員 (50.0%)」、「パート・アルバイト (21.0%)」、「契約社員・派遣社員 (11.5%)」の順になっています。
- ・男女の比較では、「農林水産業」で男性が 5.3%、女性が 0.5%と男性が高く、「パート・アルバイト」で男性が 7.7%、女性が 21.0 と女性が高くなっています。



	正社員	農林水産業	自営業	パート・ アルバイト	契約・派遣	無職	学生	その他	無回答
男性・20～24 歳	51.1%	1.1%	1.1%	6.4%	12.8%	5.3%	21.3%	1.1%	0.0%
男性・25～29 歳	48.3%	3.3%	1.7%	15.0%	16.7%	13.3%	0.0%	1.7%	0.0%
男性・30～34 歳	47.6%	9.5%	2.4%	11.9%	14.3%	4.8%	0.0%	7.1%	2.4%
男性・35～39 歳	66.7%	11.9%	0.0%	4.8%	7.1%	7.1%	0.0%	2.4%	0.0%
男性・40～44 歳	72.2%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・45～49 歳	67.9%	10.7%	7.1%	0.0%	3.6%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%
女性・20～24 歳	37.9%	0.0%	1.1%	28.7%	12.6%	1.1%	17.2%	1.1%	0.0%
女性・25～29 歳	64.0%	0.0%	0.0%	14.0%	4.0%	12.0%	0.0%	6.0%	0.0%
女性・30～34 歳	48.3%	0.0%	3.4%	17.2%	17.2%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%
女性・35～39 歳	57.9%	5.3%	0.0%	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・40～44 歳	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・45～49 歳	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	55.3%	5.3%	2.5%	7.7%	11.6%	7.4%	7.0%	2.5%	0.7%
女性	50.0%	0.5%	1.5%	21.0%	11.5%	5.0%	7.5%	3.0%	0.0%
全体	53.1%	3.3%	2.1%	13.2%	11.6%	6.4%	7.2%	2.7%	0.4%

(8) あなたの世帯の主な収入 (回答数=484)

- ・男女とも、「給与 (男性 59.5%・女性 64.6%)」「給与・農業 (男性 16.9%・女性 12.6%)」「農業 (男性 12.0%・女性 9.2%)」の順になっています。
- ・男女の比較では、「給与」で男性 59.5%、女性が 64.6%と女性が高く、「農業」で男性 12.0%、女性 9.2%と男性が高く、「給与・農業」で男性が 16.9%、女性が 12.6%と男性が高くなっています。



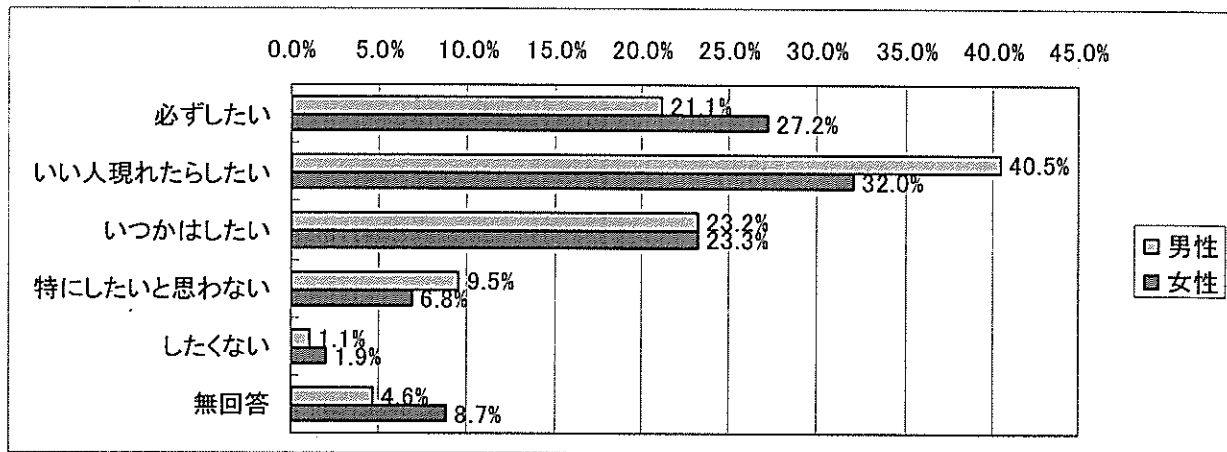
年齢層	給与	農業	事業	給与・農業	給与・事業	その他	無回答
男性・20～24歳	64.9%	8.5%	3.2%	21.3%	0.0%	1.1%	1.1%
男性・25～29歳	65.0%	13.3%	3.3%	11.7%	3.3%	3.3%	0.0%
男性・30～34歳	57.1%	11.9%	4.8%	14.3%	7.1%	4.8%	0.0%
男性・35～39歳	45.2%	14.3%	4.8%	26.2%	4.8%	4.8%	0.0%
男性・40～44歳	50.0%	16.7%	5.6%	11.1%	0.0%	16.7%	0.0%
男性・45～49歳	60.7%	14.3%	3.6%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%
女性・20～24歳	70.1%	6.9%	4.6%	11.5%	3.4%	1.1%	2.3%
女性・25～29歳	62.0%	6.0%	4.0%	20.0%	0.0%	4.0%	4.0%
女性・30～34歳	62.1%	27.6%	0.0%	3.4%	0.0%	6.9%	0.0%
女性・35～39歳	52.6%	5.3%	0.0%	21.1%	0.0%	15.8%	5.3%
女性・40～44歳	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%
女性・45～49歳	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
男性	59.5%	12.0%	3.9%	16.9%	2.5%	4.2%	1.1%
女性	64.6%	9.2%	2.9%	12.6%	1.9%	5.8%	2.9%
全体	61.6%	11.0%	3.5%	15.3%	2.3%	4.8%	1.7%

【男性 あなたの職業・世帯の収入 クロス】

Q1-5	給与	農業	事業	給与・農 業	給与・事 業	その他	無回答	回答数
正社員	66.3%	10.0%	1.9%	15.6%	2.5%	3.1%	0.6%	160
農林水産業	0.0%	6.3%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	15
自営業	2.5%	0.0%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8
パート・アルバイト	8.8%	1.3%	0.0%	1.9%	0.6%	1.3%	0.0%	22
契約・派遣	12.5%	3.1%	0.6%	3.1%	0.0%	0.0%	0.6%	33
無職	6.3%	0.6%	2.5%	0.0%	0.6%	3.1%	0.6%	22
学生	8.1%	0.0%	0.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	20
その他	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	0.6%	0.0%	0.0%	7
無回答	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2

(9-1) あなたは、「結婚」したいと思いますか。(回答数=484)

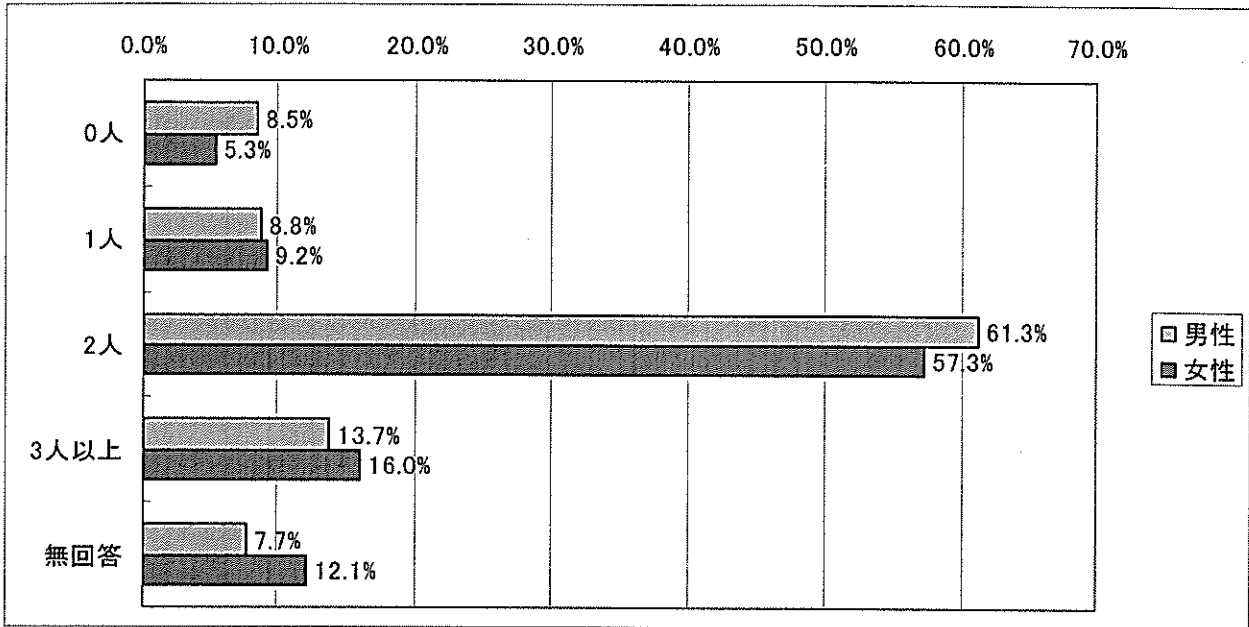
- ・男性は、「いい人が現れたら結婚したい(40.5%)」「いつかは結婚したい(23.2%)」「必ず結婚したい(21.1%)」の順になっています。
- ・女性は、「いい人が現れたら結婚したい(32.0%)」「必ず結婚したい(27.2%)」「いつかは結婚したい(23.3%)」の順になっています。
- ・男女の比較では、「必ず結婚したい」で男性 21.1%、女性 27.2%と女性が高く、「いい人が現れたら結婚したい」で男性 40.5%、女性 32.0%と男性が高くなっています。
- ・<結婚したい>の割合は、男性 84.8%、女性 82.5%と男性がやや高く、<結婚したいと思わない、したくない>の割合は、男性 10.6%、女性 8.7%と男性がやや高くなっています。
- ・男性は、年齢が上がるに連れて、「いつかは結婚したい」の割合が低くなり、「特に結婚したいと思わない」の割合が高くなっています。
- ・女性は、年齢が上がるに連れて、「特に結婚したいと思わない」の割合が高くなっています。



	必ず	いい人現れたら	いつかは	特にしたいと思わない	したくない	無回答
男性・20～24歳	25.5%	29.8%	34.0%	9.6%	1.1%	0.0%
男性・25～29歳	13.3%	43.3%	30.0%	6.7%	3.3%	3.3%
男性・30～34歳	16.7%	54.8%	19.0%	7.1%	0.0%	2.4%
男性・35～39歳	23.8%	47.6%	14.3%	9.5%	0.0%	4.8%
男性・40～44歳	11.1%	50.0%	5.6%	16.7%	0.0%	16.7%
男性・45～49歳	32.1%	32.1%	3.6%	14.3%	0.0%	17.9%
女性・20～24歳	42.5%	28.7%	23.0%	4.6%	0.0%	1.1%
女性・25～29歳	22.0%	28.0%	30.0%	4.0%	2.0%	14.0%
女性・30～34歳	10.3%	37.9%	24.1%	6.9%	3.4%	17.2%
女性・35～39歳	5.3%	26.3%	26.3%	10.5%	10.5%	21.1%
女性・40～44歳	11.1%	66.7%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
女性・45～49歳	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	21.1%	40.5%	23.2%	9.5%	1.1%	4.6%
女性	27.2%	32.0%	23.3%	6.8%	1.9%	8.7%
全体	23.6%	36.8%	23.6%	8.3%	1.4%	6.4%

(11) 将来の理想の子供の人数 (回答数=484)

- ・全体で<2人以上子供がほしい>の割合が、74.6%となっています。
- ・男性は、「2人 (61.3%)」「3人以上 (13.7%)」「1人 (8.8%)」の順になっています。
- ・女性は、「2人 (57.3%)」「3人以上 (16.0%)」「無回答 (12.1%)」の順になっています。
- ・20代で「3人以上」の割合が高くなっています。
- ・女性・45～49歳で「0人 (66.7%)」の割合が高くなっています。

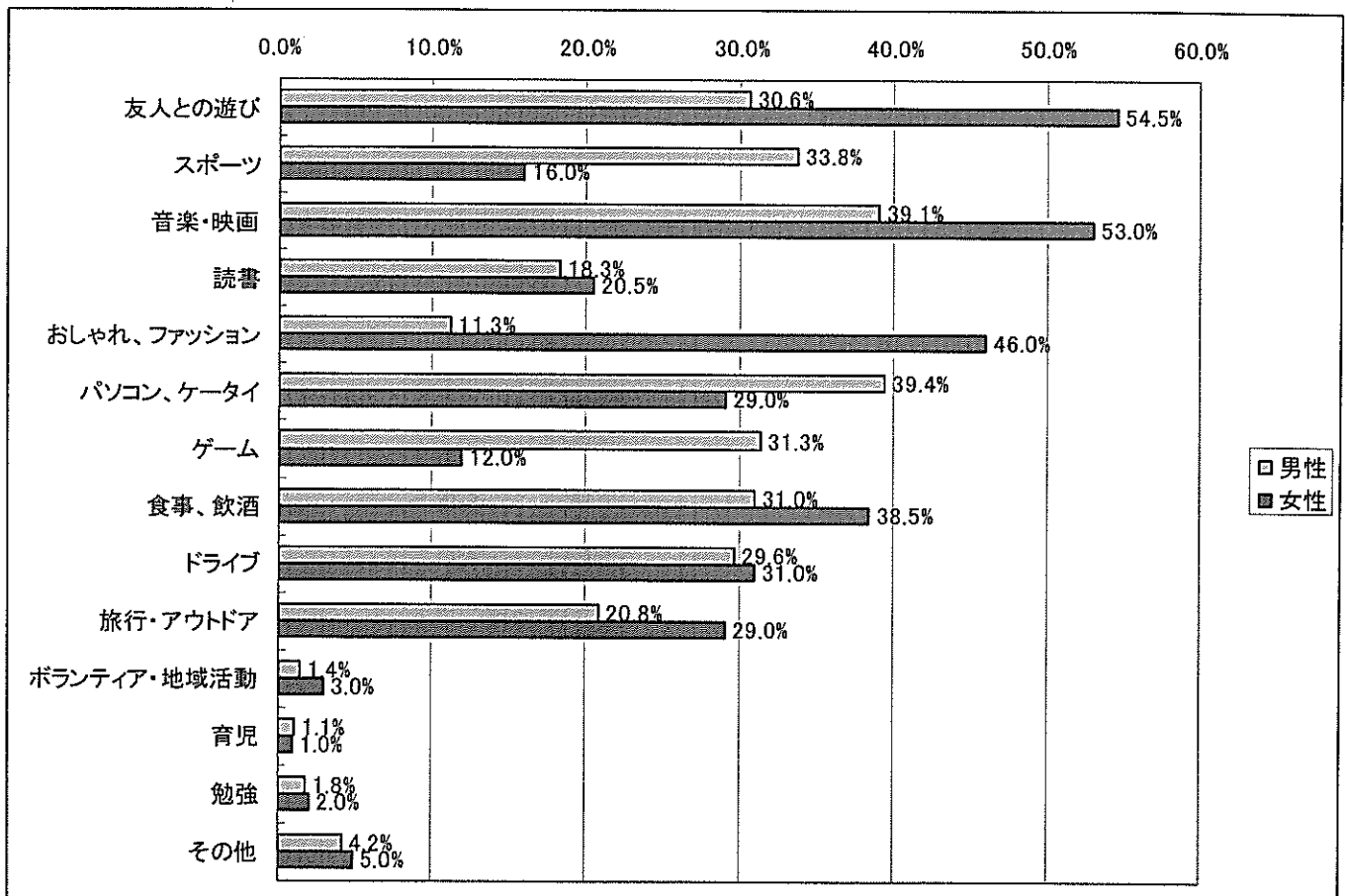


年齢層	0人	1人	2人	3人以上	無回答
男性・20～24歳	0.0%	7.4%	64.9%	20.2%	7.4%
男性・25～29歳	10.0%	8.3%	56.7%	20.0%	5.0%
男性・30～34歳	14.3%	9.5%	64.3%	9.5%	2.4%
男性・35～39歳	9.5%	9.5%	66.7%	4.8%	9.5%
男性・40～44歳	11.1%	16.7%	50.0%	5.6%	16.7%
男性・45～49歳	21.4%	7.1%	53.6%	3.6%	14.3%
女性・20～24歳	1.1%	5.7%	59.8%	24.1%	9.2%
女性・25～29歳	4.0%	8.0%	58.0%	14.0%	16.0%
女性・30～34歳	6.9%	17.2%	62.1%	3.4%	10.3%
女性・35～39歳	5.3%	10.5%	63.2%	5.3%	15.8%
女性・40～44歳	11.1%	11.1%	55.6%	11.1%	11.1%
女性・45～49歳	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
男性	8.5%	8.8%	61.3%	13.7%	7.7%
女性	5.3%	9.2%	57.3%	16.0%	12.1%
全体	7.2%	8.9%	59.9%	14.7%	9.3%

生活について

問2 あなたの趣味は、どのようなことですか。

- ・男性は、「パソコン、ケータイ (39.4%)」「音楽・映画 (39.1%)」「スポーツ (33.8%)」の順になっています。
- ・女性は、「友人との遊び、おしゃべり (54.5%)」「音楽・映画 (53.0%)」「おしゃれ、ファッション (46.0%)」の順になっています。
- ・男女の比較では、「スポーツ (男性 33.8%、女性 16.0%)」「ゲーム (男性 31.3%、女性 12.0%)」で男性の割合が高く、「友人との遊び (男性 30.6%、女性 54.5%)」「音楽・映画 (男性 39.1%、女性 53.0%)」「おしゃれ、ファッション (男性 11.3%、女性 46.0%)」と女性の割合が高くなっています。
- ・「おしゃれ、ファッション」で、男女とも年代が上がるにつれて割合が低くなっており、40代男性と40代後半女性では0%となっています。
- ・20代30代の男性で、「ゲーム」の割合が高くなっています。
- ・結婚願望が低い人では、男性で「パソコン・ケータイ」の割合が高く、女性では「読書」の割合が高いのに対し「おしゃれ、ファッション」の割合が低く、結婚願望の低い人で外見的な「自分磨き」に関心が薄い傾向が伺えます。



【あなたの趣味 性別・年代別クロス】

	友人との 遊び	スポーツ	音楽・映 画	読書	おしゃ れ、ファッ ション	パソコン、 ケータイ	ゲーム
男性・20～24 歳	51.1%	47.9%	52.1%	12.8%	17.0%	43.6%	43.6%
男性・25～29 歳	33.3%	33.3%	43.3%	33.3%	16.7%	45.0%	40.0%
男性・30～34 歳	19.0%	16.7%	23.8%	14.3%	9.5%	33.3%	31.0%
男性・35～39 歳	19.0%	26.2%	26.2%	16.7%	4.8%	42.9%	23.8%
男性・40～44 歳	5.6%	22.2%	27.8%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%
男性・45～49 歳	7.1%	32.1%	35.7%	10.7%	0.0%	21.4%	3.6%
女性・20～24 歳	65.5%	18.4%	67.8%	14.9%	60.9%	37.9%	16.1%
女性・25～29 歳	54.0%	8.0%	46.0%	22.0%	42.0%	32.0%	8.0%
女性・30～34 歳	44.8%	13.8%	37.9%	37.9%	34.5%	20.7%	10.3%
女性・35～39 歳	42.1%	21.1%	26.3%	10.5%	36.8%	5.3%	15.8%
女性・40～44 歳	33.3%	11.1%	66.7%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%
女性・45～49 歳	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	30.6%	33.8%	39.1%	18.3%	11.3%	39.4%	31.3%
女性	54.5%	16.0%	53.0%	20.5%	46.0%	29.0%	12.0%
全体	40.5%	26.4%	44.8%	19.2%	25.6%	35.1%	23.3%

	食事、飲 酒	ドライブ	旅行・ア ウトドア	ボランティ ア・地域活 動	育児	勉強	その他	回答数
男性・20～24 歳	29.8%	33.0%	21.3%	2.1%	1.1%	1.1%	2.1%	337
男性・25～29 歳	20.0%	25.0%	10.0%	0.0%	1.7%	1.7%	3.3%	184
男性・30～34 歳	31.0%	38.1%	26.2%	0.0%	0.0%	2.4%	7.1%	106
男性・35～39 歳	40.5%	21.4%	23.8%	2.4%	0.0%	2.4%	2.4%	106
男性・40～44 歳	44.4%	16.7%	27.8%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	39
男性・45～49 歳	35.7%	35.7%	25.0%	0.0%	3.6%	0.0%	10.7%	62
女性・20～24 歳	47.1%	29.9%	33.3%	5.7%	1.1%	3.4%	4.6%	354
女性・25～29 歳	32.0%	30.0%	26.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	152
女性・30～34 歳	27.6%	44.8%	37.9%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%	92
女性・35～39 歳	36.8%	26.3%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%	47
女性・40～44 歳	55.6%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	28
女性・45～49 歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8
男性	31.0%	29.6%	20.8%	1.4%	1.1%	1.8%	4.2%	834
女性	38.5%	31.0%	29.0%	3.0%	1.0%	2.0%	5.0%	681
全体	34.1%	30.2%	24.2%	2.1%	1.0%	1.9%	4.5%	1,515

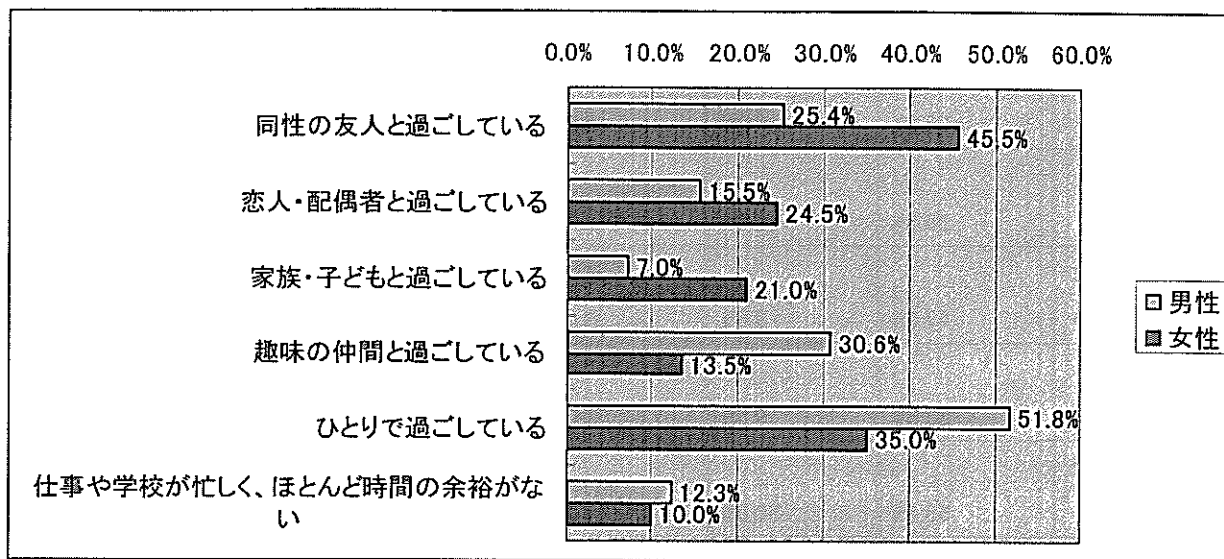
【あなたの趣味 結婚願望別クロス】

		友人との 遊び	スポーツ	音楽・ 映画	読書	おしゃれ、 ファッション	パソコン、 ケータイ	ゲーム
男性	必ず	30.6%	43.5%	41.9%	17.7%	14.5%	27.4%	22.6%
	いい人が現 れたら	29.3%	32.8%	37.1%	19.0%	12.1%	37.9%	29.3%
	いつかは	42.4%	36.4%	42.4%	15.2%	10.6%	39.4%	42.4%
	特に結婚した と思わない	14.3%	17.9%	25.0%	17.9%	3.6%	64.3%	35.7%
	したくない	0.0%	0.0%	66.7%	100.0%	0.0%	66.7%	100.0%
女性	必ず	71.4%	28.6%	62.5%	16.1%	58.9%	32.1%	10.7%
	いい人が現 れたら	50.0%	9.1%	56.1%	19.7%	37.9%	27.3%	12.1%
	いつかは	62.5%	16.7%	54.2%	16.7%	58.3%	31.3%	6.3%
	特に結婚した と思わない	28.6%	0.0%	42.9%	50.0%	21.4%	35.7%	21.4%
	したくない	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	50.0%

		食事、 飲酒	ドライブ	旅行・ アウトド ア	ボランテ ィア・ 地域活 動	育児	勉強	その他	回 答 数
男性	必ず	33.9%	33.9%	25.8%	3.2%	1.6%	3.2%	9.7%	192
	いい人が現 れたら	31.9%	27.6%	17.2%	0.9%	0.9%	0.9%	3.4%	325
	いつかは	30.3%	28.8%	19.7%	1.5%	0.0%	1.5%	3.0%	207
	特に結婚した と思わない	17.9%	28.6%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	71
	したくない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10
女性	必ず	50.0%	37.5%	42.9%	3.6%	1.8%	3.6%	5.4%	238
	いい人が現 れたら	31.8%	34.8%	21.2%	3.0%	0.0%	1.5%	4.5%	204
	いつかは	45.8%	35.4%	35.4%	4.2%	0.0%	2.1%	4.2%	179
	特に結婚した と思わない	28.6%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	21.4%	39
	したくない	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7

問3 あなたは、時間の余裕があるときに、どのように過ごしていますか。

- ・男性は、「ひとりで過ごしている (51.8%)」「趣味の仲間と過ごしている (30.6%)」「同性の友人と過ごしている (25.4%)」の順になっています。
- ・女性は、「同性の友人と過ごしている (45.5%)」「ひとりで過ごしている (35.0%)」「恋人・配偶者と過ごしている (24.5%)」の順になっています。また、20代では「同性の友人と過ごしている」の割合が高く、30・40代では「ひとりで過ごしている」の割合が高くなっています。
- ・結婚願望別では、男女とも結婚願望の低い人で、「ひとりで過ごしている」の割合が高くなっています。



【余暇の過ごし方 性別・年代別クロス】

年齢層	同性の友人と過ごしている	恋人・配偶者と過ごしている	家族・子どもと過ごしている	趣味の仲間と過ごしている	ひとりで過ごしている	仕事や学校が忙しく、ほとんど時間の余裕がない	計
男性・20～24歳	40.4%	29.8%	5.3%	27.7%	48.9%	7.4%	40.4%
男性・25～29歳	23.3%	13.3%	3.3%	38.3%	41.7%	18.3%	23.3%
男性・30～34歳	19.0%	11.9%	4.8%	33.3%	71.4%	4.8%	19.0%
男性・35～39歳	19.0%	4.8%	11.9%	31.0%	52.4%	19.0%	19.0%
男性・40～44歳	11.1%	0.0%	5.6%	27.8%	66.7%	11.1%	11.1%
男性・45～49歳	7.1%	3.6%	17.9%	21.4%	42.9%	17.9%	7.1%
女性・20～24歳	52.9%	31.0%	17.2%	18.4%	28.7%	10.3%	52.9%
女性・25～29歳	48.0%	28.0%	20.0%	10.0%	32.0%	8.0%	48.0%
女性・30～34歳	37.9%	10.3%	17.2%	10.3%	41.4%	13.8%	37.9%
女性・35～39歳	36.8%	15.8%	26.3%	15.8%	42.1%	10.5%	36.8%
女性・40～44歳	33.3%	22.2%	55.6%	0.0%	44.4%	11.1%	33.3%
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%
男性	25.4%	15.5%	7.0%	30.6%	51.8%	12.3%	25.4%
女性	45.5%	24.5%	21.0%	13.5%	35.0%	10.0%	45.5%

全体	33.7%	19.2%	12.8%	23.6%	44.8%	11.4%	33.7%
----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

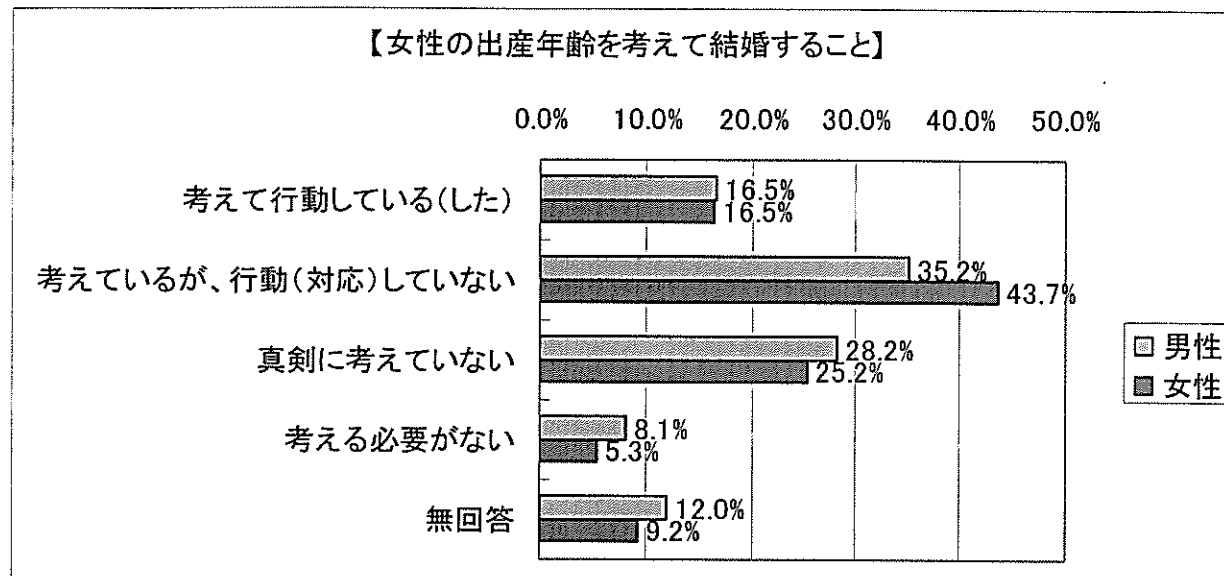
【余暇の過ごし方 結婚願望別クロス】

	Q1-9-1	同性の友人 と過ごしてい る	恋人・配偶 者と過ごし ている	家族・子ども と過ごしてい る	趣味の仲間 と過ごしてい る	ひとりで過 ごしている	仕事や学校が忙し く、ほとんど時間の 余裕がない
男性	必ず結婚した い	25.8%	27.4%	8.1%	32.3%	37.1%	16.1%
	いい人が現 れたら結婚し たい	25.9%	6.9%	2.6%	37.9%	57.8%	13.8%
	いつかは結 婚したい	28.8%	25.8%	6.1%	30.3%	45.5%	6.1%
	特に結婚した いと思わない	17.9%	3.6%	0.0%	10.7%	78.6%	10.7%
	結婚したくな い	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
女性	必ず結婚した い	55.4%	50.0%	14.3%	21.4%	21.4%	10.7%
	いい人が現 れたら結婚し たい	43.9%	7.6%	25.8%	13.6%	43.9%	7.6%
	いつかは結 婚したい	58.3%	27.1%	25.0%	10.4%	29.2%	12.5%
	特に結婚した いと思わない	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	57.1%	7.1%
	結婚したくな い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%

問4 あなたは、ご自身の人生設計について、どのように考え、行動していますか。(回答数=484)

A. 女性の出産年齢を考えて、結婚すること

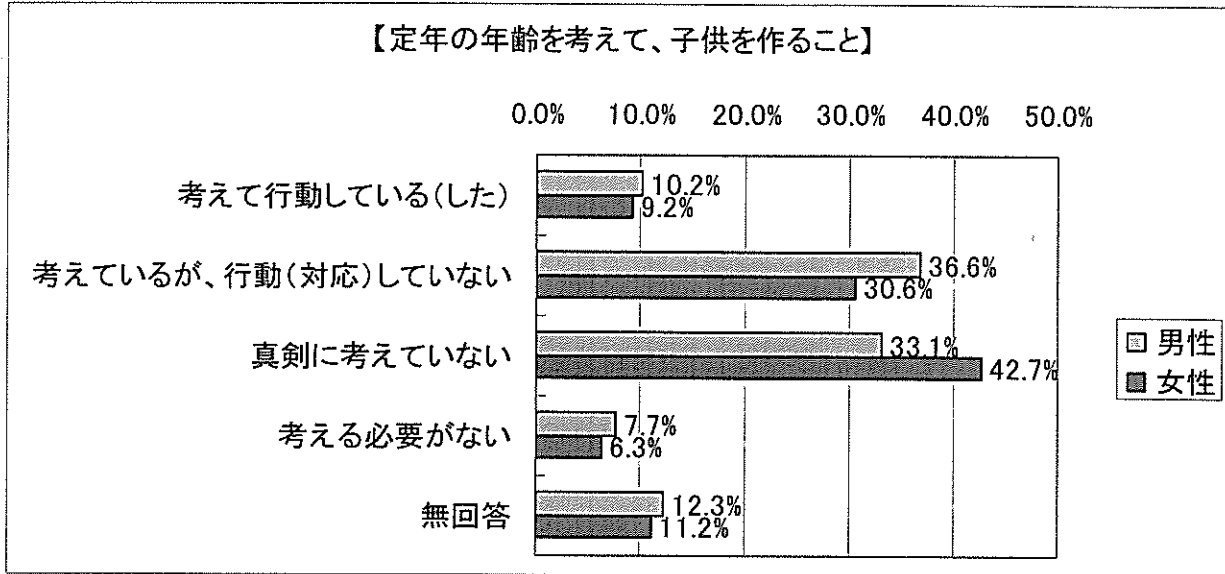
- ・男女のとも、「考えているが行動(対応)していない(男性 35.2%、女性 43.7%)」「真剣に考えていない(男性 28.2%、女性 25.2%)」「考えて行動している(した)(男性 16.5%、女性 16.5%)」の順になっています。
- ・35歳後半・40代男性で「考える必要がない」の割合が高くなっています。
- ・「真剣に考えていない」「考える必要がない」の割合が全体で、34.1%となっています。問1(11)の集計で<2人以上子供がほしい>の割合が74.6%となっており、【将来理想の子供数】と【女性の出産年齢を考えて結婚すること】について意識の開きがあり、結婚を出産と結びつけて考えていない状況が伺えます。



	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24歳	18.1%	37.2%	29.8%	4.3%	10.6%
男性・25～29歳	15.0%	30.0%	35.0%	8.3%	11.7%
男性・30～34歳	11.9%	42.9%	33.3%	7.1%	4.8%
男性・35～39歳	19.0%	33.3%	26.2%	11.9%	9.5%
男性・40～44歳	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%
男性・45～49歳	14.3%	25.0%	14.3%	14.3%	32.1%
女性・20～24歳	20.7%	37.9%	29.9%	3.4%	8.0%
女性・25～29歳	16.0%	44.0%	22.0%	6.0%	12.0%
女性・30～34歳	17.2%	48.3%	24.1%	0.0%	10.3%
女性・35～39歳	5.3%	52.6%	21.1%	15.8%	5.3%
女性・40～44歳	11.1%	66.7%	22.2%	0.0%	0.0%
女性・45～49歳	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%
男性	16.5%	35.2%	28.2%	8.1%	12.0%
女性	16.5%	43.7%	25.2%	5.3%	9.2%
全体	16.7%	38.6%	27.1%	7.0%	10.5%

B. 定年の年齢を考慮して、子どもを作ること

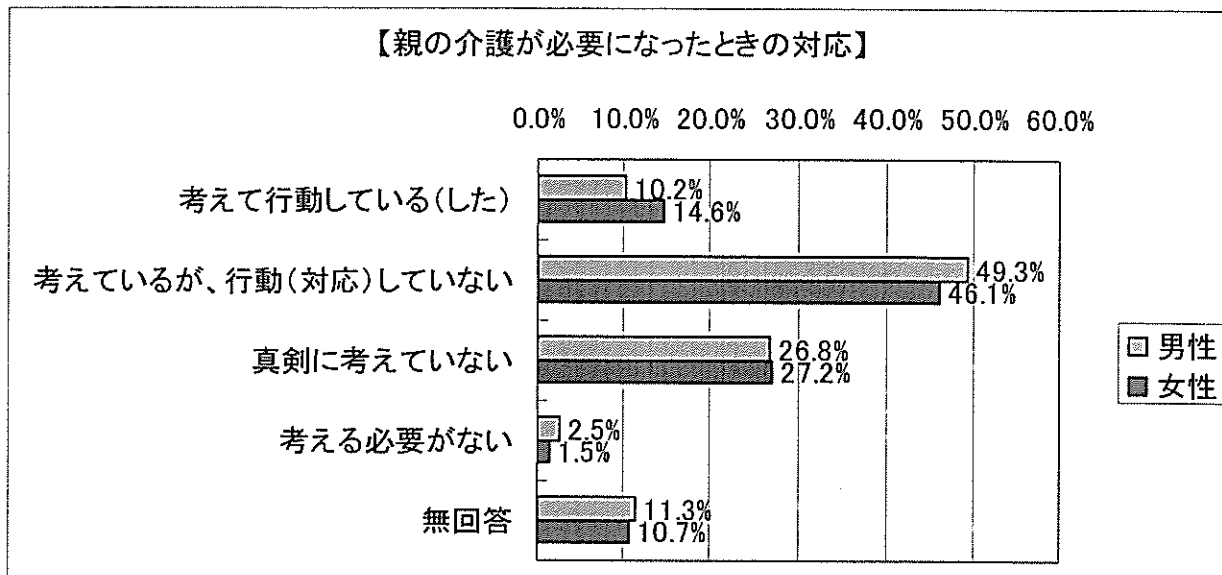
- ・男性は、「考えているが行動(対応)していない(36.6%)」「真剣に考えていない(33.1%)」「無回答(12.3%)」の順になっています。
- ・女性は「真剣に考えていない(42.7%)」「考えているが行動(対応)していない(30.6%)」「無回答(11.2%)」の順になっています。女性の「真剣に考えていない」の割合が高く、経済的なライフプランに対して意識が低いことが伺えます。



年齢層	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24歳	10.6%	28.7%	43.6%	5.3%	11.7%
男性・25～29歳	13.3%	31.7%	35.0%	10.0%	10.0%
男性・30～34歳	7.1%	47.6%	31.0%	7.1%	7.1%
男性・35～39歳	11.9%	45.2%	26.2%	7.1%	9.5%
男性・40～44歳	5.6%	50.0%	22.2%	11.1%	11.1%
男性・45～49歳	7.1%	35.7%	14.3%	10.7%	32.1%
女性・20～24歳	12.6%	24.1%	50.6%	2.3%	10.3%
女性・25～29歳	10.0%	24.0%	46.0%	8.0%	12.0%
女性・30～34歳	3.4%	44.8%	34.5%	3.4%	13.8%
女性・35～39歳	5.3%	42.1%	26.3%	21.1%	5.3%
女性・40～44歳	11.1%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%
女性・45～49歳	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%
男性	10.2%	36.6%	33.1%	7.7%	12.3%
女性	9.2%	30.6%	42.7%	6.3%	11.2%
全体	9.9%	33.9%	37.4%	7.2%	11.6%

C. 親の介護が必要になったときの対応

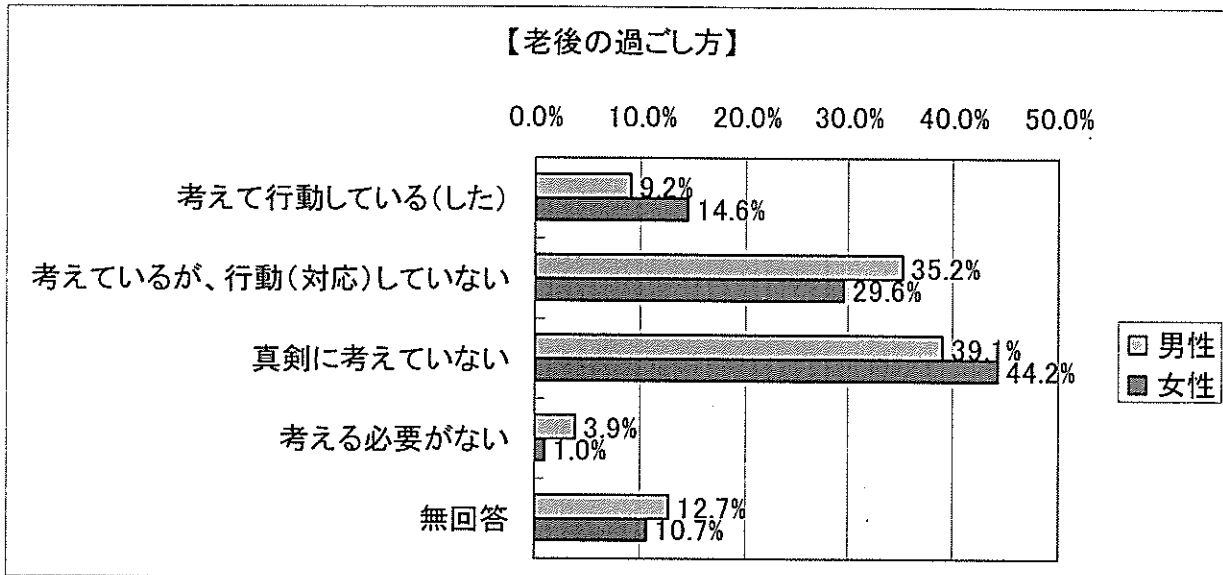
・男女とも、「考えているが行動（対応）していない（男性 49.3%、女性 46.1%）」「真剣に考えていない（男性 26.8%、女性 27.2%）」「考えて行動している（した）（男性 10.2%、女性 14.6%）」の順になっています。



年齢層	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24 歳	10.6%	34.0%	42.6%	2.1%	10.6%
男性・25～29 歳	13.3%	50.0%	23.3%	3.3%	10.0%
男性・30～34 歳	0.0%	69.0%	21.4%	4.8%	4.8%
男性・35～39 歳	11.9%	61.9%	16.7%	0.0%	9.5%
男性・40～44 歳	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%
男性・45～49 歳	14.3%	39.3%	14.3%	3.6%	28.6%
女性・20～24 歳	13.8%	47.1%	28.7%	1.1%	9.2%
女性・25～29 歳	16.0%	38.0%	32.0%	2.0%	12.0%
女性・30～34 歳	13.8%	41.4%	31.0%	0.0%	13.8%
女性・35～39 歳	5.3%	68.4%	15.8%	5.3%	5.3%
女性・40～44 歳	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%
女性・45～49 歳	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
男性	10.2%	49.3%	26.8%	2.5%	11.3%
女性	14.6%	46.1%	27.2%	1.5%	10.7%
全体	12.0%	48.3%	26.9%	2.1%	10.7%

D. 老後の過ごし方

- ・男性は「真剣に考えていない (39.1%)」「考えているが、行動 (対応) していない (35.2%)」「無回答 (12.7%)」の順になっています。
- ・女性は「真剣に考えていない (44.2%)」「考えているが、行動 (対応) していない (29.6%)」「考えて行動している (した) (14.6%)」の順になっています。



年齢層	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24歳	10.6%	14.9%	56.4%	6.4%	11.7%
男性・25～29歳	8.3%	38.3%	40.0%	1.7%	11.7%
男性・30～34歳	2.4%	54.8%	28.6%	7.1%	7.1%
男性・35～39歳	9.5%	59.5%	19.0%	2.4%	9.5%
男性・40～44歳	16.7%	33.3%	38.9%	0.0%	11.1%
男性・45～49歳	10.7%	32.1%	25.0%	0.0%	32.1%
女性・20～24歳	13.8%	26.4%	49.4%	1.1%	9.2%
女性・25～29歳	14.0%	22.0%	52.0%	0.0%	12.0%
女性・30～34歳	13.8%	27.6%	44.8%	0.0%	13.8%
女性・35～39歳	10.5%	63.2%	15.8%	5.3%	5.3%
女性・40～44歳	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%
女性・45～49歳	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%
男性	9.2%	35.2%	39.1%	3.9%	12.7%
女性	14.6%	29.6%	44.2%	1.0%	10.7%
全体	11.4%	33.1%	41.3%	2.7%	11.6%

問5 あなたは、他人とのコミュニケーションについて、得意な方ですか。(回答数=484)

【初めて会う人】

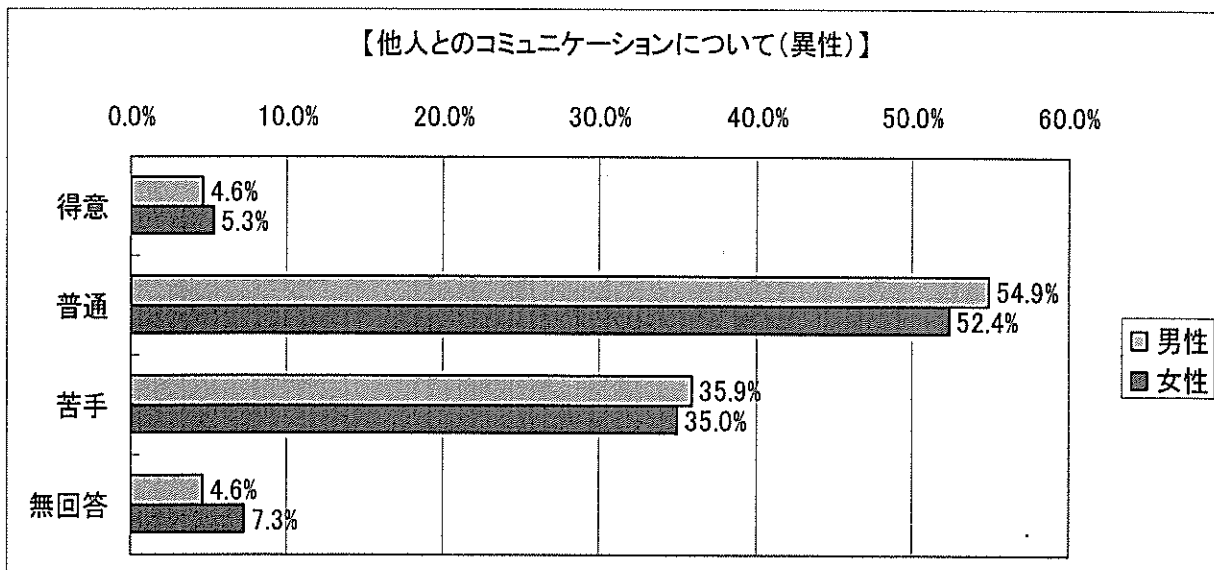
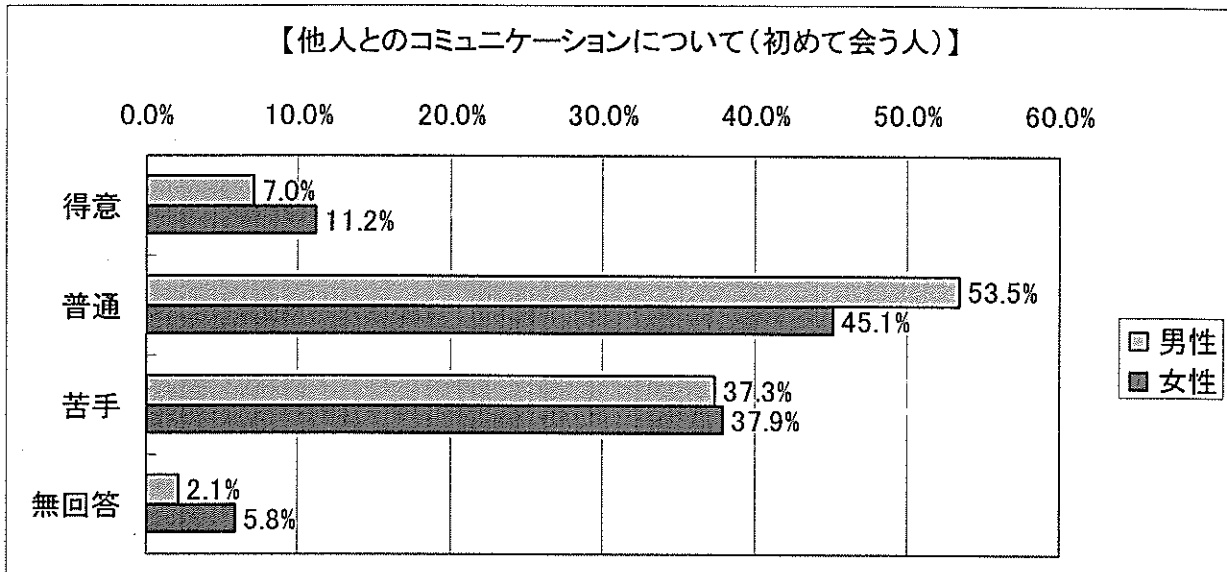
- ・男女とも、「普通（男性 53.5%、女性 45.1%）」「苦手（男性 37.3%、女性 37.9%）」「得意（男性 7.0%、女性 11.2%）」の順になっています。

【異性】

- ・男女とも「普通（男性 54.9%、女性 52.4%）」「苦手（男性 35.9%、女性 35.0%）」「無回答（男性 4.6%、女性 7.3%）」（男性は「得意」が4.6%と無回答と同じ）の順になっています。

【全体】

- ・「苦手」の割合が、両方の設問で3割を超えており、特に結婚願望が低い人で「苦手」の割合が高くなっています。



【他者とのコミュニケーション 性別・年代別クロス】

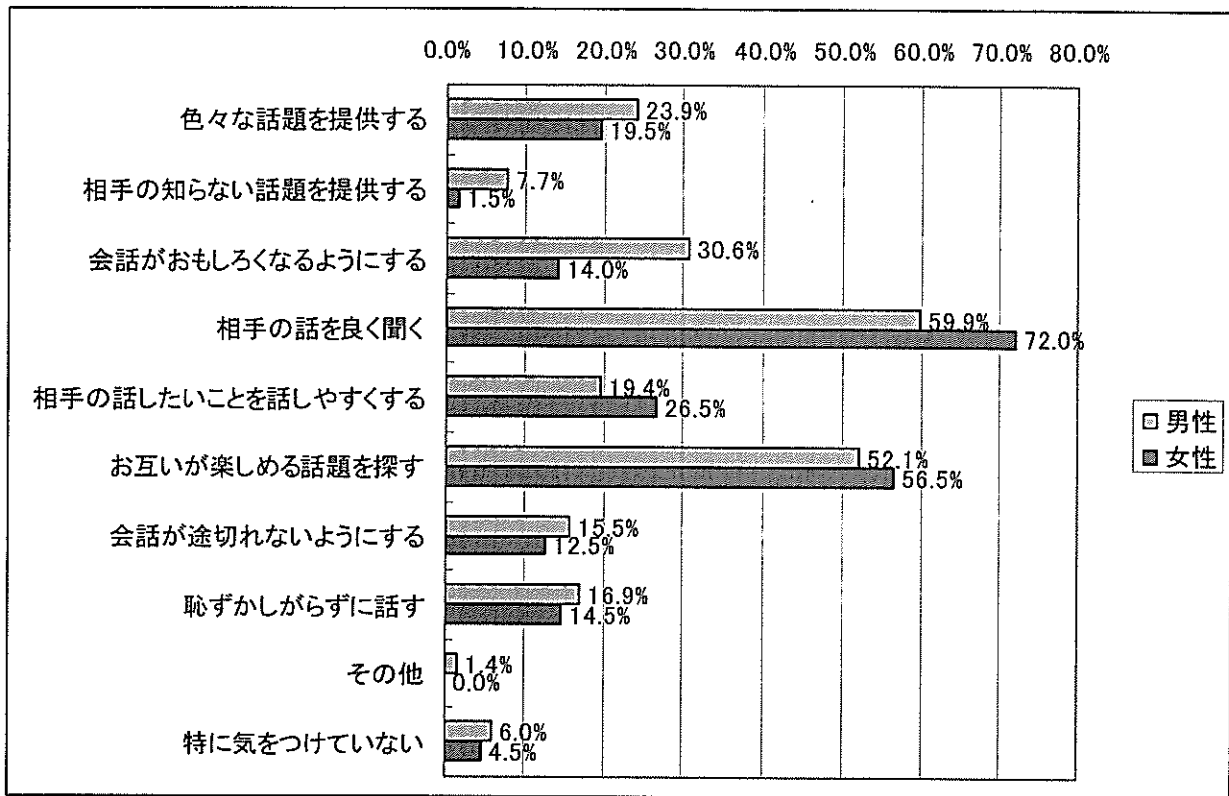
	①初めて会う人				②異性			
	得意	普通	苦手	無回答	得意	普通	苦手	無回答
男性・20～24 歳	10.6%	54.3%	34.0%	1.1%	5.3%	59.6%	31.9%	3.2%
男性・25～29 歳	10.0%	51.7%	38.3%	0.0%	6.7%	46.7%	43.3%	3.3%
男性・30～34 歳	4.8%	42.9%	52.4%	0.0%	4.8%	52.4%	38.1%	4.8%
男性・35～39 歳	2.4%	64.3%	31.0%	2.4%	2.4%	61.9%	33.3%	2.4%
男性・40～44 歳	0.0%	61.1%	27.8%	11.1%	0.0%	61.1%	27.8%	11.1%
男性・45～49 歳	3.6%	50.0%	39.3%	7.1%	3.6%	46.4%	39.3%	10.7%
女性・20～24 歳	18.4%	44.8%	34.5%	2.3%	11.5%	51.7%	32.2%	4.6%
女性・25～29 歳	10.0%	44.0%	36.0%	10.0%	2.0%	52.0%	32.0%	14.0%
女性・30～34 歳	6.9%	48.3%	31.0%	13.8%	0.0%	62.1%	27.6%	10.3%
女性・35～39 歳	0.0%	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	57.9%	42.1%	0.0%
女性・40～44 歳	0.0%	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
女性・45～49 歳	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
男性	7.0%	53.5%	37.3%	2.1%	4.6%	54.9%	35.9%	4.6%
女性	11.2%	45.1%	37.9%	5.8%	5.3%	52.4%	35.0%	7.3%
全体	8.9%	50.6%	37.0%	3.5%	5.0%	54.5%	34.9%	5.6%

【他者とのコミュニケーション 結婚願望別クロス】

		①初めて会う人				②異性			
		得意	普通	苦手	無回答	得意	普通	苦手	無回答
男性	必ず結婚したい	6.5%	58.1%	30.6%	4.8%	6.5%	58.1%	30.6%	4.8%
	いい人が現れたら結婚したい	5.2%	53.4%	39.7%	1.7%	2.6%	56.9%	35.3%	5.2%
	いつかは結婚したい	12.1%	53.0%	34.8%	0.0%	7.6%	57.6%	33.3%	1.5%
	特に結婚したいと思わない	0.0%	46.4%	50.0%	3.6%	0.0%	42.9%	53.6%	3.6%
	結婚したくない	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
女性	必ず結婚したい	28.6%	39.3%	30.4%	1.8%	14.3%	57.1%	26.8%	1.8%
	いい人が現れたら結婚したい	1.5%	50.0%	45.5%	3.0%	0.0%	57.6%	40.9%	1.5%
	いつかは結婚したい	8.3%	58.3%	29.2%	4.2%	4.2%	56.3%	29.2%	10.4%
	特に結婚したいと思わない	14.3%	14.3%	71.4%	0.0%	7.1%	21.4%	71.4%	0.0%
	結婚したくない	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%

問6 コミュニケーションについて、どのようなことが大切だと思いますか。

・男女とも「相手の話を良く聞く（男性 59.9%、女性 72.0%）」「お互いが楽しめる話題を探す（男性 52.1%、女性 56.5%）」の順になっており、次いで男性が「会話が面白くなるようにする（30.6%）」、女性が「相手の話したいことを話しやすくする（26.5%）」となっています。



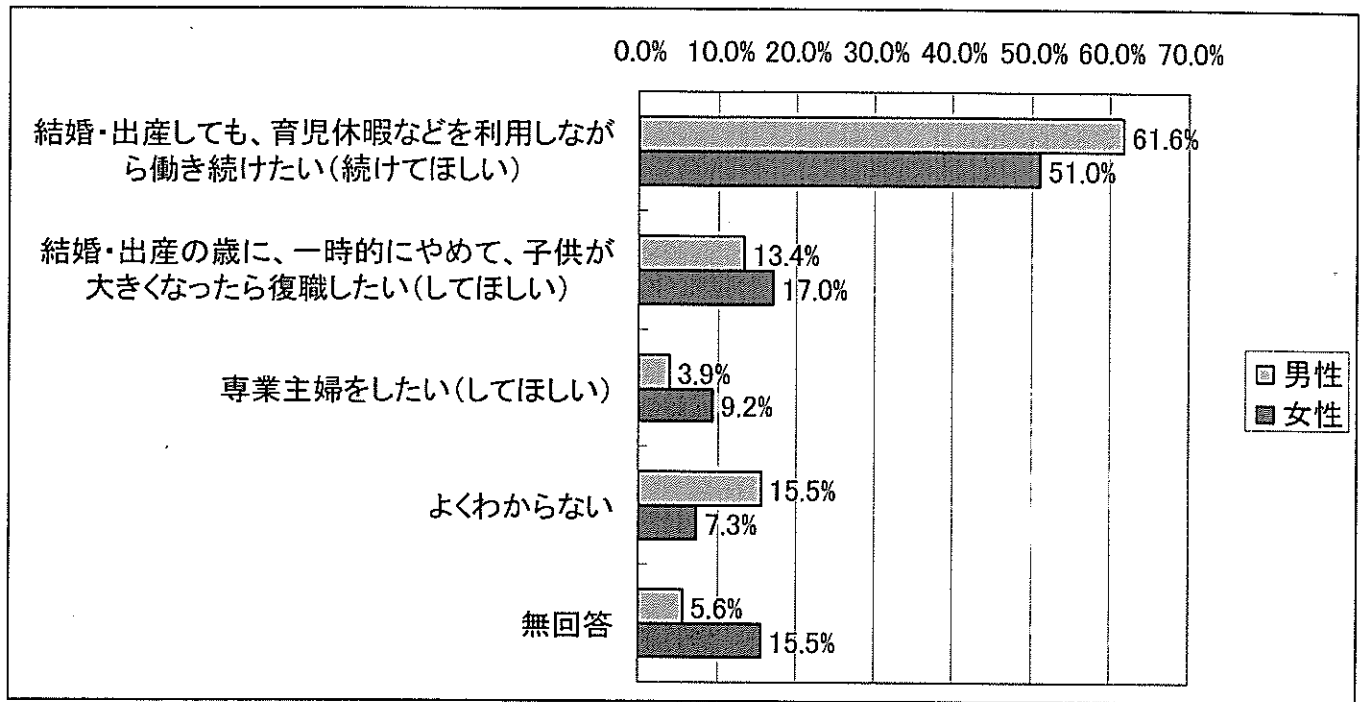
【コミュニケーションで大切なこと 性別・年代別クロス】

年齢層	色々な話題を提供する	相手の知らない話題を提供する	会話がおもしろくなるようにする	相手の話を良く聞く	相手の話したいことを話しやすくする
男性・20～24歳	30.9%	6.4%	42.6%	57.4%	16.0%
男性・25～29歳	23.3%	8.3%	25.0%	65.0%	21.7%
男性・30～34歳	9.5%	7.1%	26.2%	66.7%	21.4%
男性・35～39歳	19.0%	9.5%	21.4%	54.8%	21.4%
男性・40～44歳	38.9%	5.6%	33.3%	61.1%	22.2%
男性・45～49歳	21.4%	10.7%	21.4%	53.6%	17.9%
女性・20～24歳	19.5%	1.1%	21.8%	77.0%	26.4%
女性・25～29歳	18.0%	0.0%	10.0%	64.0%	26.0%
女性・30～34歳	20.7%	3.4%	10.3%	65.5%	13.8%
女性・35～39歳	21.1%	5.3%	5.3%	73.7%	47.4%
女性・40～44歳	33.3%	0.0%	0.0%	88.9%	33.3%
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%
男性	23.9%	7.7%	30.6%	59.9%	19.4%
女性	19.5%	1.5%	14.0%	72.0%	26.5%
全体	22.1%	5.2%	23.8%	64.9%	22.3%

年齢層	お互いが楽しめる話題を探す	会話が途切れなないようにする	恥ずかしがらずに話す	その他	特に気をつけていない	回答数
男性・20～24歳	52.1%	12.8%	19.1%	1.1%	3.2%	227
男性・25～29歳	53.3%	16.7%	13.3%	3.3%	8.3%	143
男性・30～34歳	50.0%	21.4%	9.5%	0.0%	7.1%	92
男性・35～39歳	57.1%	7.1%	14.3%	2.4%	4.8%	89
男性・40～44歳	38.9%	22.2%	16.7%	0.0%	11.1%	45
男性・45～49歳	53.6%	21.4%	32.1%	0.0%	7.1%	67
女性・20～24歳	63.2%	11.5%	16.1%	0.0%	5.7%	211
女性・25～29歳	58.0%	24.0%	16.0%	0.0%	2.0%	109
女性・30～34歳	48.3%	6.9%	13.8%	0.0%	3.4%	54
女性・35～39歳	36.8%	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	40
女性・40～44歳	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	20
女性・45～49歳	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	9
男性	52.1%	15.5%	16.9%	1.4%	6.0%	663
女性	56.5%	12.5%	14.5%	0.0%	4.5%	443
全体	53.9%	14.3%	15.9%	0.8%	5.4%	1106

問7 あなたが結婚した場合、女性（妻）の就業について、どのように考えますか。（回答数=484）

- ・男女ともに「結婚・出産しても、育児休暇などを利用しながら働きたい（続けてほしい）（男性 61.6%、女性 51.0%）」の割合が5割を超えており、女性の就業について、結婚や出産をしても育児をしながら働き続けることを望む傾向が強くなるようです。
- ・女性の30代後半・40代前半で「専業主婦をしたい（してほしい）」を望む割合が高くなっています。

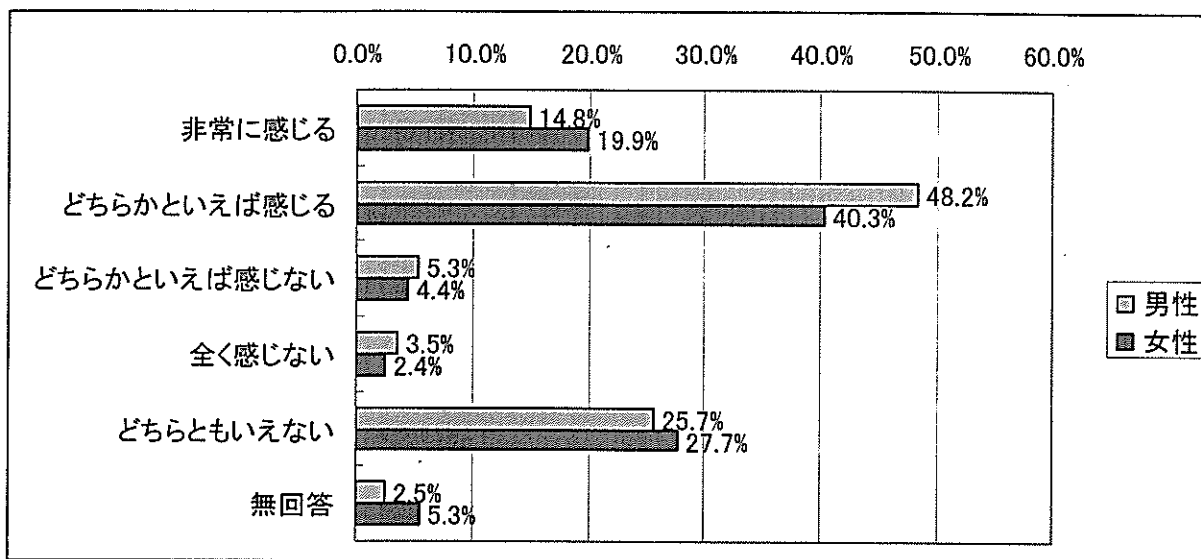


年齢層	結婚・出産しても、育児休暇などを利用しながら働きたい（続けてほしい）	結婚・出産の歳に、一時的にやめて、子供が大きくなったら復職したい（してほしい）	専業主婦をしたい（してほしい）	よくわからない	無回答	回答数
男性・20～24歳	56.4%	18.1%	6.4%	13.8%	5.3%	94
男性・25～29歳	56.7%	15.0%	1.7%	25.0%	1.7%	60
男性・30～34歳	81.0%	7.1%	0.0%	4.8%	7.1%	42
男性・35～39歳	59.5%	11.9%	2.4%	11.9%	14.3%	42
男性・40～44歳	44.4%	5.6%	16.7%	27.8%	5.6%	18
男性・45～49歳	75.0%	10.7%	0.0%	14.3%	0.0%	28
女性・20～24歳	56.3%	17.2%	9.2%	10.3%	6.9%	50
女性・25～29歳	50.0%	20.0%	4.0%	0.0%	26.0%	29
女性・30～34歳	37.9%	17.2%	6.9%	6.9%	31.0%	19
女性・35～39歳	47.4%	10.5%	26.3%	15.8%	0.0%	9
女性・40～44歳	66.7%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	6
女性・45～49歳	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	284
男性	61.6%	13.4%	3.9%	15.5%	5.6%	87
女性	51.0%	17.0%	9.2%	7.3%	15.5%	200
全体	57.6%	14.7%	6.2%	12.2%	9.3%	484

結婚についての考え方・イメージ

問8 あなたは、「結婚」に、喜びや希望を感じますか。(回答数=484)

- ・「どちらかといえば感じる(男性48.2%、女性40.3%)」と最も高く、次いで「非常に感じる(男性14.8%、女性19.9%)」となっています。
- ・女性のほうが「非常に感じる」の割合が高く、男性より結婚に対してやや強く喜びや希望を感じている傾向にあります。
- ・結婚願望別では、男女とも結婚願望が低くなるに連れて、結婚に喜びや希望を感じなくなる傾向にあります。



【結婚の喜び・希望 性別・年齢別クロス】

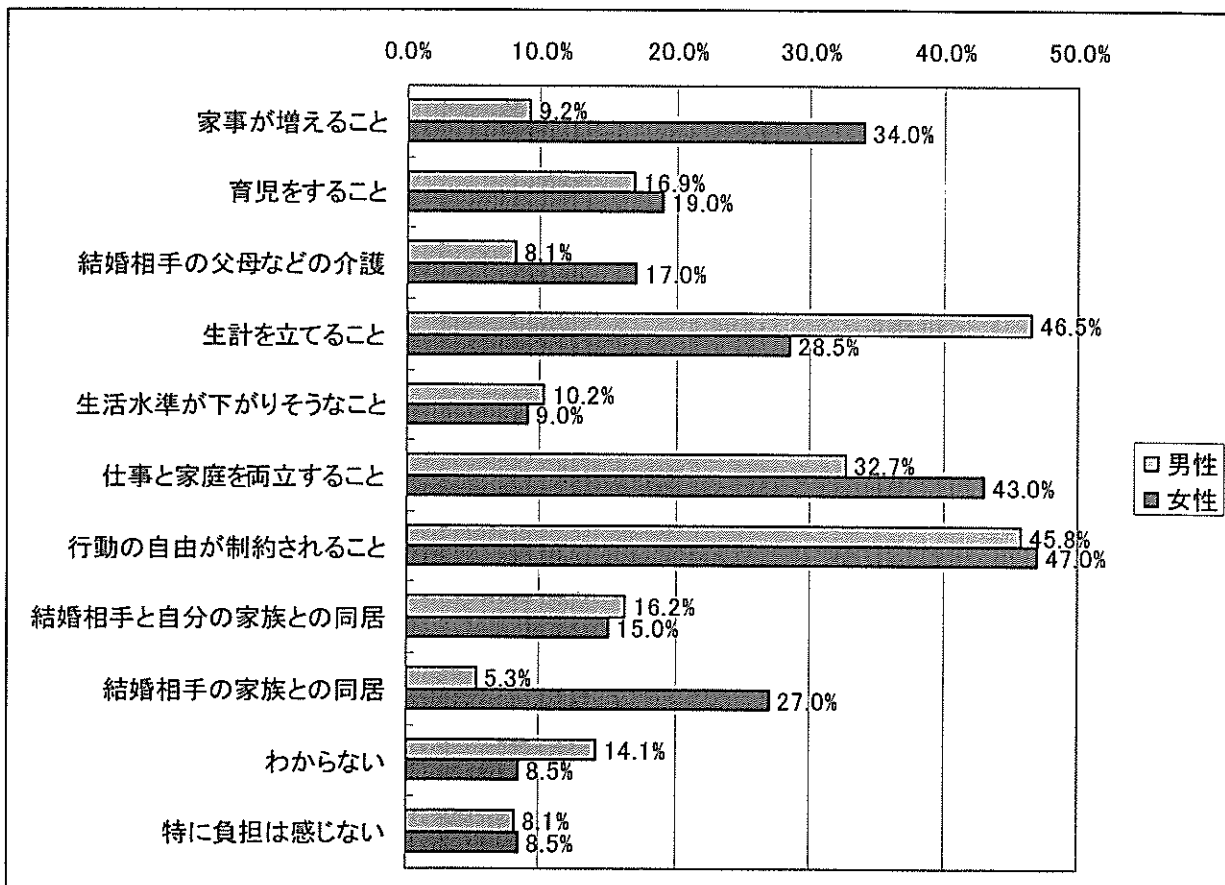
年齢層	非常に感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかといえ ば感じない	全く感じない	どちらとも いえない	無回答
男性・20～24歳	17.0%	45.7%	7.4%	4.3%	22.3%	3.2%
男性・25～29歳	15.0%	45.0%	0.0%	5.0%	35.0%	0.0%
男性・30～34歳	4.8%	54.8%	7.1%	4.8%	23.8%	4.8%
男性・35～39歳	14.3%	61.9%	4.8%	2.4%	14.3%	2.4%
男性・40～44歳	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	38.9%	5.6%
男性・45～49歳	25.0%	35.7%	10.7%	0.0%	28.6%	0.0%
女性・20～24歳	24.1%	46.0%	4.6%	1.1%	21.8%	2.3%
女性・25～29歳	26.0%	32.0%	4.0%	4.0%	24.0%	10.0%
女性・30～34歳	10.3%	34.5%	6.9%	6.9%	27.6%	13.8%
女性・35～39歳	5.3%	36.8%	5.3%	0.0%	52.6%	0.0%
女性・40～44歳	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	0.0%
女性・45～49歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
男性	14.8%	48.2%	5.3%	3.5%	25.7%	2.5%
女性	19.9%	40.3%	4.4%	2.4%	27.7%	5.3%
全体	17.1%	44.4%	5.0%	3.1%	26.7%	3.7%

【結婚の喜び・希望 結婚願望別クロス】

	Q1-9-1	非常に感じる	どちらか といえば 感じる	どちらか といえば 感じない	全く感じ ない	どちらと もいえな い	無回答
男性	必ず結婚したい	40.3%	43.5%	0.0%	3.2%	8.1%	4.8%
	いい人が現れたら結婚したい	7.8%	57.8%	5.2%	0.9%	27.6%	0.9%
	いつかは結婚したい	9.1%	51.5%	3.0%	1.5%	33.3%	1.5%
	特に結婚したいと思わない	0.0%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	0.0%
	結婚したくない	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
女性	必ず結婚したい	48.2%	44.6%	3.6%	0.0%	3.6%	0.0%
	いい人が現れたら結婚したい	7.6%	50.0%	0.0%	1.5%	37.9%	3.0%
	いつかは結婚したい	14.6%	45.8%	8.3%	0.0%	25.0%	6.3%
	特に結婚したいと思わない	0.0%	7.1%	14.3%	14.3%	64.3%	0.0%
	結婚したくない	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%

問9 あなたは、「結婚」にどのような負担を感じますか。

- ・男性は、「生計を立てること（46.5%）」「行動の自由が制約されること（45.8%）」「仕事と家庭を両立すること（32.7%）」の順になっています。
- ・女性は、「行動の自由が制約されること（47.0%）」「仕事と家庭を両立すること（43.0%）」「家事が増えること（34.0%）」の順になっています。
- ・男女の比較では、男性は「生計を立てること」の割合が高く、経済的に家族を支えることに負担を感じている傾向にあります。女性で「家事が増えること」「結婚相手の父母などの介護」「仕事と家庭の両立」「結婚相手の家族との同居」の割合が高く、全般的に家庭内のことに負担を感じている傾向にあります。
- ・結婚願望別では、男性で結婚願望が低いと、「育児をすること」「生活水準が下がりそうなこと」に負担をやや強く感じる傾向にあります。また、「必ず結婚したい」と回答した人でも「生計を立てること」の割合が、58.1%と高くなっています。



【結婚の負担 性別・年代別クロス】

年齢層	家事が増えること	育児をすること	結婚相手の 父母などの 介護	生計を立てること	生活水準が 下がりそうな こと	仕事と家庭を 両立すること
男性・20～24歳	10.6%	20.2%	9.6%	54.3%	12.8%	41.5%
男性・25～29歳	6.7%	20.0%	6.7%	45.0%	10.0%	30.0%
男性・30～34歳	11.9%	14.3%	4.8%	59.5%	11.9%	28.6%
男性・35～39歳	7.1%	14.3%	11.9%	38.1%	11.9%	33.3%
男性・40～44歳	11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	27.8%
男性・45～49歳	7.1%	10.7%	3.6%	17.9%	3.6%	17.9%
女性・20～24歳	39.1%	20.7%	14.9%	36.8%	10.3%	43.7%
女性・25～29歳	24.0%	12.0%	14.0%	20.0%	10.0%	44.0%
女性・30～34歳	34.5%	20.7%	24.1%	31.0%	10.3%	41.4%
女性・35～39歳	31.6%	21.1%	10.5%	21.1%	0.0%	31.6%
女性・40～44歳	33.3%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	44.4%
女性・45～49歳	50.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	66.7%
男性	9.2%	16.9%	8.1%	46.5%	10.2%	32.7%
女性	34.0%	19.0%	17.0%	28.5%	9.0%	43.0%
全体	19.4%	17.8%	11.8%	39.0%	9.7%	37.0%

年齢層	行動の自由 が制約される こと	結婚相手と 自分の家族 との同居	結婚相手の 家族との同 居	わからない	特に負担は 感じない	回答数
男性・20～24歳	50.0%	16.0%	7.4%	17.0%	5.3%	230
男性・25～29歳	38.3%	15.0%	5.0%	16.7%	8.3%	121
男性・30～34歳	54.8%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%	90
男性・35～39歳	42.9%	19.0%	4.8%	9.5%	11.9%	86
男性・40～44歳	44.4%	11.1%	0.0%	16.7%	5.6%	33
男性・45～49歳	39.3%	21.4%	3.6%	17.9%	17.9%	45
女性・20～24歳	50.6%	13.8%	26.4%	10.3%	6.9%	238
女性・25～29歳	40.0%	14.0%	28.0%	6.0%	10.0%	111
女性・30～34歳	51.7%	17.2%	27.6%	0.0%	10.3%	78
女性・35～39歳	42.1%	10.5%	26.3%	21.1%	10.5%	43
女性・40～44歳	55.6%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%	26
女性・45～49歳	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	17
男性	45.8%	16.2%	5.3%	14.1%	8.1%	605
女性	47.0%	15.0%	27.0%	8.5%	8.5%	513
全体	46.3%	15.7%	14.3%	11.8%	8.3%	1118

【結婚の負担 性別・結婚願望別クロス】

	Q1-9-1	家事が増えること	育児をすること	結婚相手の父母などの介護	生計を立てること	生活水準が下がりそうなこと	仕事と家庭を両立すること
男性	必ず結婚したい	11.3%	19.4%	4.8%	58.1%	11.3%	40.3%
	いい人が現れたら結婚したい	6.9%	10.3%	9.5%	44.0%	4.3%	34.5%
	いつかは結婚したい	7.6%	16.7%	6.1%	40.9%	9.1%	25.8%
	特に結婚したいと思わない	10.7%	28.6%	14.3%	39.3%	25.0%	25.0%
	結婚したくない	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
女性	必ず結婚したい	33.9%	14.3%	17.9%	33.9%	5.4%	55.4%
	いい人が現れたら結婚したい	40.9%	25.8%	18.2%	19.7%	6.1%	40.9%
	いつかは結婚したい	25.0%	16.7%	12.5%	31.3%	16.7%	39.6%
	特に結婚したいと思わない	57.1%	35.7%	28.6%	35.7%	21.4%	42.9%
	結婚したくない	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%

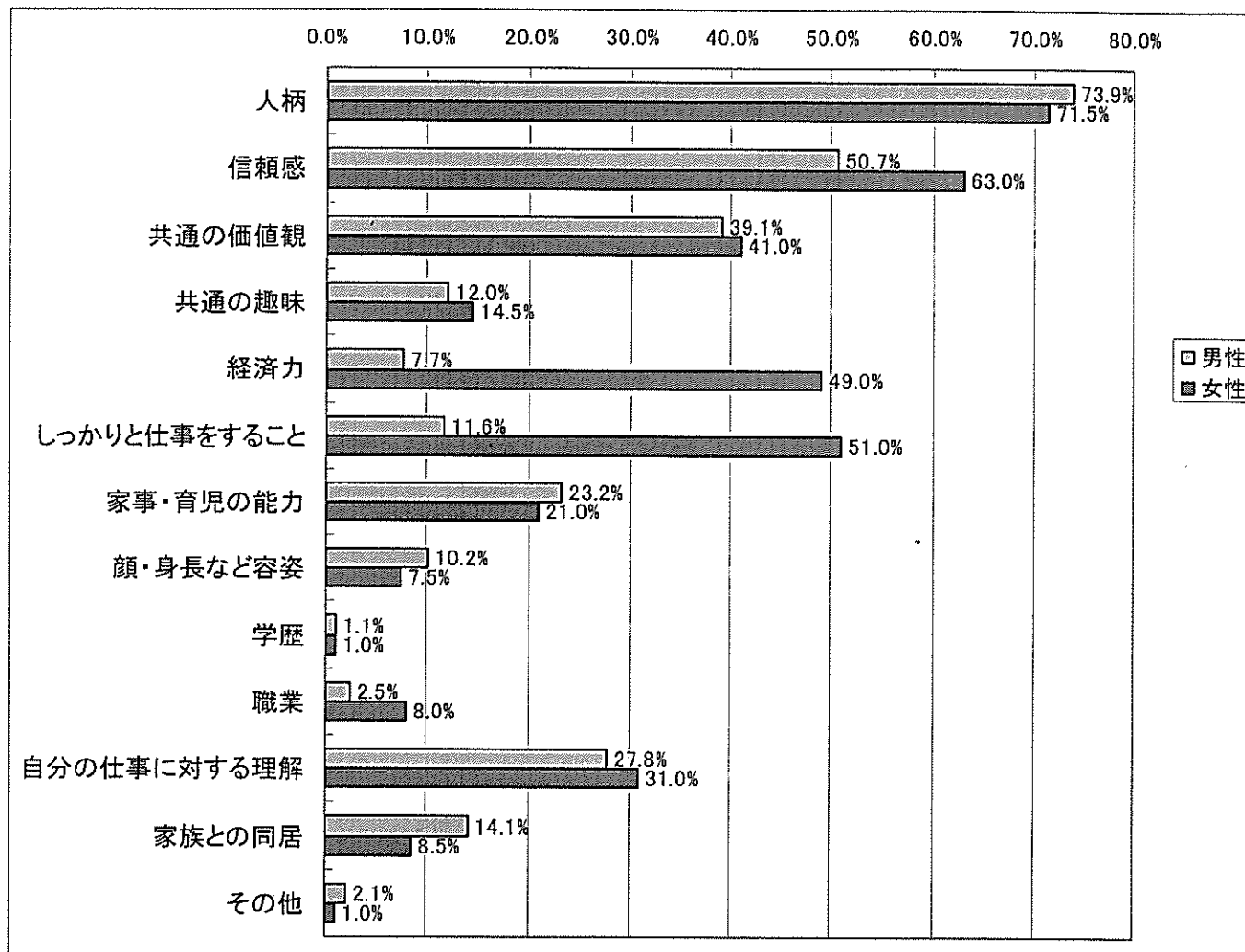
	Q1-9-1	行動の自由が制約されること	結婚相手と自分の家族との同居	結婚相手の家族との同居	わからない	特に負担は感じない	回答数
男性	必ず結婚したい	46.8%	24.2%	3.2%	9.7%	11.3%	149
	いい人が現れたら結婚したい	47.4%	13.8%	3.4%	13.8%	7.8%	227
	いつかは結婚したい	36.4%	13.6%	6.1%	16.7%	10.6%	125
	特に結婚したいと思わない	53.6%	17.9%	10.7%	25.0%	0.0%	70
	結婚したくない	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	8
女性	必ず結婚したい	37.5%	19.6%	30.4%	5.4%	10.7%	148
	いい人が現れたら結婚したい	51.5%	16.7%	31.8%	6.1%	6.1%	174
	いつかは結婚したい	58.3%	6.3%	20.8%	12.5%	4.2%	117
	特に結婚したいと思わない	50.0%	28.6%	21.4%	14.3%	14.3%	49
	結婚したくない	25.0%	25.0%	25.0%	75.0%	25.0%	11

問10 あなたは、どのようなことを結婚する(した)相手に求めますか(ましたか)。

- ・男女とも「人柄(男性 73.9%、女性 71.5%)」「信頼感(男性 50.7%、女性 63.0%)」の順で高くなっており、次いで男性は、「共通の価値観(39.1%)」「自分の仕事に対する理解(27.8%)」の順で、女性は、「しっかりと仕事をする事(51.0%)」「経済力(49.0%)」の順となっています。

男女とも、容姿、見た目といった外見的な面よりも、人柄や誠実さといった内面的な面を結婚相手に期待する傾向にあります。さらに女性については、男性に対して経済的な面をかなり期待する傾向にあります。

- ・20代30代女性については、「仕事に対する理解」の割合が男性と同じくらい、もしくはそれ以上高く、「女性は家庭のことを優先する」という従来の考え方から、「女性も仕事と家庭を両立」という意識が高く、男性に対して期待する傾向にあります。

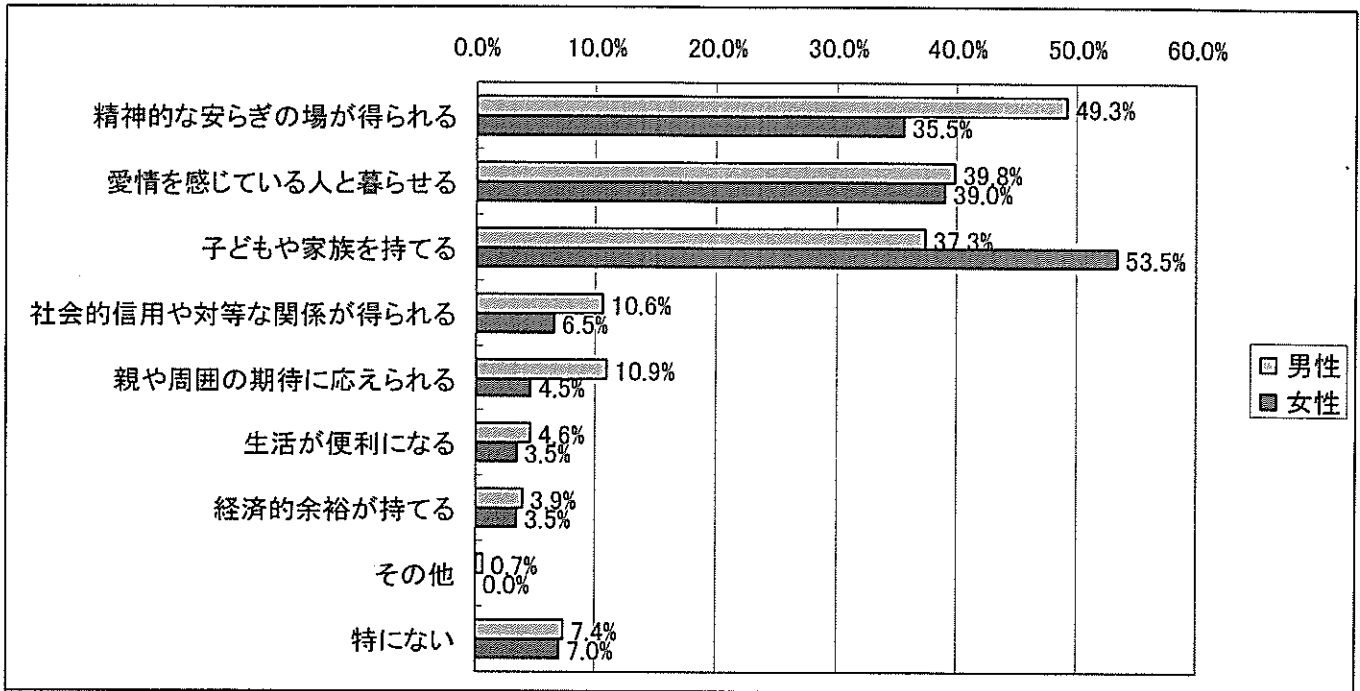


年齢層	人柄	信頼感	共通の価値観	共通の趣味	経済力	しっかりと仕事をする こと	家事・育児 の能力
男性・20～24歳	79.8%	61.7%	34.0%	20.2%	7.4%	16.0%	30.9%
男性・25～29歳	71.7%	50.0%	36.7%	8.3%	10.0%	10.0%	21.7%
男性・30～34歳	66.7%	45.2%	54.8%	11.9%	9.5%	14.3%	16.7%
男性・35～39歳	76.2%	52.4%	45.2%	4.8%	4.8%	4.8%	26.2%
男性・40～44歳	77.8%	27.8%	38.9%	0.0%	0.0%	5.6%	11.1%
男性・45～49歳	64.3%	35.7%	28.6%	10.7%	10.7%	10.7%	14.3%
女性・20～24歳	81.6%	67.8%	44.8%	20.7%	60.9%	51.7%	20.7%
女性・25～29歳	62.0%	52.0%	40.0%	10.0%	38.0%	50.0%	24.0%
女性・30～34歳	55.2%	62.1%	34.5%	6.9%	44.8%	41.4%	20.7%
女性・35～39歳	63.2%	57.9%	42.1%	10.5%	36.8%	57.9%	15.8%
女性・40～44歳	88.9%	88.9%	44.4%	11.1%	33.3%	55.6%	33.3%
女性・45～49歳	83.3%	66.7%	16.7%	16.7%	50.0%	66.7%	0.0%
男性	73.9%	50.7%	39.1%	12.0%	7.7%	11.6%	23.2%
女性	71.5%	63.0%	41.0%	14.5%	49.0%	51.0%	21.0%
全体	72.9%	55.8%	39.9%	13.0%	24.8%	27.9%	22.3%

年齢層	顔・身長な ど容姿	学歴	職業	自分の仕事に対する 理解	家族との同居	その他	回答数
男性・20～24歳	14.9%	2.1%	3.2%	30.9%	16.0%	0.0%	298
男性・25～29歳	11.7%	0.0%	0.0%	21.7%	13.3%	3.3%	155
男性・30～34歳	2.4%	0.0%	2.4%	28.6%	14.3%	2.4%	113
男性・35～39歳	11.9%	0.0%	0.0%	28.6%	11.9%	0.0%	112
男性・40～44歳	5.6%	5.6%	11.1%	22.2%	5.6%	5.6%	39
男性・45～49歳	3.6%	0.0%	3.6%	32.1%	17.9%	7.1%	67
女性・20～24歳	14.9%	2.3%	16.1%	32.2%	12.6%	1.1%	372
女性・25～29歳	4.0%	0.0%	4.0%	32.0%	0.0%	0.0%	158
女性・30～34歳	0.0%	0.0%	0.0%	34.5%	6.9%	0.0%	89
女性・35～39歳	0.0%	0.0%	0.0%	31.6%	5.3%	5.3%	62
女性・40～44歳	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	34
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	21
男性	10.2%	1.1%	2.5%	27.8%	14.1%	2.1%	784
女性	7.5%	1.0%	8.0%	31.0%	8.5%	1.0%	736
全体	9.1%	1.0%	4.8%	29.1%	11.8%	1.7%	1520

問11 結婚すると、どのようなことが良いと思いますか。

- ・男性は、「精神的な安らぎの場が得られる (49.3%)」「愛情を感じている人と暮らせる (39.8%)」「子供や家族を持てる (37.3%)」の順となっています。
- ・女性は、「子供や家族を持てる (53.5%)」「愛情を感じている人と暮らせる (39.0%)」「精神的な安らぎの場が得られる (35.5%)」の順となっています。
- ・結婚の良さについて、男性は「精神的な安らぎ」をもっと良いと感じるのに対し、女性は「子供や家族を持てること」をもっと良いと感じる傾向にあります。
- ・30代40代で「親や周囲の期待に応えられる」の割合が高くなっています。
- ・結婚願望別では、結婚願望が低い人で、「特にない」の割合が最も高くなっています。



【結婚の良さ 性別・年齢別クロス】

年齢層	精神的な安らぎ の場が得られる	愛情を感じてい る人と暮らせる	子どもや家族を 持てる	社会的信用や 対等な関係が 得られる	親や周囲の期 待に応えられる
男性・20～24 歳	51.1%	44.7%	42.6%	11.7%	3.2%
男性・25～29 歳	43.3%	40.0%	38.3%	6.7%	10.0%
男性・30～34 歳	42.9%	42.9%	33.3%	11.9%	16.7%
男性・35～39 歳	59.5%	40.5%	38.1%	14.3%	19.0%
男性・40～44 歳	55.6%	33.3%	22.2%	5.6%	27.8%
男性・45～49 歳	46.4%	21.4%	32.1%	10.7%	7.1%
女性・20～24 歳	28.7%	47.1%	59.8%	8.0%	3.4%
女性・25～29 歳	42.0%	42.0%	50.0%	2.0%	0.0%
女性・30～34 歳	37.9%	17.2%	48.3%	0.0%	3.4%
女性・35～39 歳	47.4%	10.5%	52.6%	10.5%	15.8%
女性・40～44 歳	44.4%	55.6%	44.4%	11.1%	11.1%
女性・45～49 歳	16.7%	66.7%	33.3%	33.3%	16.7%
男性	49.3%	39.8%	37.3%	10.6%	10.9%
女性	35.5%	39.0%	53.5%	6.5%	4.5%
全体	43.6%	39.5%	44.0%	8.9%	8.3%

年齢層	生活が便利に なる	経済的余裕が 持てる	その他	特にない	回答者
男性・20～24 歳	3.2%	3.2%	1.1%	5.3%	156
男性・25～29 歳	5.0%	5.0%	0.0%	11.7%	96
男性・30～34 歳	4.8%	2.4%	0.0%	7.1%	68
男性・35～39 歳	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	74
男性・40～44 歳	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	29
男性・45～49 歳	10.7%	14.3%	3.6%	10.7%	44
女性・20～24 歳	3.4%	2.3%	0.0%	8.0%	140
女性・25～29 歳	4.0%	4.0%	0.0%	4.0%	74
女性・30～34 歳	3.4%	3.4%	0.0%	13.8%	37
女性・35～39 歳	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	29
女性・40～44 歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15
女性・45～49 歳	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	11
男性	4.6%	3.9%	0.7%	7.4%	467
女性	3.5%	3.5%	0.0%	7.0%	306
全体	4.1%	3.7%	0.4%	7.2%	773

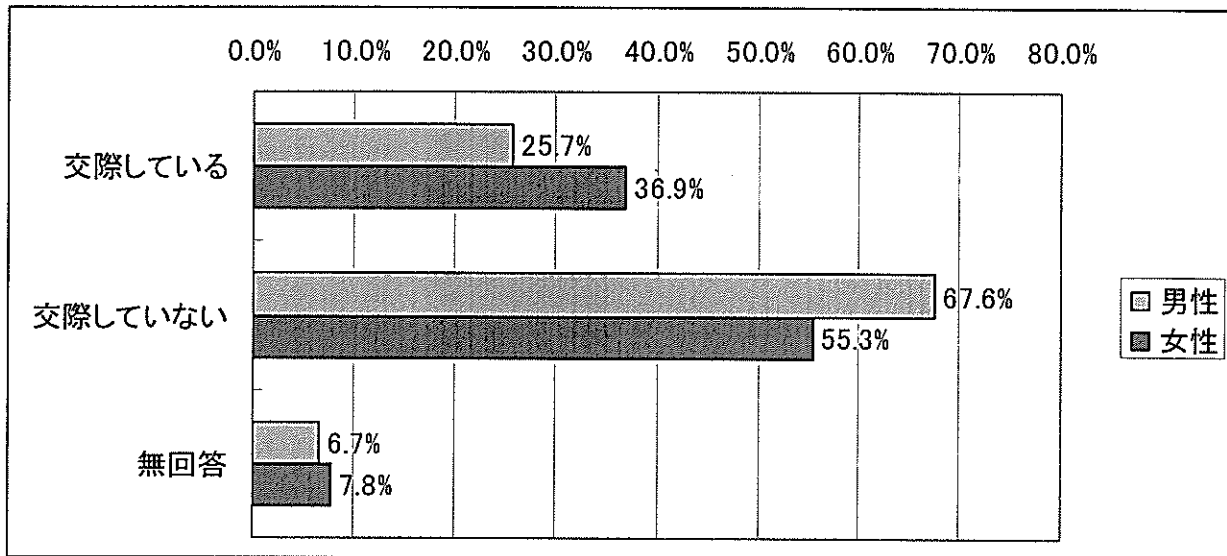
【結婚の良さ 結婚願望別クロス】

		精神的な安らぎ の場が得られる	愛情を感じてい る人と暮らせる	子どもや家 族を持てる	社会的信用や対等 な関係が得られる	親や周囲の期 待に応えられ る
男性	必ず結婚したい	62.9%	43.5%	46.8%	11.3%	9.7%
	いい人が現れた ら結婚したい	48.3%	44.0%	30.2%	9.5%	11.2%
	いつかは結婚し たい	43.9%	34.8%	47.0%	12.1%	10.6%
	特に結婚したい と思わない	25.0%	25.0%	25.0%	10.7%	17.9%
	結婚したくない	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
女性	必ず結婚したい	44.6%	50.0%	67.9%	3.6%	3.6%
	いい人が現れた ら結婚したい	42.4%	39.4%	54.5%	9.1%	7.6%
	いつかは結婚し たい	35.4%	37.5%	54.2%	6.3%	0.0%
	特に結婚したい と思わない	0.0%	21.4%	28.6%	14.3%	14.3%
	結婚したくない	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%

		生活が便利にな る	経済的余裕が持 てる	その他	特にない	回答数
男性	必ず結婚したい	6.5%	1.6%	1.6%	0.0%	114
	いい人が現れた ら結婚したい	2.6%	5.2%	0.9%	6.0%	183
	いつかは結婚し たい	4.5%	1.5%	0.0%	3.0%	104
	特に結婚したい と思わない	7.1%	3.6%	0.0%	35.7%	42
	結婚したくない	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	4
女性	必ず結婚したい	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	99
	いい人が現れた ら結婚したい	1.5%	3.0%	0.0%	3.0%	106
	いつかは結婚し たい	2.1%	2.1%	0.0%	10.4%	71
	特に結婚したい と思わない	7.1%	14.3%	0.0%	35.7%	19
	結婚したくない	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	4

問14 あなたは、現在特定の異性と交際していますか。

- ・「彼氏・彼女がいる」割合は、男性が25.7%、女性が36.9%となっており、「彼氏・彼女がいない」割合は、男性が67.6%、女性が55.3%となっています。男性で異性と交際していない割合が高くなっています。
- ・特に20代後半から40代後半の男性で、交際している割合が低い状況となっています。
- ・女性は、30代で、交際している割合が低くなっています。
- ・結婚願望別では、結婚願望があると回答した人のうち、男女とも「いい人が現れた結婚したい」で、交際している割合が低くなっています。



【現在特定の異性と交際しているか】
(性別・年代別クロス)

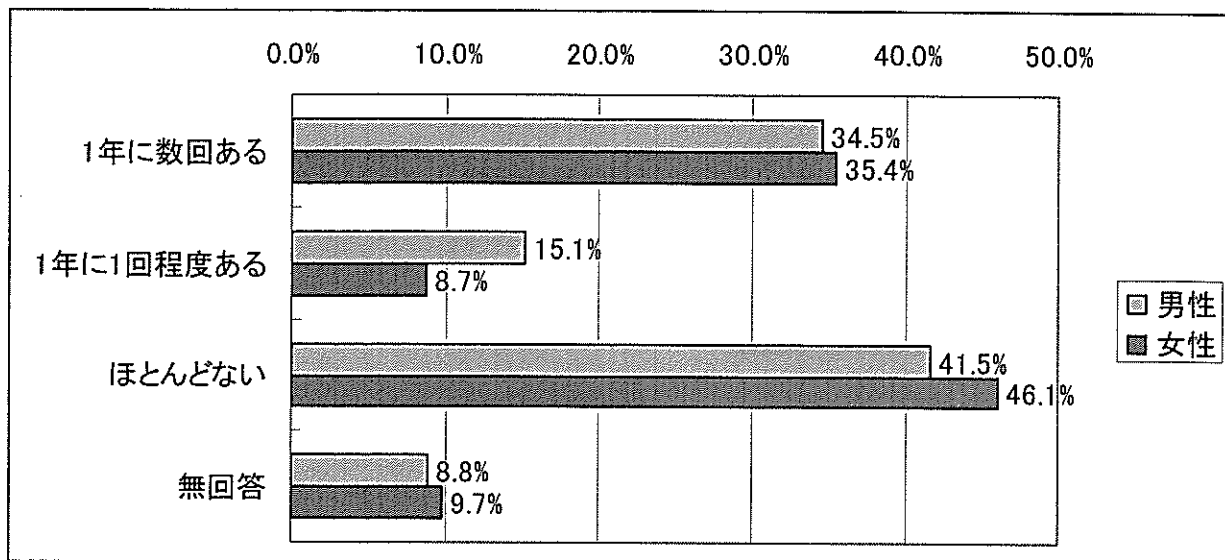
		【現在特定の異性と交際しているか】		
		交際している	交際していない	無回答
男性	必ず結婚したい	41.9%	56.5%	1.6%
	いい人が現れたら結婚したい	14.7%	80.2%	5.2%
	いつかは結婚したい	43.9%	54.5%	1.5%
	特に結婚したいと思わない	7.1%	89.3%	3.6%
	結婚したくない	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答			
女性	必ず結婚したい	60.7%	35.7%	3.6%
	いい人が現れたら結婚したい	24.2%	69.7%	6.1%
	いつかは結婚したい	41.7%	52.1%	6.3%
	特に結婚したいと思わない	14.3%	85.7%	0.0%
	結婚したくない	0.0%	100.0%	0.0%
	無回答			

【現在特定の異性と交際しているか】
(結婚願望別クロス)

年齢層	【現在特定の異性と交際しているか】		
	交際している	交際していない	無回答
男性・20～24歳	45.7%	52.1%	2.1%
男性・25～29歳	18.3%	76.7%	5.0%
男性・30～34歳	23.8%	69.0%	7.1%
男性・35～39歳	19.0%	73.8%	7.1%
男性・40～44歳	5.6%	77.8%	16.7%
男性・45～49歳	0.0%	82.1%	17.9%
女性・20～24歳	41.4%	51.7%	6.9%
女性・25～29歳	48.0%	46.0%	6.0%
女性・30～34歳	20.7%	72.4%	6.9%
女性・35～39歳	10.5%	73.7%	15.8%
女性・40～44歳	33.3%	55.6%	11.1%
女性・45～49歳	33.3%	50.0%	16.7%
男性	25.7%	67.6%	6.7%
女性	36.9%	55.3%	7.8%
全体	30.2%	62.6%	7.2%

問15 同じ年代の異性と、新たに出会う機会がありますか。職場や学校の出会いも含めてください。

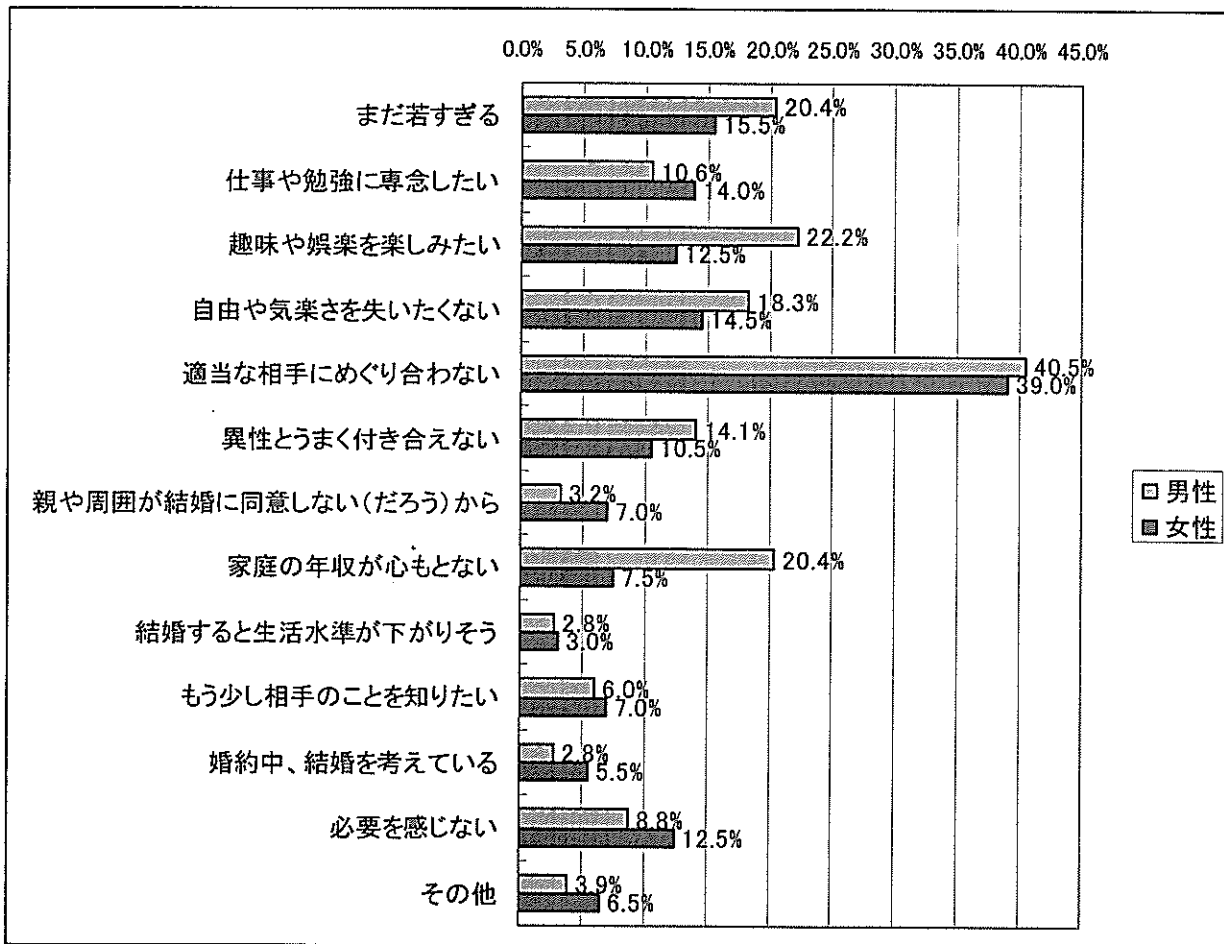
- ・男女とも「ほとんどない」の割合が高く、4割を超えています。
- ・全体で「1年に数回ある」は35.1%、「1年に1回程度ある」「ほとんどない」の合計は、55.4%となっており、出会いの場が非常に少ない状況が伺えます。



年齢層	1年に数回ある	1年に1回程度ある	ほとんどない	無回答	回答数
男性・20～24歳	46.8%	14.9%	33.0%	5.3%	94
男性・25～29歳	36.7%	18.3%	40.0%	5.0%	60
男性・30～34歳	21.4%	9.5%	57.1%	11.9%	42
男性・35～39歳	38.1%	16.7%	38.1%	7.1%	42
男性・40～44歳	5.6%	22.2%	50.0%	22.2%	18
男性・45～49歳	21.4%	10.7%	50.0%	17.9%	28
女性・20～24歳	41.4%	11.5%	41.4%	5.7%	87
女性・25～29歳	30.0%	6.0%	54.0%	10.0%	50
女性・30～34歳	44.8%	10.3%	34.5%	10.3%	29
女性・35～39歳	26.3%	5.3%	52.6%	15.8%	19
女性・40～44歳	22.2%	0.0%	66.7%	11.1%	9
女性・45～49歳	16.7%	0.0%	50.0%	33.3%	6
男性	34.5%	15.1%	41.5%	8.8%	284
女性	35.4%	8.7%	46.1%	9.7%	200
全体	35.1%	12.4%	43.4%	9.1%	484

問16 あなたは、どのような理由で結婚していませんか。

- ・男女とも「適当な相手にめぐり合わない（男性 40.5%、女性 39.0%）」の割合が最も高く、次いで男性は、「趣味や娯楽を楽しみたい（22.2%）」「まだ若すぎる（20.4%）」「家庭の年収が心もとない（20.4%）」の順になっており、女性は、「まだ若すぎる（15.5%）」「自由や気楽さを失いたくない（14.5%）」の順になっています。
- ・男性は、20代で「趣味や娯楽を楽しみたい」の割合が高く、30代で「家庭の年収が心もとない」の割合が高くなっています。
- ・30代後半から40代後半の女性で、「必要を感じない」の割合が高くなっています。
- ・男女とも、全般的に年齢が上がるに連れて、「適当な相手にめぐり合わない」「異性とうまく付き合えない（40代女性を除く）」の割合が高くなる傾向にあります。

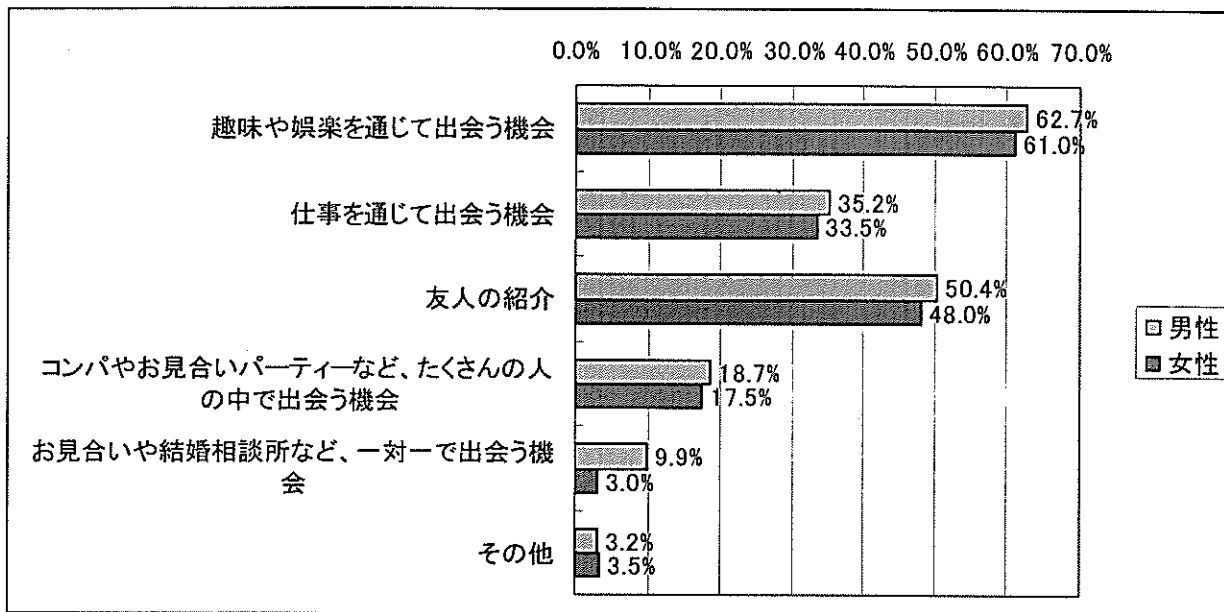


年齢層	まだ若すぎる	仕事や勉強に専念したい	趣味や娯楽を楽しみたい	自由や気楽さを失いたくない	適当な相手にめぐり合わない	異性とうまく付き合えない	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
男性・20～24歳	52.1%	17.0%	37.2%	19.1%	21.3%	7.4%	5.3%
男性・25～29歳	13.3%	8.3%	26.7%	25.0%	45.0%	13.3%	5.0%
男性・30～34歳	0.0%	11.9%	11.9%	19.0%	47.6%	19.0%	0.0%
男性・35～39歳	2.4%	4.8%	11.9%	14.3%	61.9%	21.4%	2.4%
男性・40～44歳	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%	38.9%	16.7%	0.0%
男性・45～49歳	0.0%	3.6%	7.1%	7.1%	53.6%	17.9%	0.0%
女性・20～24歳	32.2%	24.1%	17.2%	12.6%	26.4%	5.7%	8.0%
女性・25～29歳	2.0%	6.0%	14.0%	16.0%	42.0%	10.0%	6.0%
女性・30～34歳	3.4%	10.3%	10.3%	24.1%	62.1%	24.1%	6.9%
女性・35～39歳	5.3%	5.3%	0.0%	10.5%	42.1%	21.1%	5.3%
女性・40～44歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	11.1%
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	20.4%	10.6%	22.2%	18.3%	40.5%	14.1%	3.2%
女性	15.5%	14.0%	12.5%	14.5%	39.0%	10.5%	7.0%
全体	18.4%	12.0%	18.2%	16.7%	39.9%	12.6%	4.8%

年齢層	家庭の年収が心もとない	結婚すると生活水準が下がりそう	もう少し相手のことを知りたい	婚約中、結婚を考えている	必要を感じない	その他	回答数
男性・20～24歳	16.0%	1.1%	10.6%	2.1%	8.5%	2.1%	188
男性・25～29歳	18.3%	3.3%	8.3%	5.0%	11.7%	3.3%	112
男性・30～34歳	33.3%	2.4%	0.0%	4.8%	9.5%	7.1%	70
男性・35～39歳	23.8%	9.5%	2.4%	2.4%	7.1%	0.0%	69
男性・40～44歳	22.2%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	11.1%	23
男性・45～49歳	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	7.1%	32
女性・20～24歳	11.5%	3.4%	5.7%	5.7%	13.8%	4.6%	149
女性・25～29歳	8.0%	4.0%	16.0%	8.0%	6.0%	8.0%	73
女性・30～34歳	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	10.3%	3.4%	49
女性・35～39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	5.3%	21
女性・40～44歳	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	10
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	8
男性	20.4%	2.8%	6.0%	2.8%	8.8%	3.9%	494
女性	7.5%	3.0%	7.0%	5.5%	12.5%	6.5%	310
全体	15.1%	2.9%	6.4%	3.9%	10.3%	5.0%	804

問17 異性と、どのように出会う機会があると良いと思いますか。

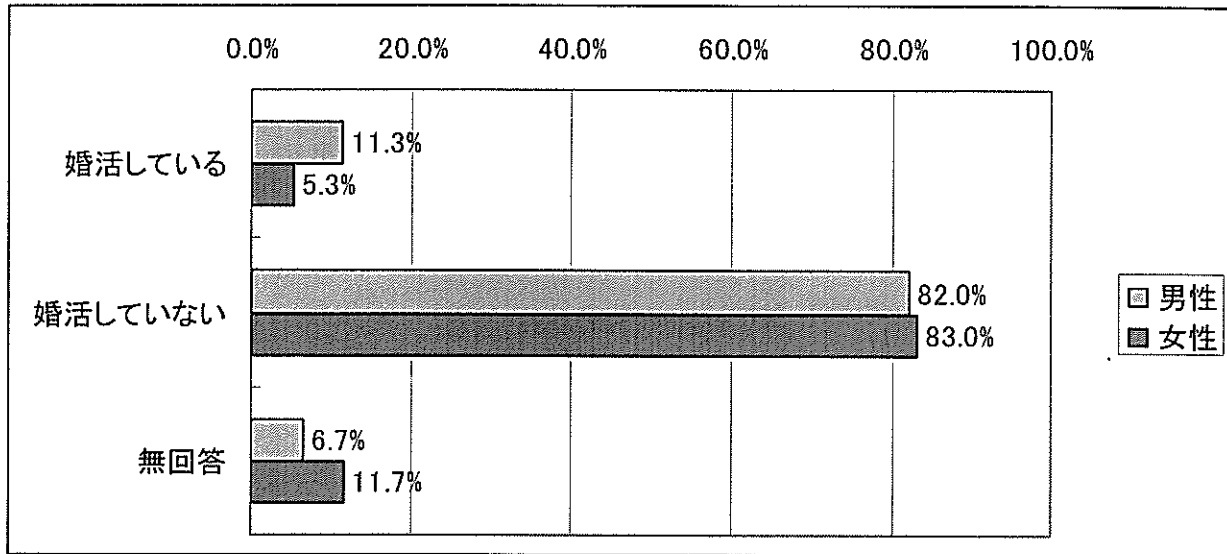
・男女とも半数を超える人が「趣味や娯楽を通じて出会う機会」「友人の紹介」を求めており、緩やかなきっかけで異性と出会いたいと思う傾向にあります。一方「コンパやお見合いパーティーなど（男性 18.7%、女性 17.5%）」「お見合いや相談所（男性 9.9%、女性 3.0%）」の割合は低く、交際や結婚に直接的に結びつくような出会いを求める割合は低くなっています。また、「仕事を通じて出会う機会」が3割を超えており、依然仕事や職場で出会いを求める割合も高くなっています。



年齢層	趣味や娯楽を通じて出会う機会	仕事を通じて出会う機会	友人の紹介	コンパやお見合いパーティーなど、たくさんの人の中で出会う機会	お見合いや結婚相談所など、一対一で出会う機会	その他	回答数
男性・20～24歳	72.3%	43.6%	62.8%	22.3%	5.3%	1.1%	195
男性・25～29歳	68.3%	43.3%	48.3%	10.0%	10.0%	3.3%	110
男性・30～34歳	59.5%	21.4%	42.9%	19.0%	14.3%	7.1%	69
男性・35～39歳	57.1%	21.4%	45.2%	31.0%	11.9%	2.4%	71
男性・40～44歳	44.4%	27.8%	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	21
男性・45～49歳	42.9%	35.7%	42.9%	17.9%	14.3%	7.1%	45
女性・20～24歳	63.2%	42.5%	49.4%	19.5%	1.1%	4.6%	157
女性・25～29歳	62.0%	22.0%	60.0%	18.0%	2.0%	2.0%	83
女性・30～34歳	62.1%	20.7%	44.8%	17.2%	3.4%	0.0%	43
女性・35～39歳	42.1%	36.8%	42.1%	10.5%	15.8%	0.0%	28
女性・40～44歳	66.7%	33.3%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	13
女性・45～49歳	66.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	9
男性	62.7%	35.2%	50.4%	18.7%	9.9%	3.2%	511
女性	61.0%	33.5%	48.0%	17.5%	3.0%	3.5%	333
全体	62.0%	34.5%	49.4%	18.2%	7.0%	3.3%	844

問18 あなたは、現在婚活（結婚活動）をしていますか。（回答数＝484）

- ・男女とも「婚活をしていない」が8割を超えており、「婚活している」割合は、男性が11.3%、女性が5.3%となっています。婚活が浸透していない状況が伺えます。
- ・男性は30・40代で「婚活している」割合が高く、女性は30代前半で高くなっています。
- ・結婚願望別では、「必ず結婚したい」で男性21.0%に対し、女性3.6%となっており、女性が婚活に対して消極的である傾向にあります。



【現在婚活をしているか】

(性別・年齢別クロス)

	婚活している	婚活していない	無回答
男性・20～24歳	6.4%	90.4%	3.2%
男性・25～29歳	5.0%	91.7%	3.3%
男性・30～34歳	16.7%	76.2%	7.1%
男性・35～39歳	21.4%	73.8%	4.8%
男性・40～44歳	22.2%	55.6%	22.2%
男性・45～49歳	10.7%	71.4%	17.9%
女性・20～24歳	3.4%	88.5%	8.0%
女性・25～29歳	0.0%	88.0%	12.0%
女性・30～34歳	20.7%	69.0%	10.3%
女性・35～39歳	5.3%	78.9%	15.8%
女性・40～44歳	11.1%	77.8%	11.1%
女性・45～49歳	0.0%	66.7%	33.3%
男性	11.3%	82.0%	6.7%
女性	5.3%	83.0%	11.7%
全体	8.9%	82.6%	8.5%

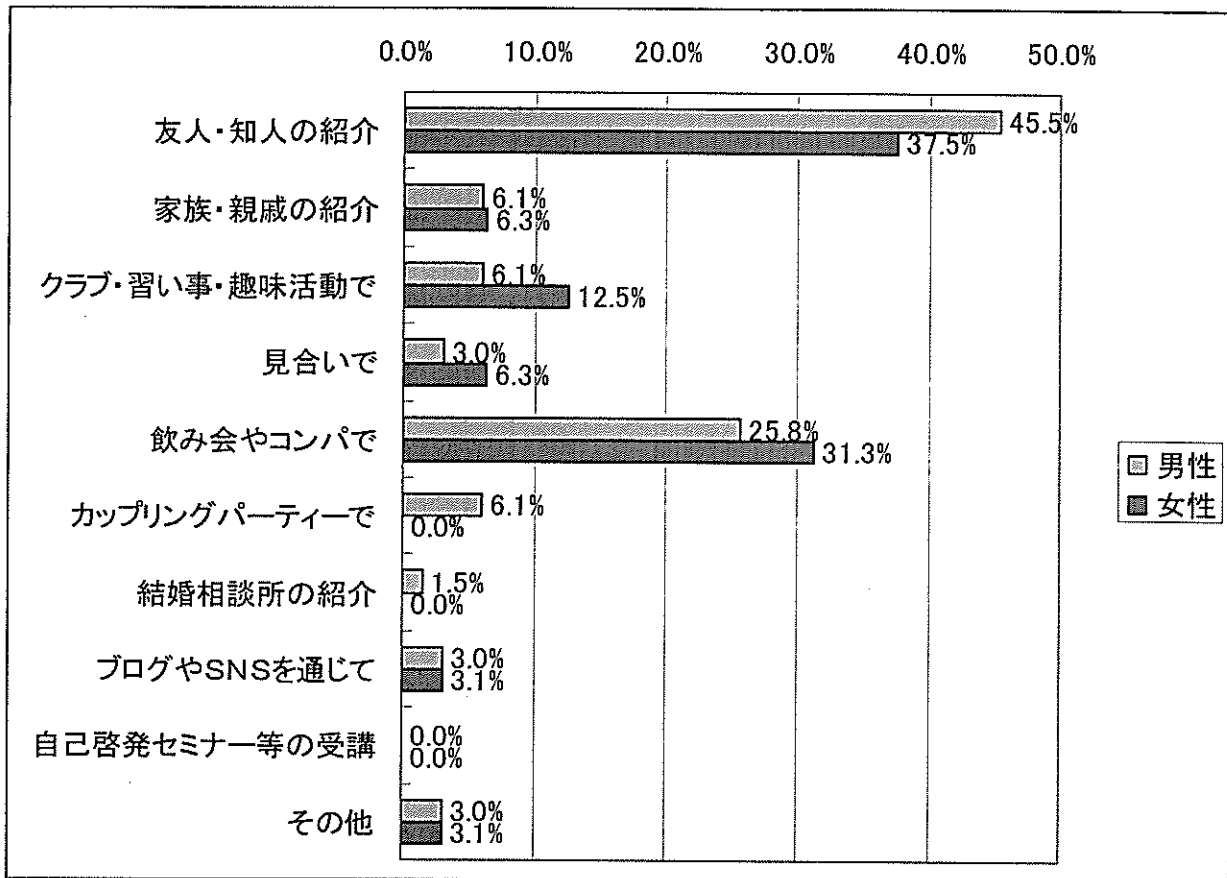
【現在婚活をしているか】

(結婚願望別クロス)

		婚活している	婚活していない	無回答
男性	必ず結婚したい	21.0%	77.4%	1.6%
	いい人が現れたら結婚したい	12.9%	81.0%	6.0%
	いつかは	3.0%	95.5%	1.5%
	特に結婚したいと思わない	3.6%	96.4%	0.0%
	結婚したくない	0.0%	100.0%	0.0%
	女性	必ず結婚したい	3.6%	91.1%
いい人が現れたら結婚したい		7.6%	80.3%	12.1%
いつかは		4.2%	89.6%	6.3%
特に結婚したいと思わない		7.1%	85.7%	7.1%
結婚したくない		0.0%	100.0%	0.0%

問19 あなたは、どのような婚活をしていますか。

・男女とも「友人・知人の紹介（男性 45.5%、女性 37.5%）」「飲み会やコンパ（男性 25.8%、女性 31.3%）」の割合が高く、「カップリングパーティー（男性 6.1%、女性 0%）」「結婚相談所の紹介（男性 6.1%、女性 0%）」の割合が低く、友人・知人など交友関係を糸口に婚活をしている傾向が伺えます。

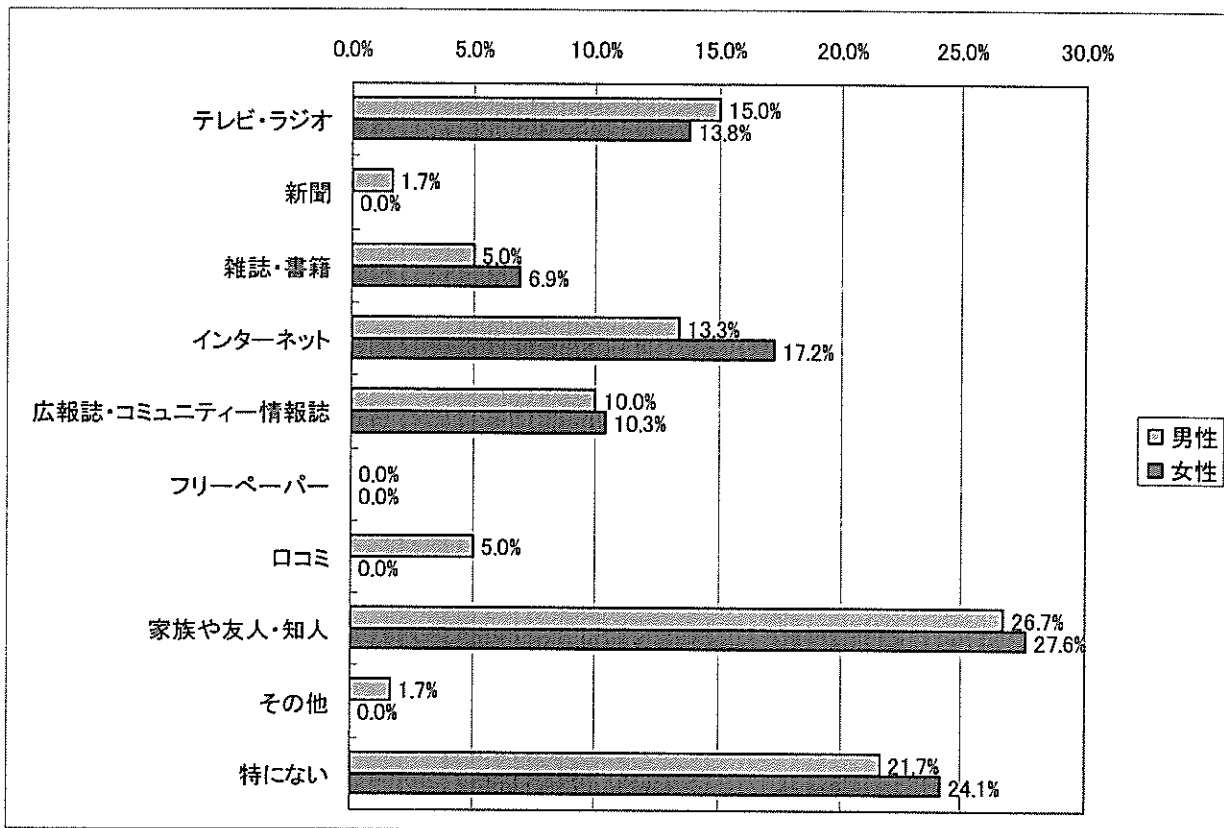


年齢層	友人・知人の紹介	家族・親戚の紹介	クラブ・習い事・趣味活動で	見合いで	飲み会やコンパで
男性・20～24歳	42.1%	5.3%	5.3%	0.0%	26.3%
男性・25～29歳	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%
男性・30～34歳	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	25.0%
男性・35～39歳	47.1%	0.0%	0.0%	5.9%	29.4%
男性・40～44歳	50.0%	12.5%	12.5%	12.5%	0.0%
男性・45～49歳	50.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%
女性・20～24歳	41.7%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%
女性・25～29歳	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・30～34歳	35.7%	7.1%	14.3%	7.1%	28.6%
女性・35～39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性・40～44歳	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
女性・45～49歳	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	45.5%	6.1%	6.1%	3.0%	25.8%
女性	37.5%	6.3%	12.5%	6.3%	31.3%
全体	42.9%	6.1%	8.2%	4.1%	27.6%

年齢層	カップリングパーティーで	結婚相談所の紹介	ブログやSNSを通じて	自己啓発セミナー等の受講	その他	回答数
男性・20～24歳	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	19
男性・25～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8
男性・30～34歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8
男性・35～39歳	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17
男性・40～44歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8
男性・45～49歳	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6
女性・20～24歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	12
女性・25～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・30～34歳	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	14
女性・35～39歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・40～44歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
男性	6.1%	1.5%	3.0%	0.0%	3.0%	66
女性	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	3.1%	32
全体	4.1%	1.0%	3.1%	0.0%	3.1%	98

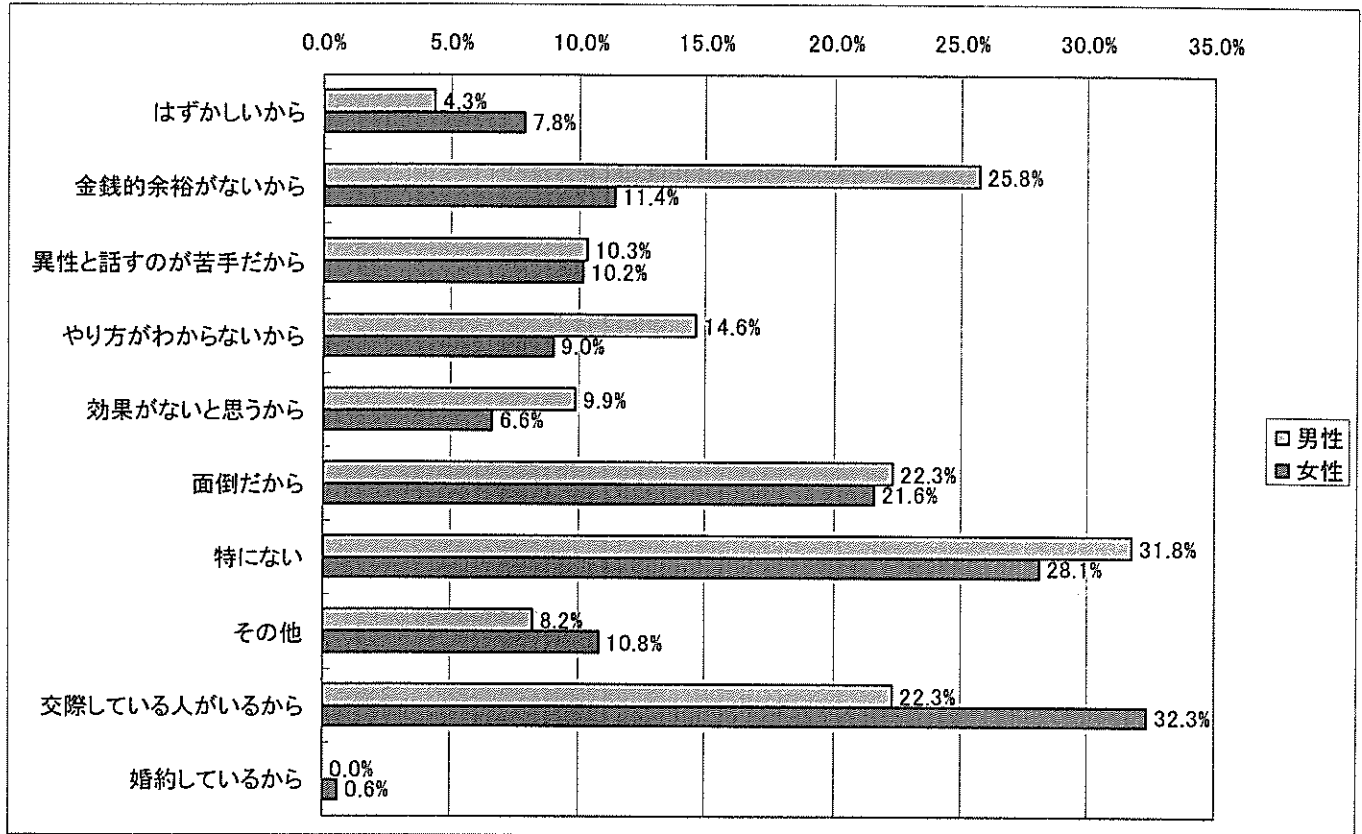
問20 あなたは、婚活に関係した情報をどこから得ていますか、または得ましたか。

・男女とも「家族や友人・知人（男性26.7%、女性27.6%）」の割合が高いが、「テレビ・ラジオ」「インターネット」「広報誌・コミュニティー情報誌」など、多様なメディアから情報収集している状況が伺えます。



問2 1 あなたは、どのような理由で婚活をしていませんか。

- ・「交際している人がいるから」を除き、男女とも「特にない（男性 31.8%、女性 28.1%）」「面倒だから（男性 22.3%、女性 21.6%）」の割合が高くなっています。また、特に男性については、「金銭的余裕がないから（25.8%）」と女性に比べてかなり高くなっています。
- ・結婚願望別では、「必ず結婚したい」で「やり方がわからないから（男性 20.8%、女性 13.7%）」と2番目に高くなっており、婚活についての情報が不足している状況が伺えます。



年齢層	はずかし いから	金銭的 余裕が ないから	異性と話 すのが 苦手だ から	やり方が わからな いから	効果が ないと思 うから
男性・20～24 歳	3.5%	18.8%	10.6%	15.3%	8.2%
男性・25～29 歳	0.0%	29.1%	5.5%	12.7%	10.9%
男性・30～34 歳	3.1%	37.5%	6.3%	18.8%	12.5%
男性・35～39 歳	6.5%	32.3%	12.9%	12.9%	12.9%
男性・40～44 歳	0.0%	30.0%	10.0%	10.0%	10.0%
男性・45～49 歳	20.0%	15.0%	25.0%	15.0%	5.0%
女性・20～24 歳	5.2%	7.8%	6.5%	10.4%	3.9%
女性・25～29 歳	11.4%	13.6%	11.4%	11.4%	13.6%
女性・30～34 歳	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%
女性・35～39 歳	13.3%	33.3%	26.7%	6.7%	6.7%
女性・40～44 歳	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
女性・45～49 歳	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
男性	4.3%	25.8%	10.3%	14.6%	9.9%
女性	7.8%	11.4%	10.2%	9.0%	6.6%
全体	5.8%	19.8%	10.3%	12.3%	8.5%

年齢層	面倒だ から	特にな い	その他	交際して いる人が いるから	婚約して いるから	回答数
男性・20～24 歳	22.4%	32.9%	9.4%	44.7%	0.0%	141
男性・25～29 歳	20.0%	25.5%	9.1%	9.1%	0.0%	67
男性・30～34 歳	31.3%	25.0%	12.5%	15.6%	0.0%	52
男性・35～39 歳	16.1%	25.8%	3.2%	12.9%	0.0%	42
男性・40～44 歳	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14
男性・45～49 歳	25.0%	50.0%	5.0%	0.0%	0.0%	32
女性・20～24 歳	14.3%	24.7%	14.3%	37.7%	0.0%	96
女性・25～29 歳	29.5%	22.7%	0.0%	38.6%	2.3%	68
女性・30～34 歳	25.0%	50.0%	10.0%	20.0%	0.0%	27
女性・35～39 歳	26.7%	20.0%	13.3%	13.3%	0.0%	24
女性・40～44 歳	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	8
女性・45～49 歳	50.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	8
男性	22.3%	31.8%	8.2%	22.3%	0.0%	348
女性	21.6%	28.1%	10.8%	32.3%	0.6%	231
全体	22.0%	30.3%	9.3%	26.5%	0.3%	579

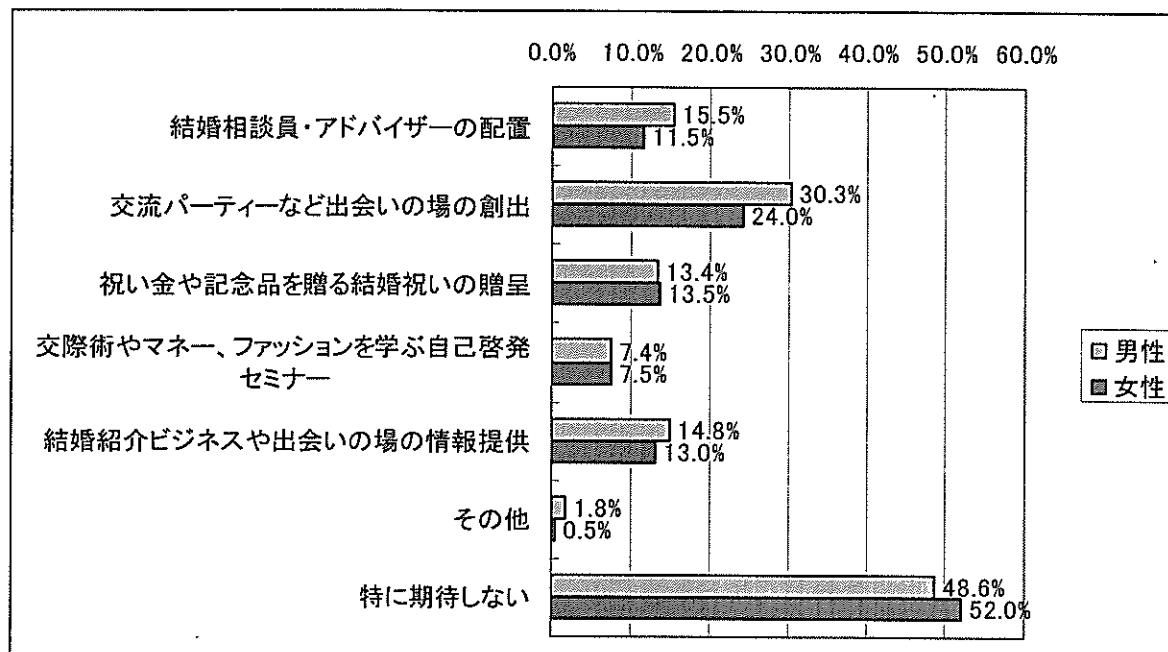
	Q1-9-1	はずかしいから	金銭的余裕がないから	異性と話すのが苦手だから	やり方がわからなから	効果がなと思うから	
男性	必ず結婚したい	6.3%	12.5%	10.4%	20.8%	8.3%	
	いい人が現れたら結婚したい	6.4%	29.8%	12.8%	12.8%	10.6%	
	いつかは結婚したい	1.6%	27.0%	7.9%	12.7%	4.8%	
	特に結婚したいと思わない	0.0%	29.6%	7.4%	11.1%	22.2%	
	結婚したくない	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	
女性	必ず結婚したい	7.8%	7.8%	2.0%	13.7%	3.9%	
	いい人が現れたら結婚したい	7.5%	18.9%	15.1%	11.3%	7.5%	
	いつかは結婚したい	4.7%	4.7%	4.7%	4.7%	2.3%	
	特に結婚したいと思わない	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	25.0%	
	結婚したくない	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	

	Q1-9-1	面倒だから	特にない	その他	交際している人がいるから	婚約しているから	回答数
男性	必ず結婚したい	12.5%	29.2%	10.4%	33.3%	0.0%	69
	いい人が現れたら結婚したい	22.3%	39.4%	10.6%	8.5%	0.0%	144
	いつかは結婚したい	19.0%	20.6%	6.3%	44.4%	0.0%	91
	特に結婚したいと思わない	40.7%	33.3%	0.0%	3.7%	0.0%	40
	結婚したくない	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6
女性	必ず結婚したい	11.8%	19.6%	11.8%	56.9%	0.0%	69
	いい人が現れたら結婚したい	28.3%	30.2%	11.3%	18.9%	1.9%	80
	いつかは結婚したい	11.6%	34.9%	9.3%	37.2%	0.0%	49
	特に結婚したいと思わない	50.0%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%	17
	結婚したくない	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	7

問22 あなたは、どのような婚活支援事業を行政に期待しますか。

・男女とも半数の人が「特に期待しない（男性 48.6%、女性 52.0%）」と回答しています。次いで「交流パーティーなど出会いの場の創出（男性 30.3%、女性 24.0%）」となっています。

・結婚願望別では、結婚願望の高い人で「交流パーティーなど出会いの場の創出」の割合が高くなっています。



【行政に求める婚活支援 性別・年代別クロス】

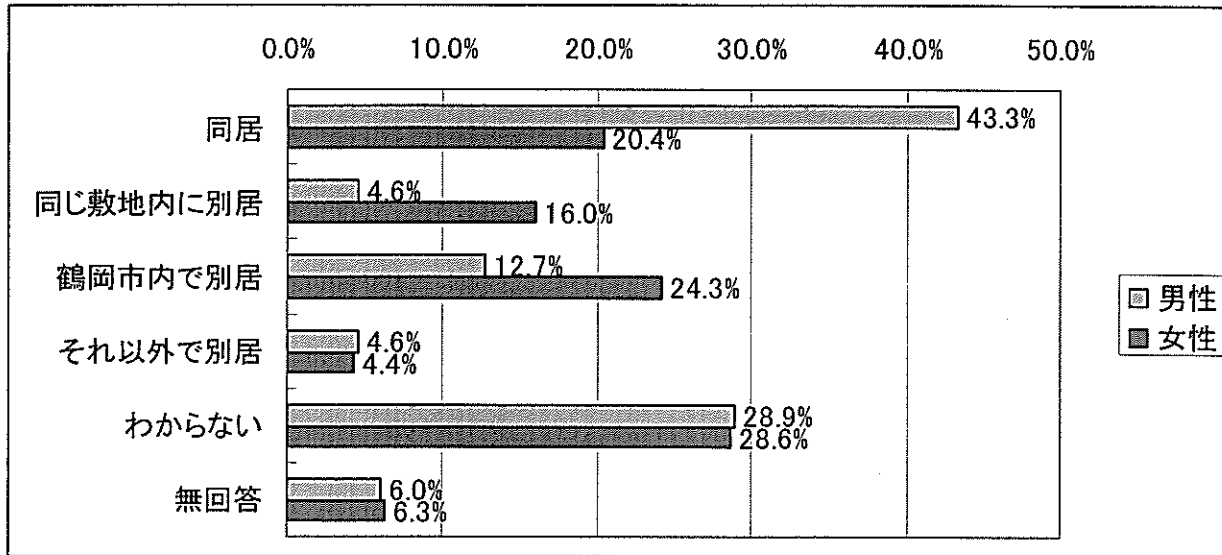
年齢層	結婚相談員・アドバイザーの配置	交流パーティーなど出会いの場の創出	祝い金や記念品を贈る結婚祝いの贈呈	交際術やマナー、ファッションを学ぶ自己啓発セミナー	結婚紹介ビジネスや出会いの場の情報提供	その他	特に期待しない	回答数
男性・20～24歳	19.1%	37.2%	16.0%	5.3%	13.8%	2.1%	48.9%	134
男性・25～29歳	10.0%	25.0%	16.7%	10.0%	15.0%	3.3%	45.0%	75
男性・30～34歳	14.3%	21.4%	11.9%	4.8%	14.3%	2.4%	57.1%	53
男性・35～39歳	14.3%	38.1%	11.9%	7.1%	19.0%	0.0%	50.0%	59
男性・40～44歳	11.1%	33.3%	5.6%	11.1%	11.1%	0.0%	38.9%	20
男性・45～49歳	21.4%	17.9%	7.1%	10.7%	14.3%	0.0%	46.4%	33
女性・20～24歳	12.6%	29.9%	12.6%	9.2%	12.6%	1.1%	49.4%	111
女性・25～29歳	12.0%	28.0%	20.0%	8.0%	14.0%	0.0%	44.0%	63
女性・30～34歳	10.3%	13.8%	17.2%	6.9%	6.9%	0.0%	58.6%	33
女性・35～39歳	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	73.7%	20
女性・40～44歳	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	55.6%	11
女性・45～49歳	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	50.0%	6
男性	15.5%	30.3%	13.4%	7.4%	14.8%	1.8%	48.6%	374
女性	11.5%	24.0%	13.5%	7.5%	13.0%	0.5%	52.0%	244
全体	13.8%	27.7%	13.4%	7.4%	14.0%	1.2%	50.0%	618

【行政に求める婚活支援 結婚願望別クロス】

	Q1-9-1	結婚相談員・アドバイザーの配置	交流パーティーなど出合いの場の創出	祝い金や記念品を贈る結婚祝いの贈呈	交際術やマナー、ファッションを学ぶ自己啓発セミナー	結婚紹介ビジネスや出合いの場の情報提供	その他	特に期待しない	回答数
男性	必ず結婚したい	27.4%	46.8%	14.5%	8.1%	29.0%	1.6%	37.1%	102
	いい人が現れたら結婚したい	12.1%	29.3%	10.3%	5.2%	10.3%	0.9%	50.0%	137
	いつかは結婚したい	13.6%	27.3%	18.2%	13.6%	15.2%	4.5%	43.9%	90
	特に結婚したいと思わない	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	82.1%	25
	結婚したくない	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	5
女性	必ず結婚したい	12.5%	39.3%	17.9%	8.9%	19.6%	1.8%	41.1%	79
	いい人が現れたら結婚したい	12.1%	24.2%	10.6%	6.1%	13.6%	0.0%	51.5%	78
	いつかは結婚したい	14.6%	22.9%	16.7%	4.2%	10.4%	0.0%	56.3%	60
	特に結婚したいと思わない	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	71.4%	12
	結婚したくない	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	5

問23 結婚した後のご両親やご家族との住まいについて、理想的なものを選んでください。(回答数=484)

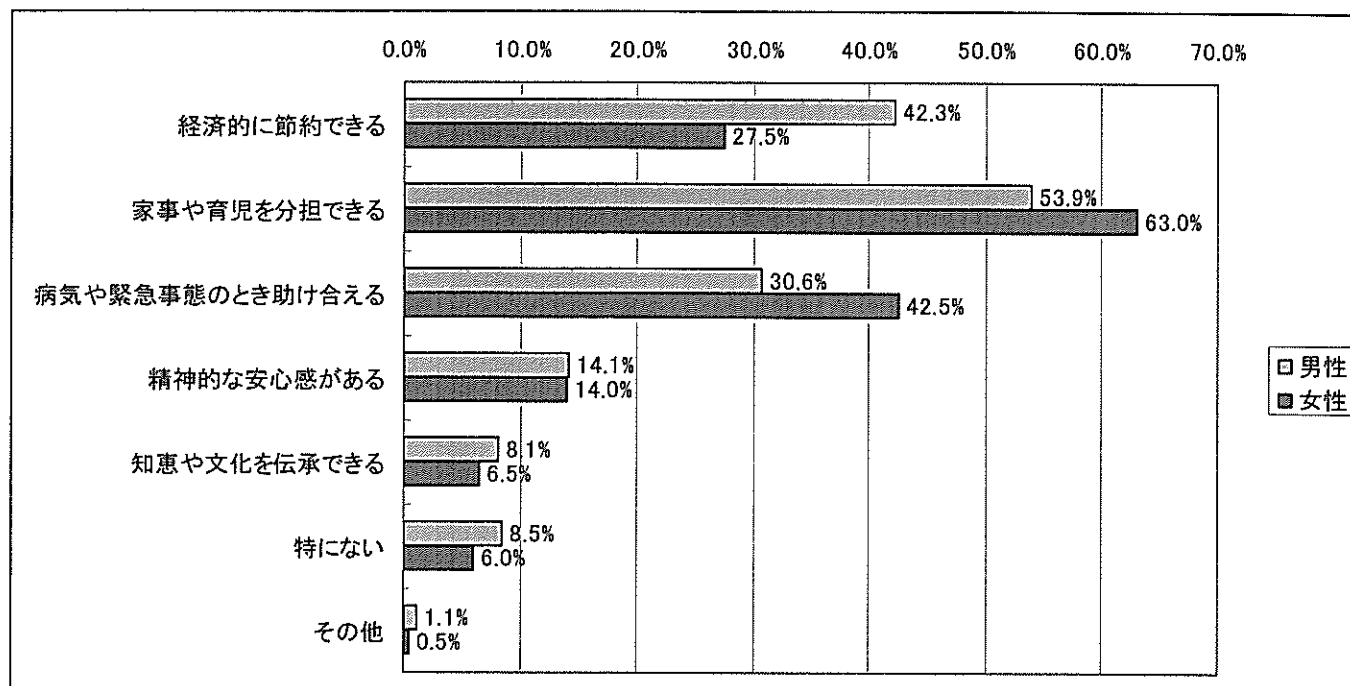
・男女の比較で、男性は「同居（男性 43.3%、女性 20.4%）」の割合が高く、女性は「鶴岡市内で別居（男性 12.7%、女性 24.3%）」「同じ敷地内に別居（男性 4.6%、女性 16.0%）」の割合が高くなっており、男性が同居を望む一方で、女性は近距離での別居を望む傾向にあります。



年齢層	同居	同じ敷地内に別居	鶴岡市内で別居	それ以外で別居	わからない	無回答	回答数
男性・20～24歳	31.9%	5.3%	14.9%	6.4%	36.2%	5.3%	94
男性・25～29歳	40.0%	3.3%	18.3%	1.7%	35.0%	1.7%	60
男性・30～34歳	47.6%	4.8%	9.5%	9.5%	26.2%	2.4%	42
男性・35～39歳	59.5%	2.4%	11.9%	2.4%	16.7%	7.1%	42
男性・40～44歳	50.0%	5.6%	0.0%	0.0%	27.8%	16.7%	18
男性・45～49歳	53.6%	7.1%	7.1%	3.6%	14.3%	14.3%	28
女性・20～24歳	17.2%	18.4%	25.3%	4.6%	29.9%	4.6%	87
女性・25～29歳	20.0%	10.0%	24.0%	6.0%	28.0%	12.0%	50
女性・30～34歳	34.5%	10.3%	24.1%	3.4%	27.6%	0.0%	29
女性・35～39歳	15.8%	26.3%	26.3%	0.0%	21.1%	10.5%	19
女性・40～44歳	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	9
女性・45～49歳	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	6
男性	43.3%	4.6%	12.7%	4.6%	28.9%	6.0%	284
女性	20.4%	16.0%	24.3%	4.4%	28.6%	6.3%	200
全体	33.9%	9.5%	17.4%	4.5%	28.7%	6.0%	484

問24 同居すると、どのようなことが良いと思いますか？

・男女とも「家事や育児を分担できる（男性 53.9%、女性 63.0%）」の割合が最も高く、次いで男性は「経済的に節約できる（42.3%）」、女性は「病気や緊急事態のとき助け合える（42.5%）」となっています。



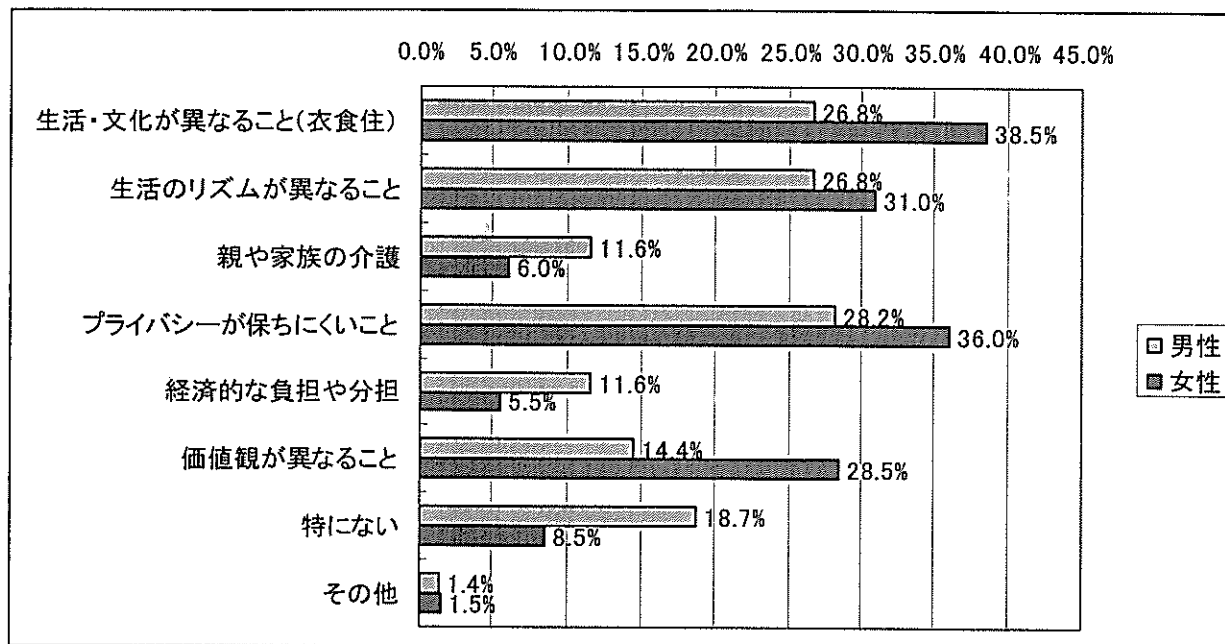
年齢層	経済的に節約できる	家事や育児を分担できる	病気や緊急事態のとき助け合える	精神的な安心感がある	知恵や文化を伝承できる	特にない	その他	計
男性・20～24歳	41.5%	58.5%	30.9%	16.0%	6.4%	8.5%	1.1%	153
男性・25～29歳	38.3%	53.3%	35.0%	11.7%	10.0%	6.7%	3.3%	95
男性・30～34歳	42.9%	52.4%	33.3%	21.4%	7.1%	4.8%	0.0%	68
男性・35～39歳	47.6%	66.7%	33.3%	11.9%	4.8%	4.8%	0.0%	71
男性・40～44歳	38.9%	22.2%	16.7%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	24
男性・45～49歳	46.4%	42.9%	21.4%	7.1%	7.1%	14.3%	0.0%	39
女性・20～24歳	28.7%	62.1%	39.1%	14.9%	5.7%	8.0%	1.1%	139
女性・25～29歳	28.0%	58.0%	48.0%	10.0%	8.0%	2.0%	0.0%	77
女性・30～34歳	41.4%	75.9%	41.4%	17.2%	0.0%	3.4%	0.0%	52
女性・35～39歳	10.5%	57.9%	52.6%	15.8%	5.3%	10.5%	0.0%	29
女性・40～44歳	11.1%	77.8%	22.2%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	15
女性・45～49歳	16.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	8
男性	42.3%	53.9%	30.6%	14.1%	8.1%	8.5%	1.1%	450
女性	27.5%	63.0%	42.5%	14.0%	6.5%	6.0%	0.5%	320
全体	36.2%	57.6%	35.5%	14.0%	7.4%	7.4%	0.8%	770

問25 同居すると、どのようなことを負担に思いますか？

・男性は「プライバシーが保ちにくい (28.2%)」「生活・文化が異なること (26.8%)」「生活のリズムが異なること (26.8%)」の順となっています。

・女性は「生活・文化が異なること (38.5%)」「プライバシーが保ちにくいこと (36.0%)」「生活のリズムが異なること (31.0%)」の順となっています。

・この他、男女の比較では、男性で「親の介護 (男性 11.6%、女性 6.0%)」「経済的な負担や分担 (男性 11.6%、女性 5.5%)」「特にない (男性 18.7%、女性 8.5%)」の割合が高くなっており、女性では「生活・文化が異なる (男性 26.8%、女性 38.5%)」「価値観が異なる (男性 14.4%、女性 28.5%)」の割合が高くなっています。

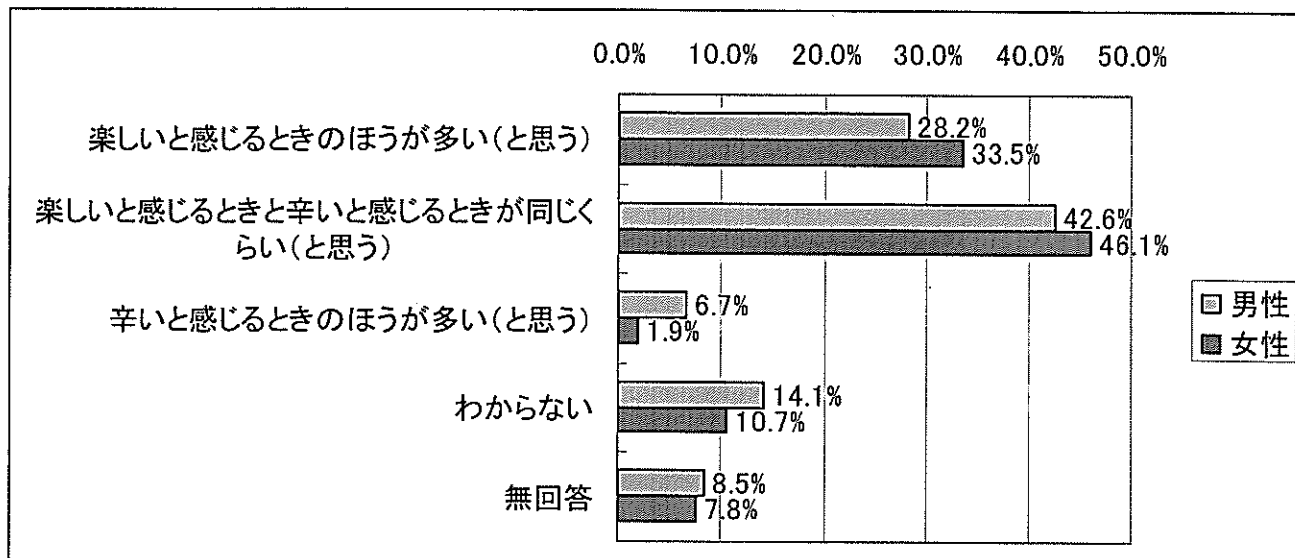


年齢層	生活・文化が異なること(衣食住)	生活のリズムが異なること	親や家族の介護	プライバシーが保ちにくいこと	経済的な負担や分担	価値観が異なること	特にない	その他	回答数
男性・20～24歳	25.5%	24.5%	10.6%	36.2%	18.1%	12.8%	14.9%	2.1%	136
男性・25～29歳	28.3%	21.7%	13.3%	31.7%	11.7%	15.0%	18.3%	1.7%	85
男性・30～34歳	26.2%	23.8%	9.5%	26.2%	11.9%	21.4%	21.4%	0.0%	59
男性・35～39歳	40.5%	31.0%	11.9%	16.7%	2.4%	9.5%	21.4%	2.4%	57
男性・40～44歳	5.6%	55.6%	16.7%	16.7%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	23
男性・45～49歳	21.4%	25.0%	10.7%	21.4%	10.7%	10.7%	28.6%	0.0%	36
女性・20～24歳	41.4%	26.4%	5.7%	36.8%	6.9%	27.6%	9.2%	0.0%	134
女性・25～29歳	32.0%	26.0%	2.0%	46.0%	6.0%	34.0%	6.0%	2.0%	77
女性・30～34歳	34.5%	41.4%	6.9%	31.0%	3.4%	17.2%	17.2%	3.4%	45
女性・35～39歳	47.4%	42.1%	21.1%	15.8%	0.0%	21.1%	0.0%	0.0%	28
女性・40～44歳	44.4%	33.3%	0.0%	55.6%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	17
女性・45～49歳	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	10
男性	26.8%	26.8%	11.6%	28.2%	11.6%	14.4%	18.7%	1.4%	396
女性	38.5%	31.0%	6.0%	36.0%	5.5%	28.5%	8.5%	1.5%	311
全体	31.6%	28.5%	9.3%	31.4%	9.1%	20.2%	14.5%	1.4%	707

子育てについての考え方・イメージ

問 2 7 あなたは、「子育て」をどのように感じますか。(回答数=484)

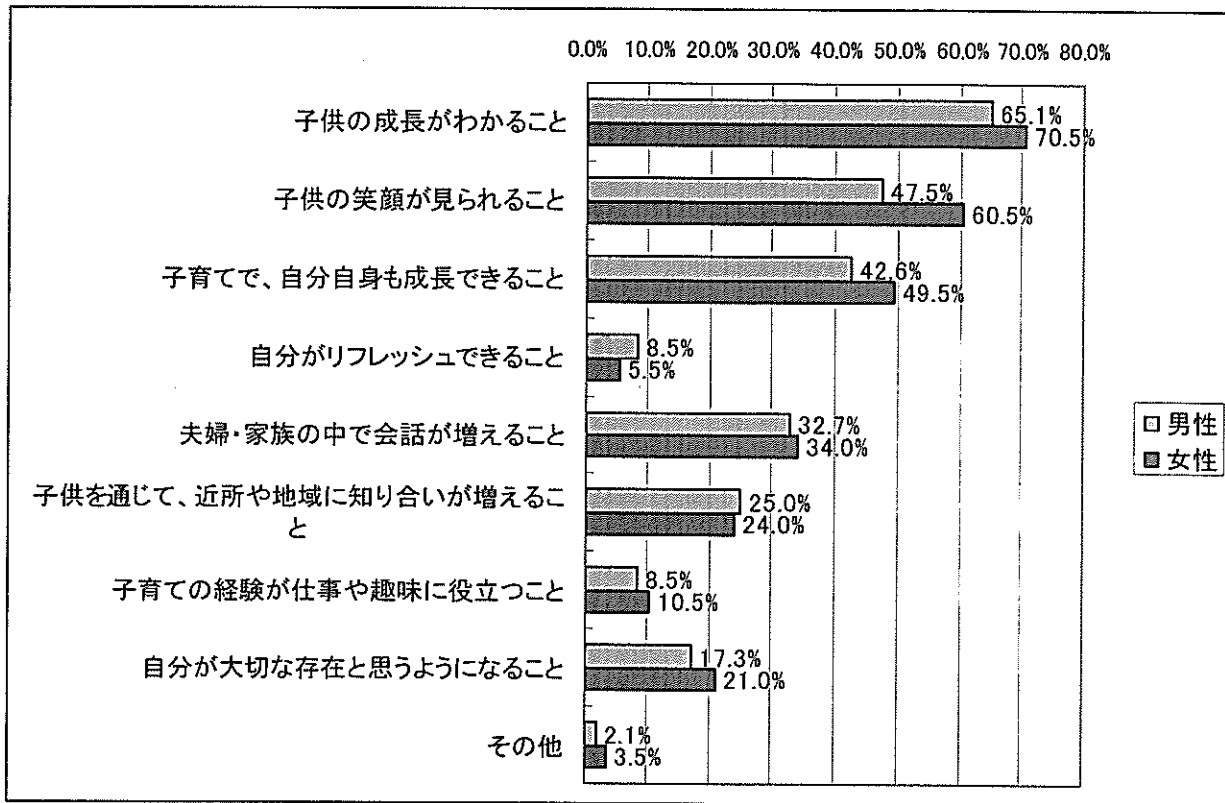
・男女とも「楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい(男性 42.6%、女性 46.1%)」の割合が最も高く、次いで「楽しいと感じるときの方が多く(男性 28.2%、女性 33.5%)」となっています。



年齢層	楽しいと感じるときの方が多く(と思う)	楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい(と思う)	辛いと感じるときの方が多く(と思う)	わからない	無回答
男性・20～24 歳	24.5%	47.9%	4.3%	17.0%	6.4%
男性・25～29 歳	33.3%	40.0%	8.3%	11.7%	6.7%
男性・30～34 歳	21.4%	42.9%	14.3%	16.7%	4.8%
男性・35～39 歳	35.7%	42.9%	4.8%	7.1%	9.5%
男性・40～44 歳	22.2%	44.4%	0.0%	11.1%	22.2%
男性・45～49 歳	32.1%	28.6%	7.1%	17.9%	14.3%
女性・20～24 歳	39.1%	40.2%	2.3%	10.3%	8.0%
女性・25～29 歳	32.0%	44.0%	0.0%	8.0%	16.0%
女性・30～34 歳	20.7%	69.0%	6.9%	3.4%	0.0%
女性・35～39 歳	36.8%	52.6%	0.0%	10.5%	0.0%
女性・40～44 歳	11.1%	44.4%	0.0%	44.4%	0.0%
女性・45～49 歳	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
男性	28.2%	42.6%	6.7%	14.1%	8.5%
女性	33.5%	46.1%	1.9%	10.7%	7.8%
全体	30.4%	44.2%	4.8%	12.6%	8.1%

問28 「子育て」は、どのような楽しさがあると思いますか。

・男女ともに「子供の成長がわかること(男性 65.1%、女性 70.5%)」「子供の笑顔が見られること(男性 60.5%、女性 47.5%)」「子育てで自分自身も成長できること(男性 42.6%、女性 49.5%)」の順となっています。

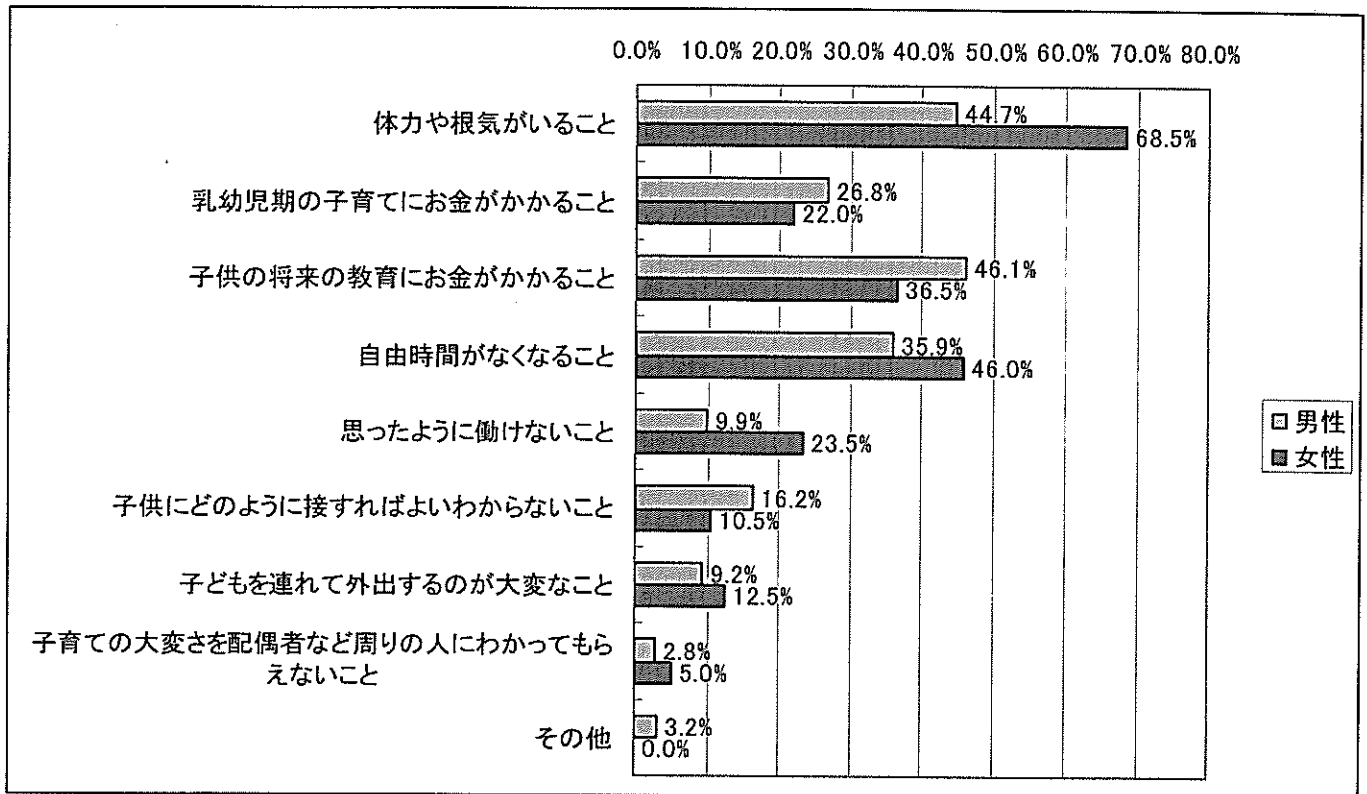


年齢層	子供の成長がわかること	子供の笑顔が見られること	子育てで、自分自身も成長できること	自分がリフレッシュできること	夫婦・家族の中で会話が増えること
男性・20～24歳	73.4%	48.9%	40.4%	6.4%	33.0%
男性・25～29歳	65.0%	56.7%	46.7%	10.0%	35.0%
男性・30～34歳	52.4%	38.1%	35.7%	11.9%	40.5%
男性・35～39歳	64.3%	47.6%	50.0%	7.1%	23.8%
男性・40～44歳	61.1%	33.3%	38.9%	5.6%	27.8%
男性・45～49歳	60.7%	46.4%	42.9%	10.7%	32.1%
女性・20～24歳	74.7%	59.8%	44.8%	5.7%	27.6%
女性・25～29歳	60.0%	48.0%	50.0%	8.0%	34.0%
女性・30～34歳	69.0%	58.6%	37.9%	3.4%	31.0%
女性・35～39歳	68.4%	78.9%	78.9%	0.0%	52.6%
女性・40～44歳	77.8%	88.9%	66.7%	0.0%	44.4%
女性・45～49歳	100.0%	83.3%	50.0%	16.7%	66.7%
男性	65.1%	47.5%	42.6%	8.5%	32.7%
女性	70.5%	60.5%	49.5%	5.5%	34.0%
全体	67.4%	52.9%	45.5%	7.2%	33.3%

年齢層	子供を通じて、近所や地域に知り合いが増えること	子育ての経験が仕事や趣味に役立つこと	自分が大切な存在と思うようになること	その他	回答数
男性・20～24歳	28.7%	10.6%	13.8%	2.1%	242
男性・25～29歳	26.7%	6.7%	18.3%	1.7%	160
男性・30～34歳	23.8%	14.3%	16.7%	2.4%	99
男性・35～39歳	9.5%	9.5%	21.4%	0.0%	98
男性・40～44歳	16.7%	0.0%	27.8%	0.0%	38
男性・45～49歳	39.3%	0.0%	14.3%	7.1%	71
女性・20～24歳	23.0%	10.3%	20.7%	2.3%	234
女性・25～29歳	20.0%	10.0%	20.0%	4.0%	127
女性・30～34歳	34.5%	13.8%	24.1%	6.9%	81
女性・35～39歳	10.5%	10.5%	10.5%	5.3%	60
女性・40～44歳	33.3%	11.1%	33.3%	0.0%	32
女性・45～49歳	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	24
男性	25.0%	8.5%	17.3%	2.1%	708
女性	24.0%	10.5%	21.0%	3.5%	558
全体	24.6%	9.3%	18.8%	2.7%	1266

問29 あなたは、自分にとって「子育て」の辛さとは、どんなことだと思いますか。

- ・男性は「子供の将来の教育にお金がかかること (46.6%)」の割合が最も高く、次いで「体力や根気がいること (44.0%)」が高くなっており、半数近くが、経済的な面、肉体的な面、精神的な面と幅広く、子育ての辛さを認識しています。
- ・女性は「体力や根気がいること (68.5%)」の割合が最も高く、7割近い人が、肉体的な面に辛さがあると思っています。また「自由時間がなくなること」の割合が46.0%となっており、半数近い人が、いわゆる自分の好きなことができなくなるのが、辛いと思っています。



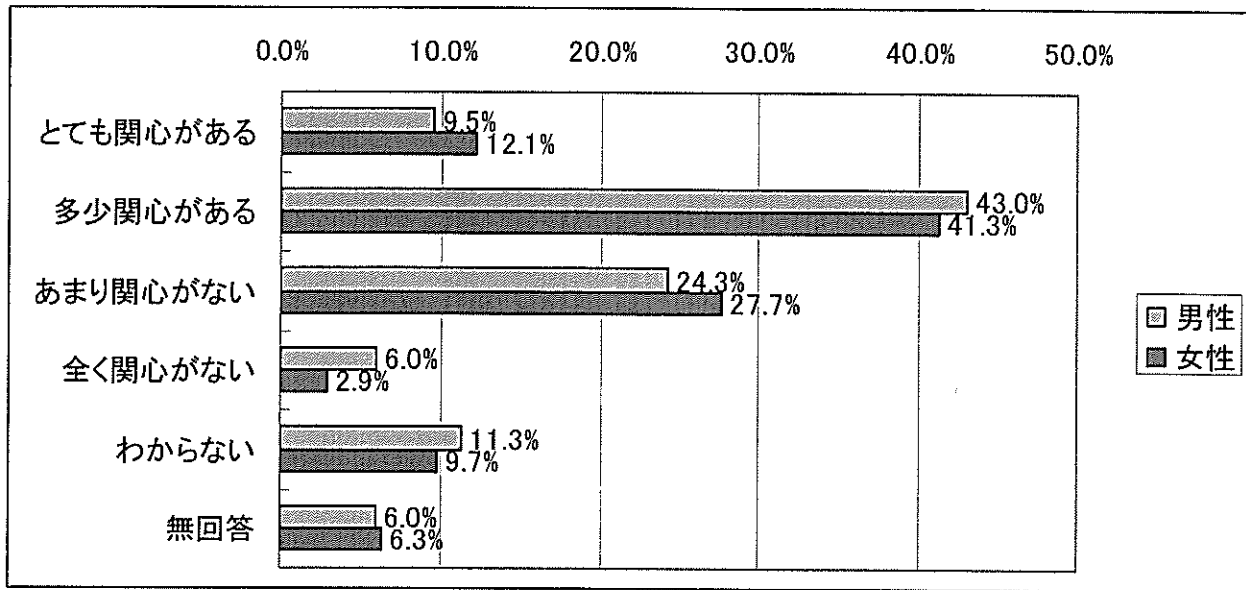
年齢層	体力や根気が いること	乳幼児期の子 育てにお金か かること	子供の将来の 教育にお金か かること	自由時間がなく なること	思ったように働 けないこと
男性・20～24歳	44.7%	25.5%	46.8%	40.4%	10.6%
男性・25～29歳	48.3%	26.7%	50.0%	35.0%	5.0%
男性・30～34歳	50.0%	21.4%	52.4%	50.0%	19.0%
男性・35～39歳	47.6%	31.0%	42.9%	33.3%	7.1%
男性・40～44歳	33.3%	38.9%	38.9%	22.2%	11.1%
男性・45～49歳	32.1%	25.0%	35.7%	14.3%	7.1%
女性・20～24歳	72.4%	28.7%	34.5%	47.1%	18.4%
女性・25～29歳	60.0%	16.0%	36.0%	40.0%	24.0%
女性・30～34歳	72.4%	24.1%	48.3%	65.5%	31.0%
女性・35～39歳	68.4%	15.8%	47.4%	31.6%	47.4%
女性・40～44歳	88.9%	11.1%	22.2%	44.4%	11.1%
女性・45～49歳	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
男性	44.7%	26.8%	46.1%	35.9%	9.9%
女性	68.5%	22.0%	36.5%	46.0%	23.5%
全体	54.5%	24.8%	42.1%	40.1%	15.5%

年齢層	子供にどのよう に接すればよ いわからないこ と	子どもを連れて 外出するのが 大変なこと	子育ての大変 さを配偶者など 周りの人にわ かってもらえな いこと	その他	計
男性・20～24歳	9.3%	5.7%	2.1%	1.0%	193
男性・25～29歳	7.8%	5.2%	0.0%	1.7%	116
男性・30～34歳	7.4%	3.2%	3.2%	1.1%	95
男性・35～39歳	4.0%	4.0%	1.3%	0.0%	75
男性・40～44歳	15.2%	6.1%	0.0%	0.0%	33
男性・45～49歳	9.8%	2.4%	0.0%	9.8%	41
女性・20～24歳	4.5%	5.0%	2.5%	0.0%	199
女性・25～29歳	6.0%	4.0%	2.0%	0.0%	100
女性・30～34歳	4.7%	11.8%	1.2%	0.0%	85
女性・35～39歳	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	41
女性・40～44歳	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	19
女性・45～49歳	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	5
男性	8.3%	4.7%	1.4%	1.6%	553
女性	4.7%	5.6%	2.2%	0.0%	449
全体	6.7%	5.1%	1.8%	0.9%	1002

問30 あなたは、出生率の低下により子供の人数が少なくなっている「少子化」に関心がありますか。

(回答数=484)

・男女とも「多少関心がある(男性43.0%、女性41.3%)」の割合がもっとも高く、次いで「あまり関心がない(男性24.3%、女性27.7%)」が高くなっています。

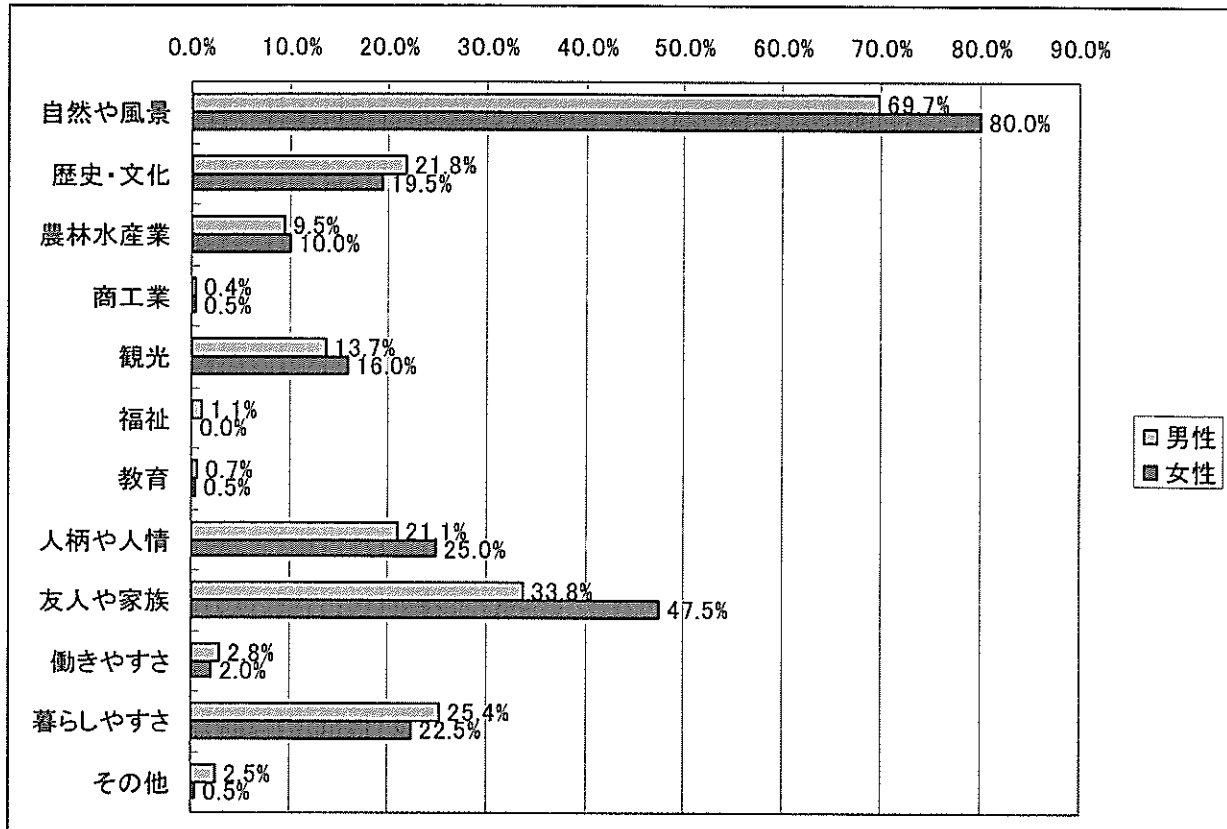


年齢層	とても関心がある	多少関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
男性・20～24歳	7.4%	43.6%	20.2%	8.5%	18.1%	2.1%
男性・25～29歳	6.7%	48.3%	26.7%	6.7%	8.3%	3.3%
男性・30～34歳	7.1%	52.4%	16.7%	7.1%	7.1%	9.5%
男性・35～39歳	16.7%	33.3%	35.7%	0.0%	7.1%	7.1%
男性・40～44歳	11.1%	44.4%	16.7%	5.6%	5.6%	16.7%
男性・45～49歳	14.3%	28.6%	32.1%	3.6%	10.7%	10.7%
女性・20～24歳	12.6%	42.5%	29.9%	3.4%	8.0%	3.4%
女性・25～29歳	10.0%	32.0%	30.0%	2.0%	14.0%	12.0%
女性・30～34歳	13.8%	44.8%	27.6%	3.4%	6.9%	3.4%
女性・35～39歳	10.5%	36.8%	26.3%	5.3%	15.8%	5.3%
女性・40～44歳	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
女性・45～49歳	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
男性	9.5%	43.0%	24.3%	6.0%	11.3%	6.0%
女性	12.1%	41.3%	27.7%	2.9%	9.7%	6.3%
全体	10.7%	42.1%	25.6%	4.8%	10.7%	6.0%

鶴岡市の魅力

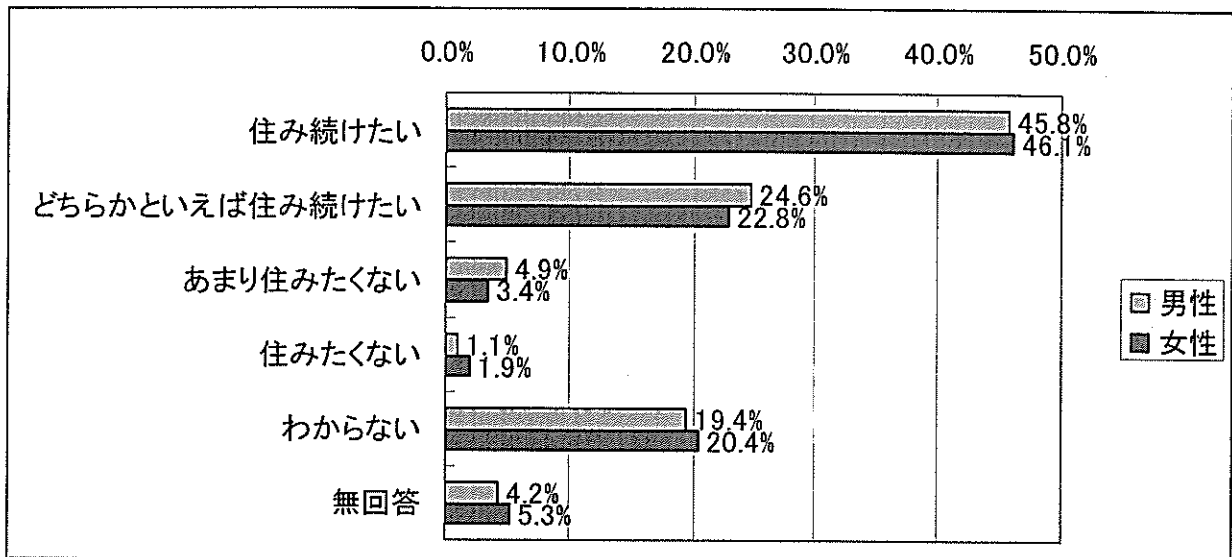
問3 1 鶴岡市にはどのような魅力があると思いますか？

・男女とも「自然や風景（男性 69.7%、女性 80.0%）」の割合がもっとも高く、次いで「友人や家族（男性 33.8%、女性 47.5%）」が高くなっています。



問32 あなたは、今後も鶴岡市に住み続けたいと思いますか。(回答数=484)

- ・男女とも「住み続けたい(男性45.8%、女性46.1%)」の割合がもっとも高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい(男性24.6%、女性22.8%)」が高くなっています。
- ・「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の合計がおおよそ7割であることから、定住に対する意識は高いといえます。



年齢層	住み続けたい	どちらか といえば 住み続けたい	あまり住 みたくな い	住みた くない	わから ない	無回答	回答数
男性・20～24歳	44.7%	24.5%	3.2%	1.1%	23.4%	3.2%	94
男性・25～29歳	35.0%	28.3%	5.0%	0.0%	30.0%	1.7%	60
男性・30～34歳	40.5%	35.7%	11.9%	0.0%	7.1%	4.8%	42
男性・35～39歳	59.5%	19.0%	4.8%	2.4%	11.9%	2.4%	42
男性・40～44歳	33.3%	27.8%	5.6%	5.6%	11.1%	16.7%	18
男性・45～49歳	67.9%	7.1%	0.0%	0.0%	17.9%	7.1%	28
女性・20～24歳	39.1%	27.6%	6.9%	3.4%	17.2%	5.7%	87
女性・25～29歳	50.0%	14.0%	0.0%	0.0%	26.0%	10.0%	50
女性・30～34歳	37.9%	34.5%	3.4%	3.4%	20.7%	0.0%	29
女性・35～39歳	36.8%	21.1%	0.0%	0.0%	36.8%	5.3%	19
女性・40～44歳	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9
女性・45～49歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6
男性	45.8%	24.6%	4.9%	1.1%	19.4%	4.2%	284
女性	46.1%	22.8%	3.4%	1.9%	20.4%	5.3%	200
全体	45.7%	24.0%	4.3%	1.4%	19.8%	4.8%	484

(その他)

「結婚したいと思える、また、結婚したいと思う人が結婚しやすい地域社会となるためには、どんなことが必要とお考えか。

(男性)

就職率(正社員)の向上で、安定した収入得られる状態の人が増えること。既婚者への何らかの優遇を増やす。
生活に余裕があり、周囲とのつながりがあること。
結婚相談員、アドバイザーの配置。
結婚祝い金・明るい社会
交通の利便性。道が狭くて冬の運転が危ない所がある。
出合いのための情報提供の機会を増やしてほしい。
公的支援(育児手当、学校の整備など)
子育て支援、特に若い母親が連携できる地域
結婚、子育てをする世代が勤める法人への罰則的指導 転勤をある程度の年齢になるまで禁止させたり、産休・育休を取る者への不当な扱いをやめさせるなど
結婚費用の補助
婚活しやすいように、パーティーとかの誘いなどを出したら良いのでは？
必要ない。これまで特に何もやってこなくても結婚する人は結婚してきたのだから、要は本人の努力と根気とやる気次第だと思う。
公園、外で元気に遊べるような楽しい遊具
生活支援をお願いしたい
就職難と低賃金を何とかしてほしい。恋人、結婚ができるのはその人次第だと思うが、気軽に出会えるようなイベントが毎週あったら、友達もでき、コミュニケーション能力も上がり、結婚にもつながると思う。
市の活性化 市の魅力の提供 結婚の重要性の伝承
家を安く買える
地域的な習慣等の改革。閉塞的な考え方の脱却。個の尊重
婚活イベントについて、あからさまに「婚活」を前面に押し出したのでは、参加者は増えないのでは？
笑えばいいと思うよ。
経済の活性
結婚することによって経済的に負担もかかると思うし、当然、共働き家庭がおおくなるため「雇用の問題」や子供が生まれた場合の預け場所の確保等、今以上に考えて欲しい。
こればかりは難しい、周りより与える形ではなく、本人が動かないと結果は出にくいし、かえって与える形でないほうが宜しいと自分は思います。
給与水準が低すぎて結婚しても生活していけないと思う。それなのに市は増税一辺倒である。増税する前に無駄な職員を減らすべきである。法律で縛られているのかも知れないが無駄な箱物、赤字運営な物を極力整理して経営状態を良くしたほうが良い。
安定した職場環境と出会いの場が必要だと思います。
安定した働き場があること。介護(特老の数など)
地域活動はほどほどにしたほうが良いと思う！！(消防はとくに)

雇用の拡充、収入の安定、若者が居住しやすい街づくり、若夫婦が居留し易い条件作り(住居費補助、アパート等施設の充実と提供)
労働場所や条件、保育園などの充実、結婚相談所の増加。
結婚していない人が増えているのに子供用の施策ばかり話してもムダ。結婚のスタートラインに立てるような方法をとるべき。
分かりません
データがないのでこたえられない。
どぶろく特区 スポーツセンタートレーニングルームのレディスデイ設
昔は、地域に必ず結婚の世話や紹介をしてくれる年配の方が必ずいたそうですが、今はそういう方はあまりいないようです。原因は不況の影響等様々あると思いますが、このままでは、今後ますます少子化が進みますので、もっと行政のほうで、出会いの場や紹介などを積極的に進めて結婚したくてもできない人をなくしてもらいたい。
色々な出会いの場を作ってあげる
・生活水準の向上 ・各個人の人間性の向上 ・結婚や子供ができたとき、地域社会で保護ができるような環境。お金でできるものでないもの。
金銭的安定
就業場所を増やし、安心して子供を預けられる場所を増やせば良いと思う。
自分もそうですが、結婚したいと考えながらも行動しない男性が多いと思います。※仕事の多忙などを理由にして(実際多忙ですが)最近、家族より結婚を催促され、意識するようになっていますが、仕事柄、異性と会う機会がないことも、現在まで独身である理由の一つです。→行政主体で、地域内での“結婚したい人”のプロフィール等の情報提供、自宅にいながら婚活できるインターネット内での情報提供や、メールやりとりなどできる行政による婚活サイトを作るのはどうでしょうか？
景気回復
結婚しない人が増えているのは、見合いを世話する人がいなくなったこと。結婚しなくても生活できる環境が在ることが大きいと思う。行政には期待することはない。
心を開かない庄内人、それぞれが変わることが必要。キズを恐れずに人と人がフランクに関わる。そんな企画、場所が必要だと感じる。
景気回復
気軽に離婚できる制度づくり(離婚のリスクを減らし、結婚のハードルを下げる)

(女性)

安定した収入が得られる雇用が増えること
親が働きやすくなるよう、保育園等がもっとあるといいと思う。
出会いの場というより、スポーツなど交流の場を設けることによって、その人の良さを感じれると思う。
家を継ぐなど、そのようなことに縛られることがない環境。またはそのようなことが負担にならないような家庭づくり
金銭面
結婚していない人にアンケートして、その解答にふさわしい人を市町村で教えたりする。男女活動を増やす。
住みやすい環境と農業など魅力のあるようにして欲しい。
私個人が結婚に対して、絶対的な必要性を感じないのでなんともいえません。
その人の気持ち次第

<p>経済力が足りなくてまだ結婚できないという人もいると思うので、定職につけずに探しているという人には就活の相談に乗ってあげるのもよいと思います。</p>
<p>セクハラによる男性不信など起こらない気遣い。男性が一方的に女性を女と見る行動を減らす</p>
<p>地域の行事が盛んなのはいいのですが若い人には少し負担なこともあります。</p>
<p>交流パーティー等のイベントを増やしていけばいいと思う。</p>
<p>生活の安定感</p>
<p>便利な環境</p>
<p>経済面が心配である。共働きが当然の社会なので、家事・育児が分担できるよう企業の理解を得られる社会になってほしい。</p>
<p>生活水準、経済的負担が軽くなると結婚はしにくい。特に今は一人で暮らす、生活するので精一杯な人が多いと思うので、結婚→子育てにもつながる支援、経済的な助成が必要になってきたと思う。</p>
<p>嫁や婿といった外部から来た人のためのコミュニティの場をつくること。結婚して親と同居した夫婦(家族)に対しての手当てを支給する。</p>
<p>多様なサービスが使用できる環境づくりをしてほしいと思います。</p>
<p>地域の行事などを増やしたり、みんなが集まれる場所・時間を設けることで、地域が活性化してよくなると思う。</p>
<p>地域全体で近隣関係がよくなるように、イベントなどを実施すると良いと思う。</p>
<p>本人が結婚したいと思う気持ちがないとダメ。周囲の問題ではないと思う。個々がわがままになっているのではないかと思う。</p>
<p>逆に鶴岡市では、結婚すると良いことがありますか??、子供産むと良いことがありますか?制度とか余りよく知らない人もいます。不況だしお金かかると思います。子育てとか特に。婚活、頑張ってください。うちの友達、婚活で結婚しました。</p>
<p>経済力での安定により、結婚後の不安感を減少させるようなリアルな対策があれば、結婚に対して積極的に考えるようになるのではないかと思う。</p>
<p>仕事で育児休暇が十分に取れること、子育てと仕事の両立をうまくできることだと思います。</p>
<p>産休・育休制度の強化、雇用促進</p>
<p>医療、福祉の充実。育児休暇の取りやすい状況。</p>
<p>子育てしやすい環境にしてほしい。</p>
<p>同居をネックにしている人のために、老後の生活の支えなどをしっかりしてほしい。家庭の問題、トラブルを相談できる場の提供や、必要に応じて専門のカウンセラーの紹介など。</p>
<p>結婚すると、介護の問題や子育ての問題、自分の生活・仕事と今よりも忙しく、ゆっくりと過ごす時間がなくなってしまふ。給料も安いので、施設に頼ることもできない。</p>
<p>離婚率の低下、出会いの場の提供など</p>
<p>わからない</p>

(性別不明の記述)

1~5のような直接的、短絡的な取り組みよりも、もっと根本的、本質的であること。周産期や小児の医療体制の拡充、乳幼児医療無料化。更に、定年後の年金、医療、介護等。老後をも含む将来にわたって暮らしやすい地域社会であれば、自分を含むより多くの人が「結婚し、家庭を持つこと」を前向きに希望を考えるようになると思う。

「安心して子供を生み育てられる地域社会となるためには、どのようなことが必要とお考えか。」

(男性)

仕事の安定、収入の安定
核家族世帯等の為に託児施設を増やす。子育ての相談可能な窓口を増やす。(専用の電話窓口などの無料相談)
周りとのつながりがあり、安心できる地域。
治安(十分だけでも)・明るい社会・活気ある社会・きれいな街
子どもを預ける所がもっと増えればいいと思う。
交通の安全等がよくなること
地域の子供たちに対しての目配り、気配り。あいさつなどの声かけ
公的支援
補助金、支援。
子育てにかかる費用の助成、保育園の拡充
保育施設の充実、保育従事者の高い教養
福祉の充実
地域の人たちが協力して子供の住みやすいまちづくりをしたら良いと思います。
必要ない。当人が子供を作るか作らないかというのは価値観などによると思う。
ご近所づきあい。金銭的な余裕。充実した子育て支援。
保育所、学童保育所の設置、市からの援助 市全体の安全性、施設の確保など
外で遊ぶ時間をつくつたらいい。
経済支援。開かれた育児活動
雇用と収入の確保。地方と都市の格差をなくす
稼げばいいと思うよ。
地域社会とのつながり
自分でできることから、小さなことからの省エネ活動。
①今、国で実施している子供手当、宜しいと思います。②年金に関する件、100年(50年でも良いです)先を見通した対策を示していただければと思います。
安定した仕事があること、治安の確保、分娩費・幼稚園費の低減。
医療、福祉、教育の安心。
・保育園などを増やす。(シフト制や夜勤の人に対応できる)・保育園の入園の入園条件の緩和・学校の先生、親のレベルアップの場所。
保育園、小児科等の充実
福祉財源を高齢者から若年層へ振り向ける。各々の収入に応じた施策を講じることでバランスをとるべき。現金給付は慎重に精査して欲しい。
手当での充実
保育園の増設(入園可能園児枠の増)
子育てに関する社会保障制度の更なる充実など。
市や地区で子育ての相談できる場など、親たちの集まる場を作る
・人間形成における教育 ・お金での補助がいない社会。その家族でお金の面で心配ないような。
金銭的安定 補助金

防犯体制の整備。
もっと仕事が多くあれば良いと思う。働く場所があまり無いので、結婚すると経済的に苦しくなると思う。鶴岡市も庄内町を見習い、もっと育児支援すべきです。子供を預けたいが受け入れできないと言われ、無認可に預けたら？と言われた。何かあったら市で対応してくれるのでしょうか？
経済の安定は当然ですが、それ以外として
①地区対抗のスポーツ行事の実施(父親+子供での競技<野球、サッカー、ソフトボール>→地区内での交流が深まる。新たな知人、知り合いが増える。※スポーツ以外でも、テーブルゲームなど何でも良いと思います。(つり、スキー等等、昆虫採集(賞品つきで)
②子供が夜遅くまで遊べる(自然の中で)環境が一番良いと思います。→地域の目、広場の整備※公園などではなく大人数で遊べる広場の向上が必要。
③地域の高齢者、親、子供が総合でできる行事が多ければよいと思います。※昔の遊び紹介、地域に伝わる伝説・怪談紹介、ペットの育て方講習、昆虫採集講習など、地域の高齢者をメインとした行事の開催。(高齢者対子供の行事)
これがうまくいけば、子育てだけでなく、他のいろいろな問題も全て解決すると思います。※費用もかからない、地域のつながりが深まる、高齢者の孤立化がなくなる、防犯向上、子供の犯罪、いじめ等の発生原因の性格改善など
景気回復
心を開かない庄内人、それぞれが変わることが必要。キズを恐れずに人と人がフランクに関わる。そんな企画、場所が必要だと感じる。
保育施設の充実

(女性)

経済回復、収入等
子どもを預けられる託児所のような施設を支援する(託児所をおく会社に助成等)
福祉の充実
家同士が行き来できること
出産・育児・小児科の保険適用と出産時までの行政の支援を希望します。地域の安全性
保育園や育児施設の充実、教育費の負担の減少など
Uターン・Iターン向けの雇用を増やしてほしい
社会保障の充実、子育てについての企業側の理解
子供を預けられ施設を増やす。(安くて、仕事をしている親が安心して預けられる施設)
出産を経験した人たちの会話を聞く機会を設けたり、これから産む人が何に困っているかなどにアンケートボックスを設ける。そして実際に産み終えた人の意見を聞いたりする。アウトドア活動をもっと増やす。(親子レク等)
遊び場と子供を安心して預ける場所を提供して欲しい。
地域全体で協力して子供を育てる意識が一番大切。お互い助けあう気持ち。
育児休暇が十分にとれること。地域全体での理解、協力。お金の援助。
「できちゃった婚」が多い時代なので、若い人でも子どもを生む決意ができるよう、金銭面での出産のサポートも必要ではないかと思います。
安全、信頼、自由 体裁ばかり気にして行動が制限されることがない広い視野を持つ
出産にかかる費用、教育にかかる費用、お子さんがいればいるだけ、その家庭は負担がかかると思うの

で、なるべくお金をかからないようにしないと、子ども＝お金がかかるとイメージがあるので、少子化がどんどん増えていってしまうのだと思います。

地域に住む人が増えること、そのために地域で安定して生活できる職場が増えることが必要だと思います。

子育て支援施設を増やしていったほうがいいと思う。

保育園の増加、または休日保育の充実(待機をなくする)

安心して預けられる施設がもっと必要だと思います。子供が病気のときも見てもらえる施設等もあつたら…と思います。仕事をしながら子育てできる環境がもっと整えばいいと思います。

働きながら子育てがしやすいよう、保育園をもっと多くしてほしい。また時間帯も親の就労時間(多種多様な)に合わせて預かってもらえたらよい。もちろん金額はそれに合わせてで良いが…。企業もぎりぎりの職員体制等で働かなければいけない環境だと緊急時(子供の体調不良時など)休みにくい。対応が遅れる。

子育て経験している世代にもアンケートを取ってみては?未婚や子育て未経験者には、何が重要かというのは、想像できなかり、わからないと思う。このご時勢、今現在子育て中の方に意見を聞けば、地域社会に求める切実な意見が聞けて参考になるのでは?

育児制度の充実・育児講座・妊婦さんのコミュニティの場・あそびの会の土日開催

保育所が少ないと思うので、もっと保育所が増えるとよいと思います。

安全な環境をつくること

地域で子どもを安心して産み育てられる環境づくりに取り組む。若妻のために、子育て講座などを月に何回か開くと良いと思います。

補助金の制度。保育施設の充実。コミュニティの活性化

・保育園の枠がない。・もっと国で子育ての支援、援助して欲しい。(金銭、保育園など)

安全な治安、この辺ではないと思いますが、小学校とかに刃物もってこられたら、ゾッとします。見守り隊のおじいちゃん、おばあちゃん有り難いです。

男性が育児休暇などもっと積極的に取れるようになれば、女性の負担も減ると思う。子供にかかる費用も多いと思うのでもうすこし子供のいる世帯への補助があれば良い。

育児休暇や退職後の仕事復帰への制度の充実。事業所、事業主の理解。

景気不安定な今だからこそ子育てに不安を感じている人は多いと思う。国や町からの補助金等はとてもありがたい支援であると思うが、いずれは補助がなくても安心して生活できるくらいに、景気、雇用関係が安定してくれる社会になるとうれしい。

遊び場が増える。車など多くて危ないと思います。子供の友達が多くいること。親もきちんとして大人になること。

保育園などの子どもを預かってくれるところを増やす。

核家族、共働きが多いので、保育園等の充実。働きながら育児ができる環境、職場の育休等の充実。

みんなで助け合える社会。

金銭的援助。防犯システムをしっかりとる。

産休・育休制度の確立

土日休みじゃない人も地域の活動に参加しやすいように、他の地域と運動会やお祭りが同じ日にならないようにしてほしい。庄内全域で日程を考えてほしい。休暇が取りやすいように考えてほしい。

託児所などの施設の充実、地域の皆さんの協力

保育園を増やしてほしい。保育料を少し見直したほうが良いと思う。

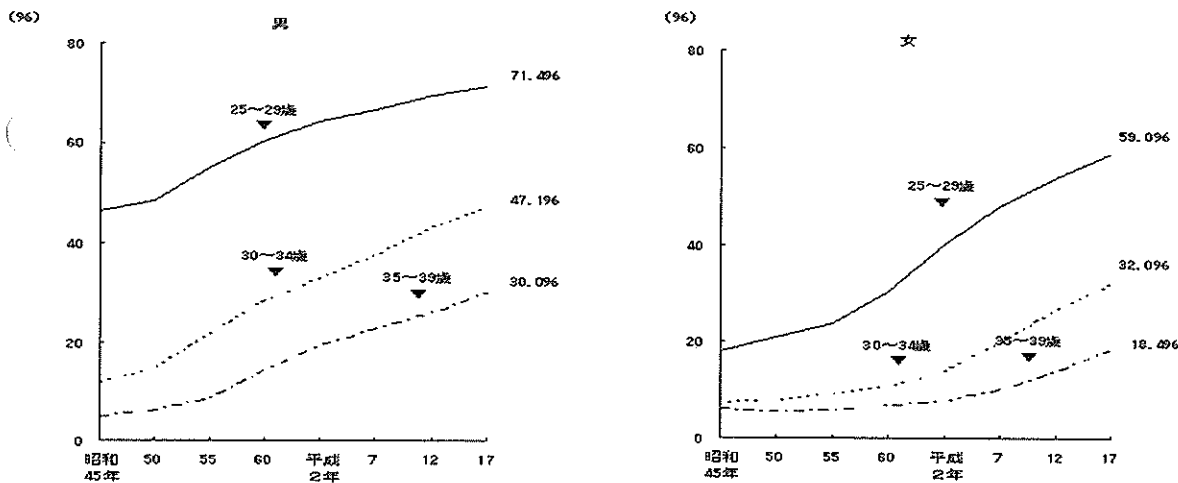
※当該資料は、櫛引地域婚活支援対策検討会での配布資料からの抜粋です

- 全国ベースの未婚率の上昇状況・・・ 1
- 鶴岡市の年代別未婚者数(男)・・・ 2
- 鶴岡市の年代別未婚者数(女)・・・ 3
- やまがた出会いセンターメルマガジン(サンプル)・・・ 4
- 婚活 コーディネーター レポート8月号・・・ 9
- 婚活 コーディネーター レポート9月号・・・ 10

20 歳代後半から 30 歳代にかけて未婚率は男女とも大きく上昇

- ・15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 60.8%，女性が 57.0%，未婚率は男性が 31.4%，女性が 23.2%となっている。
- ・25～29 歳の未婚率は、男性が 71.4%，女性が 59.0%と、平成 12 年に比べそれぞれ 2.1 ポイント、5.0 ポイント上昇している。また、30～34 歳の未婚率は、男性が 47.1%，女性が 32.0%と、平成 12 年に比べそれぞれ 4.2 ポイント、5.4 ポイント上昇している。さらに、35～39 歳の未婚率は、男性が 30.0%，女性が 18.4%と、平成 12 年に比べそれぞれ 4.3 ポイント、4.6 ポイント上昇している。(図 6)
- ・未婚率が最も高い都道府県は、男女とも東京都でそれぞれ 37.9%，29.9%となっている。一方、最も低いのは、男女とも秋田県でそれぞれ 26.4%，17.2%となっている。

図 6 男女、年齢階級（25～39歳）別未婚率の推移—全国（昭和45年～平成17年）



出典：統計局ホームページ

●未婚率の上昇（全国ベース）

○未婚率

男 性			
	2005年 (H17)	2000年 (H12)	1970年 (S45)
25～29歳	71.4%	69.3%	46.5%
30～34歳	47.1%	42.9%	11.7%
35～39歳	30.0%	25.7%	4.7%
40～44歳	22.0%	18.4%	2.8%

女 性			
	2005年 (H17)	2000年 (H12)	1970年 (S45)
25～29歳	59.0%	54.0%	18.1%
30～34歳	32.0%	26.6%	7.2%
35～39歳	18.4%	13.8%	5.8%
40～44歳	12.1%	8.6%	5.3%

鶴岡市の未婚者数(2005年国勢調査)

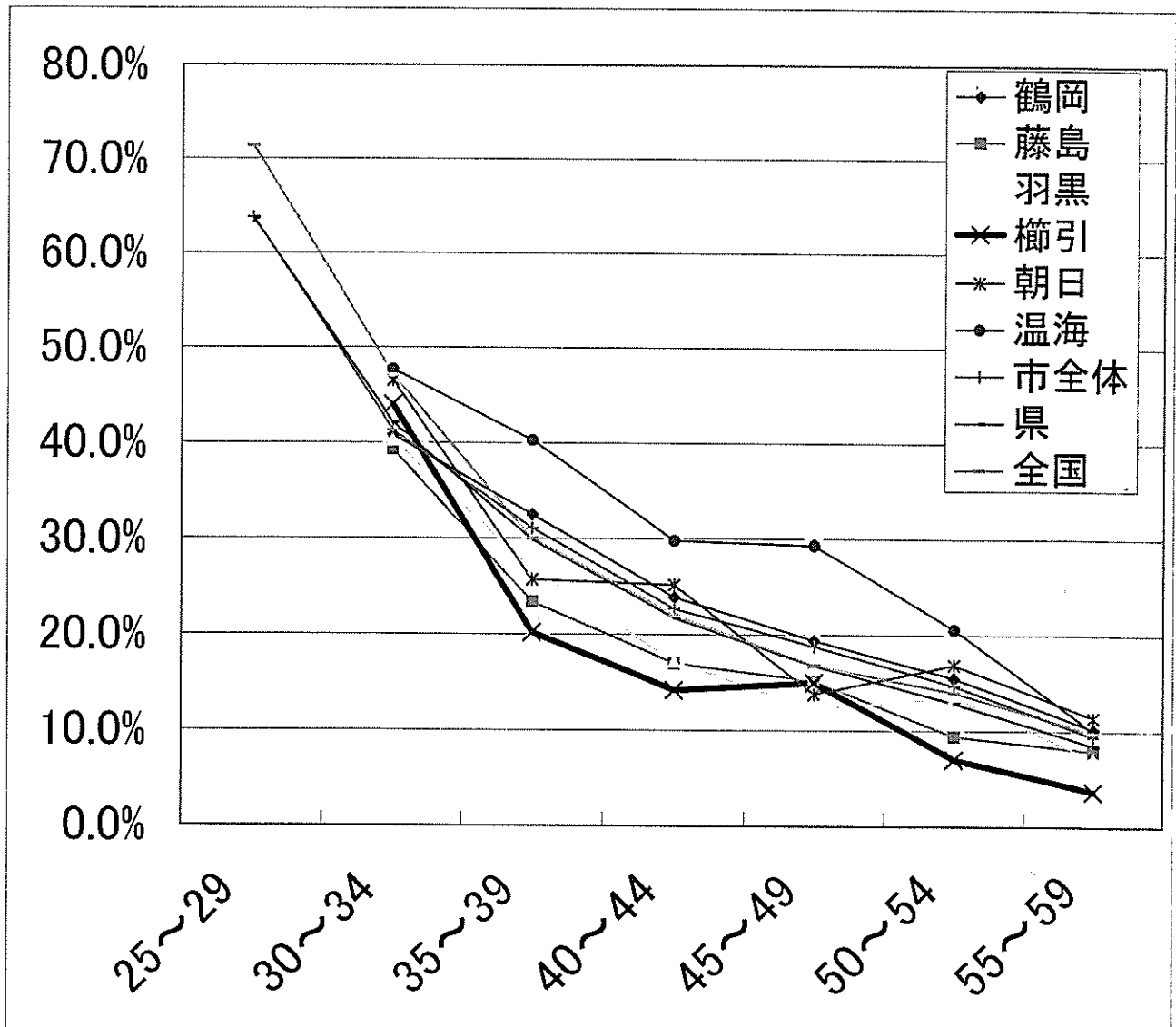
年齢区分	鶴岡		藤島		羽黒		櫛引		朝日		温海		市全体	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
30~34	1,259	822	126	58	91	45	84	39	46	31	104	46	1,710	1,041
35~39	919	467	65	24	55	21	37	12	26	10	83	33	1,185	567
40~44	702	288	55	11	41	18	34	10	29	3	70	27	931	357
45~49	600	185	58	16	42	7	43	8	28	6	103	9	874	231
50~54	569	140	47	8	53	11	24	5	40	4	73	19	806	187
55~59	375	155	38	9	29	13	12	4	27	3	41	13	522	197

鶴岡市の未婚者数の割合(2005年国勢調査)

【男】

年齢区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	市全体	県	全国
25~29							63.8%	63.7%	71.4%
30~34	40.8%	39.3%	40.3%	44.0%	46.5%	47.7%	41.3%	42.1%	47.1%
35~39	32.5%	23.4%	26.8%	20.2%	25.7%	40.3%	31.1%	29.9%	30.0%
40~44	23.9%	17.0%	17.2%	14.2%	25.2%	29.8%	22.7%	21.7%	22.0%
45~49	19.4%	15.2%	12.3%	15.0%	13.8%	29.3%	18.8%	16.8%	16.8%
50~54	15.5%	9.4%	13.5%	7.0%	16.9%	20.6%	14.7%	12.9%	14.0%
55~59	10.2%	7.9%	7.1%	3.7%	11.4%	10.0%	9.4%	8.5%	9.8%

【グラフ1 未婚率(男)の年齢区分別比較】(2005年国勢調査)

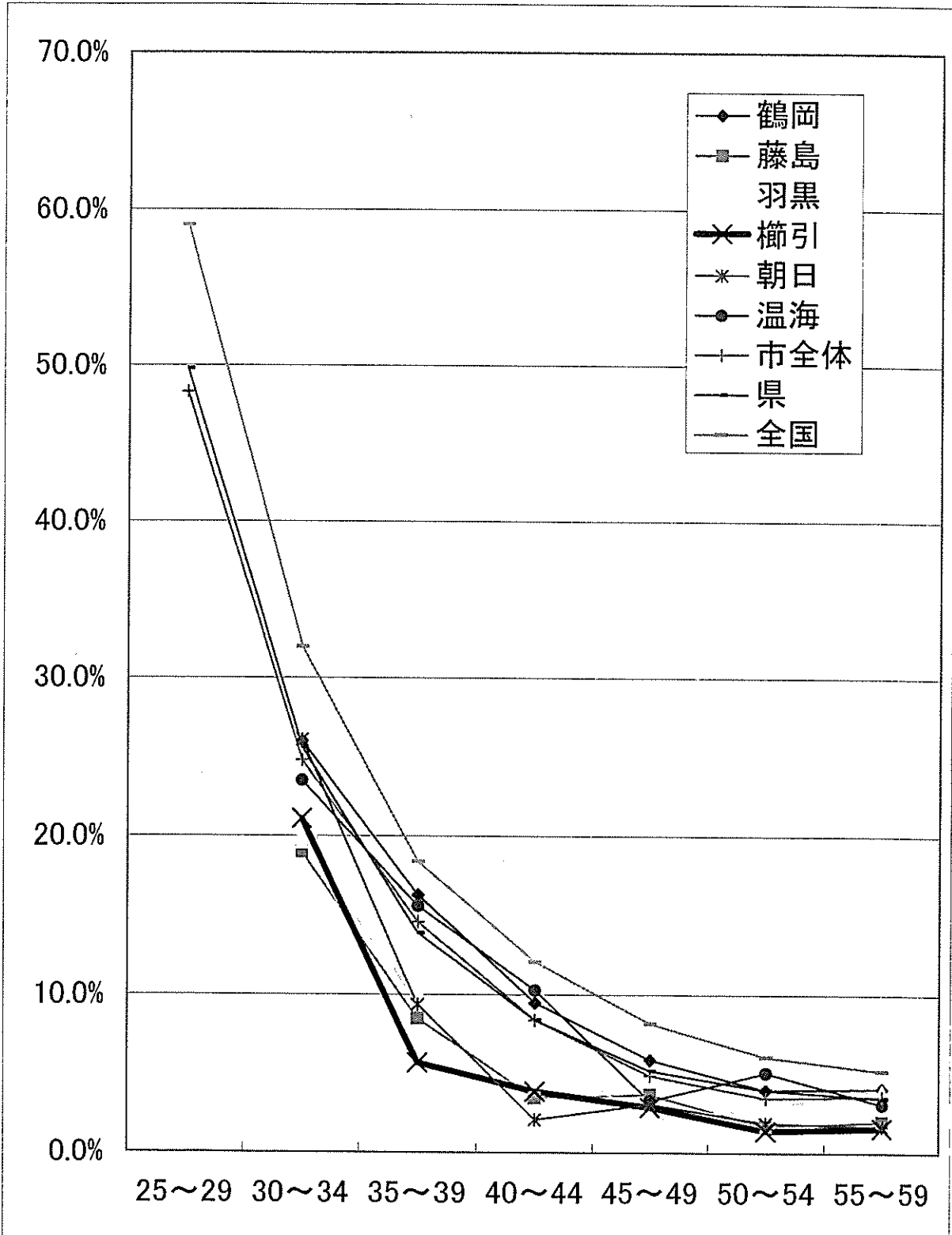


鶴岡市の未婚者数の割合(2005年国勢調査)

【女】

年齢区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	市全体	県	全国
25～29							48.3%	49.8%	59.0%
30～34	26.0%	19.0%	19.6%	21.1%	26.1%	23.5%	24.8%	25.6%	32.0%
35～39	16.3%	8.5%	9.6%	5.7%	9.4%	15.6%	14.6%	13.9%	18.4%
40～44	9.5%	3.5%	6.5%	3.9%	2.1%	10.3%	8.4%	8.4%	12.1%
45～49	5.9%	3.7%	2.1%	2.9%	3.1%	3.3%	4.9%	5.2%	8.2%
50～54	4.0%	1.7%	2.9%	1.4%	1.9%	5.1%	3.5%	4.0%	6.1%
55～59	4.1%	2.0%	4.0%	1.6%	1.7%	3.1%	3.6%	3.5%	5.2%

【グラフ1 未婚率(女)の年齢区分別比較】(2005年国勢調査)



「いまどきの結婚事情と 婚活のススメ」

日時：平成22年 **10月23日** **土** 午後6時30分～

場所：鶴岡市櫛引公民館多目的ホール

～ **入場無料** どなたでも参加できます ～

地域全体で、若者が結婚を前向きに捉えられるような雰囲気作りを行い、結婚について社会全体で支援していこうとする運動は、地域活力の維持・向上のためにも大切です。

講師

NPO法人花婿学校 代表

おおはし きよ はる
大橋 清朗氏

講師プロフィール

婚活コンサルタント

(社)パフォーマンス協会「認定インストラクター」
「婚活」という言葉が誕生する前から結婚活動を支援しており、書籍『婚活』時代にもその活動が取り上げられる。未婚の男女や未婚の子を持つ親たち、結婚相談員にも講演を行い、結婚を目指す多くの方々をサポートしている。東京、名古屋、大阪で各種講座を開催。全国各地の自治体での講演も行っている。マスコミにも多数登場。山形みんな子育て応援団発足記念イベントでも講演（H22.1.31）。



●お問い合わせ 鶴岡市櫛引庁舎総務課
TEL0235-57-2111 FAX0235-57-2117
E-mail : ku-somu@city.tsuruoka.lg.jp

主催：鶴岡市櫛引庁舎